

君津市文化のまちづくり市税1%支援事業

貞元まちづくり物語

(平成20～26年度)

—君津市貞元地域まちづくりの記録—



アドバイザー 千葉大学大学院 園芸学研究科

准教授 齋藤 雪彦

貞元地域まちづくり推進委員会

はしがき

—本書の目的とまちづくりのきっかけについて—

貞元地域は、君津市の中心市街地の南方に隣接する都市近郊農村である。平地には水田が広がり、台地には大豆やキャベツ等の野菜が栽培される自然豊かで歴史のある地域である。

長屋門や土水路、イヌマキによる生垣など歴史的伝統的な農村景観も比較的良く残る地域である。また、新日鉄の君津市進出に伴い、新住民の住宅地も広がり、いわゆる混住地域でもある。一方、こうした立地や歴史的経緯から、他の地域に比べると新住民も旧住民とともに自治会等地域の問題に関心が深くまた協力的であり、新住民と旧住民の融和の中で新しいまちづくりを行っていく潜在力を持った地域である。

本編は貞元地域のまちづくりの記録をまとめたものである。貞元地域は、若年層の流出や高齢化など、農村地域の抱える共通した課題に直面している。このような状況下で、地域の有志が危機感を持ち、まちづくり活動を開始した。

また、事務局長の齊藤貞夫氏と筆者があるシンポジウムを契機に知り合いになったことが、地域と千葉大学との協働の契機となった。また同時に「文化のまちづくり市税1%支援事業」が始まり、これを良いきっかけとして、まちづくりが始動したのである。

本記録は、これまでの長年の活動を振り返ることで、貞元地域の住民の皆様にもまちづくりの意味や達成感を改めて感じて頂き、持続的な地域をつくっていく礎となればとの思いから書いている。同時に他地域でこれからまちづくりを始めようとする皆様へのエールとなることを期待している。さらに、長年にわたり支援して頂いた君津市役所の皆様に対する感謝とアカウンタビリティを果たす目的もある。

本記録が皆様の多くの方々の目に触れ、何かを感じて頂けたら幸いである。

なお、本記録は、齋藤（千葉大学大学院）が執筆し、情報や記述が不足する分を事務局長の齊藤貞夫氏に活動記録編を中心に加筆して頂いたものである。

2015年3月10日

千葉大学大学院 齋藤雪彦



目 次

はしがき

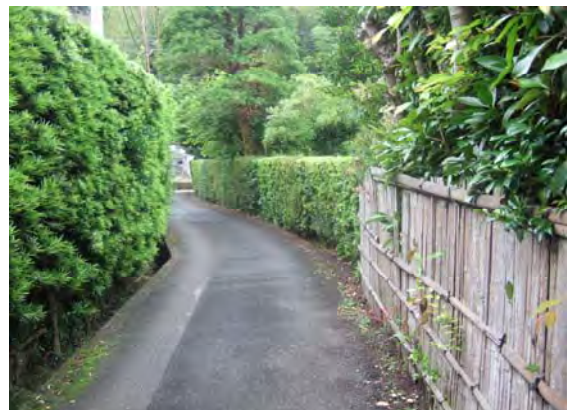
—本書の目的とまちづくりのきっかけについて—

1 章	地域と大学の協働	3
2 章	地域独自の取り組みと波及した活動	11
3 章	大学生の参加・提案	16
4 章	まちづくり小史	20
5 章	大学による地域調査	22
6 章	まちづくりの成果と課題	28

—うまくいったこと、うまくいかなかったこと、学べること、今後に向けて—
おわりに

活動記録編 —編集 貞元地域まちづくり推進委員会—

1.	新たな貞元地区文化の創造（概要版）	31
2.	会報 貞元まちづくり（1号～13号）	33
3.	20～26年度 活動報告書	73
4.	活動に参加された方々	85



1 章 地域と大学の協働

まちづくりには大きく分けて3つの取り組みがある。一つ目は地域と大学による協働による取り組み、二つ目は地域による独自の取り組み、三つ目は大学による単独による取り組み（主に研究調査、学生による提案など）である。本章では地域と大学の協働活動のあゆみをふりかえる。地域と大学が協働で取り組むことで、学生との交流やまちづくりの体力を向上させる狙いがある。

（1）環境点検ワークショップ（2008-2010 年度）

環境点検ワークショップは、地域資源の発掘（地域の良い所、課題）を行い、地域を見直し、地域の環境への意識を高めるとともに、同じ活動を共にすることで、交流の機会をも狙うものである。これから行うまちづくりの「体力」を養い、地域の方向性を考える材料をつくる意味もある。

同時に学生が入ることで、外からの視点、若い視点を地域の方々に気づいてもらう意図もある。地域環境点検ワークショップは基本的には集落単位で行い、班ごとに異なるルートを歩いてもらい、最後に発表会を行い、情報を共有する。2年ほどかけて全集落の点検を終えた。棚田の風景、石仏など地域の一部の人々しか知らなかった、あるいは見過ごされてきた自然や歴史の魅力を細かく特定することができた。また参加者の中で改めて地域の自然や歴史の豊かさに対する気づきが生まれた。参加者にとっても地域を細かくまた隈なく見て歩くということは日々の生活ではなく新鮮な体験となった。





(2) 地域ビジョン策定ワークショップ (2010 年度)

約 2 年間にわたる地域環境点検の結果をもとに、地域のあるべき方向性、夢を語ってもらうこととした。はじめに話し合いたいテーマを交流、農林業、生活に絞り、班ごとにワークショップを進めた。その結果、自然を生かした地域外の都市住民との交流、貞元ブランドをつくる、地域内の交流の 3 つの方向性が示された。

2010 年 11 月 7 日ワークショップまとめ

交流班 自然と緑の中でふれあいができるまちづくり

手作り交流	散策交流	整備	勉強会
・こんにゃくづくり ・小糸在来で豆腐、きぬこ、みそづくり ・枝豆でぜんだもち	・しじみ、名水めぐり ・河津桜、あじさいハイキング ・野の花ハイキング ・巨木巡りツアー ・歴史散策ツアー ・三船山ハイキング	・チャラリ・ガフェづくり ・案内所 ・歴史博物館 ・芝桜 ・庭花体験 ・子供の遊び場づくり	・マップづくり ・ホテル勉強会 ・貞元案内人を育てる

農林業班 貞元ブランドを作る (貞元米、貞元芋・おかわかめ)

貞元ブランド	新作物づくり	加工品販売	観光農業
・おかわかめ ・貞元ブランド米 ・貞元芋 ・小糸在来	・江戸でクレソン ・ブルーベリー ・パッションフルーツ ・いちじく ・お米の有機栽培	・竹炭 ・こんにゃく ・みそ、豆腐、きなこ ・ジャム	・観光いちご園 ・観光農園

生活班 貞元地域のコミュニティを育てる

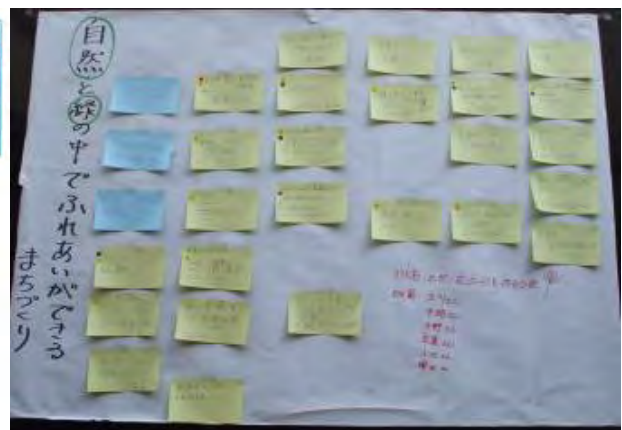
新しい貞元コミュニティ	貞元コミュニティの活性化	環境美化	問題点
・若い人も参加できるサークルチーム作り ・お年寄りから子供たちへ伝統文化を伝える体験教室 ・声かけ、助け合い運動	・貞元コミュニティの活用 (パソコン、インターネット、電話の拡大)	・ゴミを生かさそう (生ゴミ、資源ゴミ等)	・医療、介護問題 ・高齢化問題 (子供との同居人が少なく、なった) ・交通手段の確保 (コミュニティバス、買い物困難)

貞元地域ビジョン～農林業班～

メンバー 平野 金治 鶴岡 大樹 渡辺 勝美 永高 陽子 三幣 保夫 山田久美子 田中 裕貴			
新築農家の交流 第1段階 キヤベツ生産者 第2段階 地元農家の集まる	新築農家の元農家を 畑に	千歳ユウギの生産 →貞元ブランド 第1段階 生産者の募集 第2段階 栽培作業 (施設等)の整備	凡例 ● 行方不明 ▲ 自然等地域である ■ 有価個人である
上野台 トップリバー	「おかわかめ」を 貞元の名産にする 第1段階 畑を分配、 栽培者募集 第2段階 試験栽培を 行う (チラシ作成)	千歳ユウギの生産 →貞元ブランド 第1段階 生産者の募集 第2段階 栽培作業 (施設等)の整備	貞元芋 →産地とつながりを作る
竹炭	もったいない系かそう 地域資源活用 消費資材との連携強化 (まちづくり会報No.6)	江戸川 クレソン	ブルーベリー
観光いちご園	ゴミを生かさそう ○生ゴミ (ぼかし) ○資源ゴミ ○ゴミ	いちじく 時菜、虫が心配	お米の有機栽培
産地所に向けた 加工品	観光農業	小糸在来 ふるさと倶楽部 (月報コロシス開通 等)との交流 消費拡大	パッションフルーツ

貞元ブランドを作る (貞元米、貞元芋、おかわかめ等)

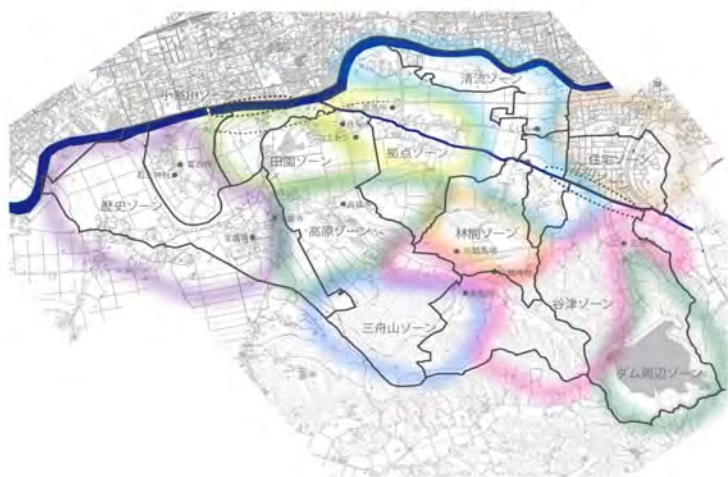
平成22年11月7日



(3) 地域プロジェクト策定ワークショップ (2010 年度)

地域ビジョンの策定を受けて、3つのビジョンに対応したプロジェクトを考えるワークショップを行った。つまり「自然を生かした地域外との交流」に対しては、「花のある散歩道をつくる」、「貞元ブランドをつくる」に対しては、米や餅、味噌などの「特産品を開発する」、「地域コミュニティの育成」に対しては、「子どもたちと大人たちの交流を深める」である。「貞元ブランドをつくる」は産業部会を中心に行うこととし、他の2つのプロジェクトについては順番に大学との協働で行うこととした。

つまり、環境点検結果を踏まえ、地域ビジョンの策定を行い、これに基づいて具体的なまちづくりの活動を展開することにしたのである。



(4) 江川花の道をつくるプロジェクト (2011 年度)

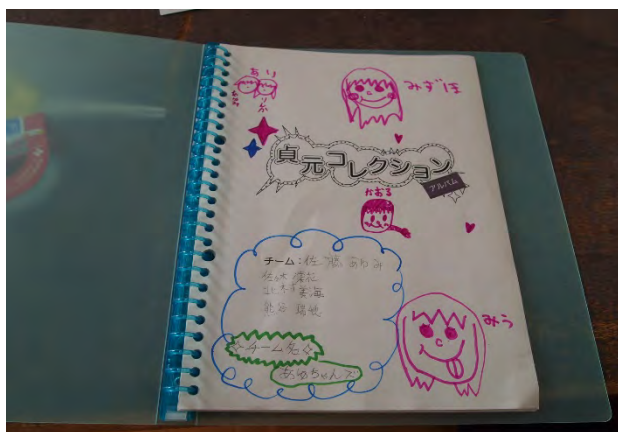
まず、貞元地域の顔となる場所をつくりたいとの思いから、住民の手作りで花の道をつくることにした。最初にワークショップで場所を選定した。外部の方が集まる直売所から近く、また従前から江川四季の会が綺麗に整備している場所であり、周辺の水田や里山が眺められる場所ということで現在の場所が選ばれた。一つの橋から次の橋までの百メートル超程度の短い区間である。千葉大学園芸学科の教員などの協力も仰ぎ、花の種類や植え方の検討のためのワークショップを行い、水仙とヒガンバナを江川の護岸に植えることとした。梅雨の合間に一日がかりで集めた球根を植えることになった。10 月初旬には見事に花をつけて鑑賞会を行い、その後、懇親会を行った。



(5) 貞元小学校児童による貞元地域の探検会 (2012 年度)

地域コミュニティを育てるという目的について、再度話し合いを行った。若い世代が貞元に帰ってきて欲しいとの願いがその狙いであることが確認された。そのためには子どもたちに貞元の良いところ、楽しい思い出をつくってもらうことが考えられ、地域の自然と触れるイベントが提案された。高齢者との交流も議題に上ったが、地域の子どもたちに望まれるイベントをまずは行うとの結論となった。東日本大震災の後で防災意識が高まっていることもあり、防災運動会を行いたいとの意見もあったが、防災活動は地域独自で取り組んでいくこととした。

当日は、千葉大学学生が班長となり、お兄さんのような役割で貞元小学校の子どもたちを先導して、地域の自然に触れながら、あらかじめ決められたコースを回った。貞元小学校の全面的な協力があり、当日は校長先生をはじめ先生方にもご参加頂いた。地域の子どもたちは意外と日常的に地域の自然と親しむことは少なく新鮮な体験となった。また小学校に帰ってきてから撮った写真の整理やコメントをアルバムに入れていった。これを貞元コレクションとして整理した。



(6)「貞元花の道」手づくりによる遊歩道整備 (2013-2014 年度)

江川花の道は概ね江川の護岸の一部(200m程度)の整備であったが、これを生かして、貞元地域全体をネットワーク化して遊歩道を設定することにした。まず、どのようなコースにするのか(場所の検討)、どのような看板をつくるか(看板の種類、数)についてのワークショップを行った。総合案内板、道しるべ、見所案内板の3種類の看板をつくることとした。

次に、デザイン専攻の大学院生の協力により、看板のデザインに関する検討ワークショップを行った。さらに、現地見学会を行い看板の場所の特定を行った。そしてこれらの看板を実際に制作し、あらかじめ決めていた場所に設置した。さらにこれらを宣伝するための「貞元花の道散歩マップ」を制作した。次の年度には学生によるモニターツアーを実施して改善点をまとめた。





2 章 地域独自の取り組み

大学との協働活動以外に地域独自での取り組みも多く行われた。2008 年度に、3つの部会（産業部会、観光・交流部会、生活・環境部会）を推進委員会の下部組織としてつくり活動を進めた。

（1）もったいない活かそう地域資源運動（2009 年度一）

地域資源には活かされていないものが多く、これに光を当てようとする地域独自の取り組みである。例えば、お年寄り世帯で収穫しなくなってしまったミカンを採ったり、豊作貧乏で不要となったキャベツの収穫などを行った。つまり、都市住民に来てもらい格安で収穫してもらい地域資源の活用をはかるという主旨である。



（2）貸農園「文やっこ農園」（2010 年度一）

地域住民の鈴木文男氏の提案により、君津市街地住民が気軽に農作業が体験できる貸農園を整備した。千葉大学大学院生が運営に協力し、千葉大学生と郡の杜住民とが参加し、農作業の体験やその後の交流会を実施した。



(3) 緑のカーテンづくり (2011 年度一)

貞元地域で栄養価の高い、食べられる緑のカーテン「おかわかめ」「貞元芋 (宇宙芋)」を栽培する農家があることから、「もったいない活かそう地域資源運動」の一環として、公共施設 (中央公民館、貞元小学校、上湯江保育園、三舟の里案内所) をPR拠点として、また、チラシを作成、栽培希望者を募集しました。



(3) 特産品の開発 (2011 年度一)

産業部会を中心に貞元ブランドを創るべくさまざまな活動を展開した。

具体的には地域の伝統的な食である「のし餅」、宇宙芋、キムチキャベツ、オカワカメ、「味噌きりたんぽ」などの食品が検討の対象となった。

結果として、長命草を使った「長命餅」を特産品として売り出すこととした。部会では「千葉県6次化チャレンジ支援事業」の補助金などを使い設備を整え、定期的に直売所で販売するまでになった。



(4) 波及した活動

委員会活動を進めてきた結果、前述の特産品の開発のほかに、以下の活動が加わり「新たな貞元地区文化の創造」が生まれました。

a. 貞元甲冑会 (2013 年度一)

里山に指定された三舟山をこよなく愛する者が、地元のまちづくりに一役買って出たのが貞元甲冑会です。三舟山には、北条氏と里見氏が争った古戦場跡があります。毎年恒例となった、三舟山&郡ダムお花見ウォークはここを舞台として、「戦国ロマンの里」をキャッチフレーズにしていることからこのイベントを通じて戦国ロマンの里山のイメージづくりに取り組んでいます。

平成 26 年 2 月に、4 人の有志により貞元甲冑会をたちあげ、初仕事は、三舟山&郡ダムお花見ウォークに甲冑を着て参加し、ウォークの参加者の皆さんを先導いたしました。大変好評で、写真を撮られ続けました。

いろいろなイベントに参加することで地域おこし、まちづくりに協力できたらと考えております。いつの日か馬に乗った大将やお姫様、足軽隊も準備できればと思っております。



b. 貞元埋蔵木等活用委員会 (2014 年度一)

平成 23 年 10 月、J A きみつガソリンスタンドで発見された「約 2100 年前のケヤキの埋蔵木」の保存を当委員会が企画提案し、埋蔵木は貞元小学校に埋蔵木実物大表示板とケヤキの輪切りを「味楽園さだもと店」に、展示しあわせて、体験学習用リーフレットを作成して、君津市内小学校の体験学習に活用することができました。

3 章 大学生の参加・提案

学生の授業の一環として、地域を調査し、様々な提案を行うことも、地域への刺激策として行われた。

(1) まちづくりプロジェクトの提案 (2008 年度)

3 年生の設計演習の一環として、3 名の学部生と 2 名の大学院留学生で地域調査を行いまちづくりへの提案を行うこととした。5 人はそれぞれ地域を分担し、地域の方のお話なども伺いながら作業を進めた。

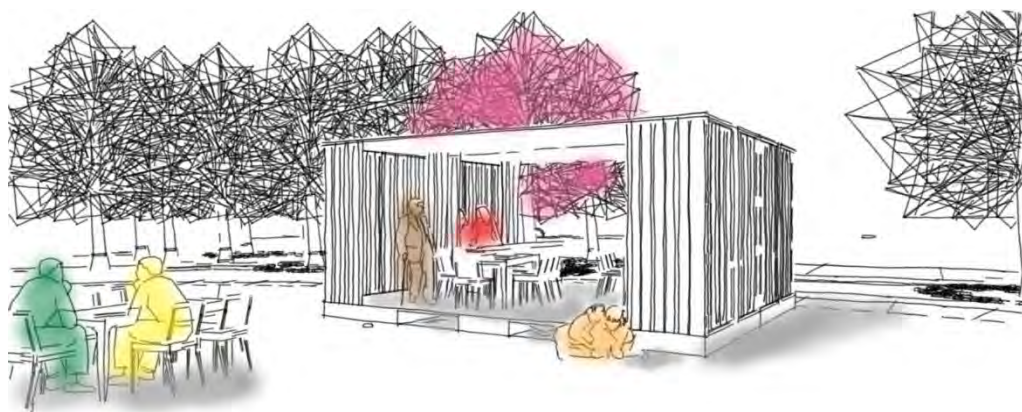
発表会では、住民の方々から「ワクワクする」などの評価をいただくことができた。作品には下記のような都市の子ども達を呼んで、地域の自然を題材に学ばせる体験学校のような提案(郡地区)や、防風林を生かした中富地区の保全計画などがあった。都市で生まれ育った学生には農村の方々と話したりすることが新鮮で楽しいとの声が聞かれ、学生に対する教育的効果も高いと思われた。



(2) ポケットパークの提案 (2011 年度)

大学院生の設計演習の一環として、新しい道路（六手・貞元線）の開通に伴うポケットパーク整備への提案を行うこととした。君津市土木課の方々の全面的な協力が得られ、初めに計画や図面等のレクチャーをお願いした。

発表会では、畦道を散歩道で整備しその拠点とする、鉄の町のイメージを生かし鉄のコンテナのカフェを置く、花を沢山植えた公園とするなど様々な提案がでてきた。土木課の方々には高い評価を頂いたが残念ながら工期の関係で実際の設計にはあまり反映されなかった。発表会には住民の方々に来て頂きコメントも頂いた。





(3) その他、伝統行事やワークショップ後の懇親会への参加（2008 年度ー）

学生が地域の伝統行事中富の「おひまち」や協働作業等、ワークショップ、プロジェクトの後の懇親会に参加することで、地域の方々との交流を深め、まちづくり活動を楽しみより雰囲気に変える効果があった。



おひまち



懇親・交流会

4 章 まちづくり小史

① 2007 年度 (H19)

2007 年初頭に行われた日本ナショナルトラストのシンポジウムに参加した齊藤貞夫事務局長が、大学が県内にあり、農村の活性化を専門とする筆者に着目し、同年秋、千葉大学を訪問。次年度以降、齊藤准教授を貞元地域まちづくり推進委員会のアドバイザーとして招聘することになる。

② 2008 年度 (H20)

アドバイザー、役員との顔合わせ、市長への表敬訪問を行い、正式に貞元地域まちづくり推進委員会の設立総会が行われた。また地区別の環境点検ワークショップを上湯江地区、郡地区にて行った。同時に、アドバイザーと役員による現地踏査、暮らしに関するアンケート調査を実施し、地区の課題の整理に努めた。

一方、地元では産業部会、観光・交流部会、生活・環境部会の3部会が設置され、大学の協働活動とは別に独自に活動していくこととなった。3年生の設計演習で学生が地域調査を行い、地域活性化に関わる提案を行った。

③ 2009 年度 (H21)

アドバイザーと役員にて貞元地域の位置づけをはっきりさせるために市内の各地区を現地踏査した。まちづくり先進地である、笠間市クラインガルテン、茨城県旧関城町里山を守る会を視察した。

前年度に引き続き、環境点検ワークショップ、新御堂、小香、下湯江、杉谷、八幡地区において実施された。前年度に行った暮らしに関するアンケートの報告を行うとともに、新しく地域余暇生活の課題を明らかにするためにインタビュー調査を行った。また、みかん狩りなどの「もったいない活かそう地域資源運動」が始まった。

④ 2010 年度 (H22)

環境点検ワークショップを中富、貞元地区で行い全地区の環境点検が終了した。地域の余暇生活に関するアンケート調査を実施し、余剰キャベツの収穫を内容とする「もったいない活かそう地域資源運動」が引き続き行われた。

月刊コロンプスの取材があり、これまでのまちづくりの経緯を語った。貸農園「文やっこ農園」が開園し、郡の杜住民、千葉大学院生による農業体験と交流会が実施された。地域ビジョンを策定するためのワークショップ、続いて、これを具体化するプロジェクト策定のワークショップを行った。

⑤ 2011 年度 (H23)

花の道をつくるワークショップを行い、植える花の種類や植え方に関する検討を行うワークショップを行った。次に球根を役員、委員、学生で植えた。

その後、花の鑑賞会、反省会を9月に行った。「もったいない活かそう地域資源運動」は引き続き行われ、端物キャベツの収穫が行われた。

六手・貞元線ポケットパークの現地調査を行い、大学院生による公園の提案に関する発表会が行われた。また産業部会では貞元ブランドの確立を目指して、貞元もち、きりたんぼなどの試作や検討が行われた。

⑥ 2012 年度 (H24)

長命草餅の名前で直売所での試食販売が開始された。地域ビジョンを受けた地域コミュニティの形成に対応するプロジェクトの検討ワークショップが行われ、防災運動会などの案も出たが、地域の子どもたちが将来、貞元に帰ってくるためには、貞元の良さ（自然、歴史等）に触れてもらうことが大切であるとの結論となり、貞元地区の自然に気づく探検が貞元小学校有志の参加で行われた。緑のカーテン設置プロジェクトが始まった。

⑦ 2013 年度 (H25)

緑のカーテンづくり、もったいない活かそう地域資源運動も引き続き行われた。散策ルートの検討に関するワークショップが行われ、次に散策マップや看板のデザインに関するワークショップも行われた。

これを受け、千葉大学で設計の詳細を行い、案内看板の作成と設置を行った。散策マップの印刷も行われた。

⑧ 2014 年度 (H26)

イギリスのニューカッスル大学よりカルメン上席研究員が視察に訪れ、アドバイザー、役員で案内と交流を行った。散策ルートの改善のために、大学学部生によるモニターツアーを実施し、その後、住民の方々との懇親会を実施した。また7年間の記録（本報告書）を作成した。

5 章 大学による地域調査

(1) 貞元の暮らしに関するアンケート調査 (2008 年度)

まず地域の基本情報を把握するためのアンケート調査および土地利用調査を行った。結果の抜粋を以下に示す。

- ・ 地区外から移り住んだ方は全住民の 35 %
- ・ 高齢化率は 25 % と全国平均とそれほど変わらない
- ・ 非農家は約 5 割 (農家の後継ぎがいるのは 20 世帯 / 477 世帯)
- ・ 新住民を含めて地域への高い満足度 (自然が豊か、静か、のんびりしている)
- ・ 「今の地域の環境を生かした地域の方向性」を支持
- ・ 正規社員が多く安定した雇用に恵まれている
- ・ 市外への勤務は半分以下
- ・ 一般的な農村に比べて耕作放棄地は少ない

(2) 貞元地域の余暇調査インタビュー・アンケート調査 (2009—2010 年度)

貞元地域の方々が余暇をどのように過ごしているか、代表的な方に数名にインタビュー調査を行い、アンケート調査を行った。結果の抜粋を示す。余暇の個人化が進んでいて、まちづくり活動への認知も十分でないことが分かった。

- ・ 余暇を個人または家族で主に過ごすのが約 7 割に上る (地域の人々と日常的につきあう人は少ない)
- ・ 地域組織活動へあまり参加しない・参加しないが約 3 割
- ・ 地域での個人的つきあいがあまりない・ないが約 3 割
- ・ まちづくり活動の事を知らない (内容を知らない、名前も知らない) が約 6 割と関心が低い
- ・ 地区内で余暇を過ごさず、地区外のレジャー施設や家の中で余暇を過ごす人が多い

(3) 耕作放棄地に関する調査 (2013 年度)

卒業論文の一環として、耕作放棄地に関する土地利用調査を行った。谷津田、川沿いの軟弱地盤農地、道路脇の資材置き場に供される農地などでの耕作放棄地が目立つ。

耕作放棄地の発生要因は高齢化・後継者不足と悪い耕作条件が主たるものであった。

(4) 貞元のまちづくり意識に関する調査 (2014 年度)

卒業論文の一環として、まちづくり推進委員会の役員に対するインタビューとまちづくり活動への参加者全員に対するアンケート調査を行い、まちづくりに関する意識を見た。その結果、意識の傾向はインタビュー調査とアンケート調査では相違がなく、従って信頼できるデータであることが分かる。

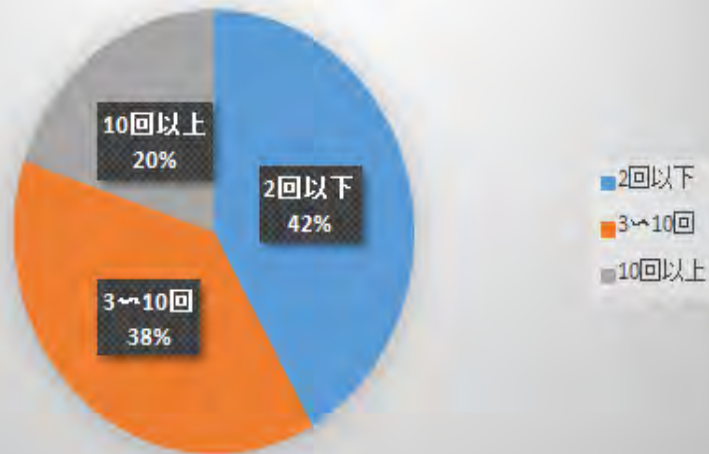
参加回数は 10 回以上が約 2 割だが 2 回以下も約 4 割と一部の熱心な方に支えられていることが分かる。参加した時期を見ると 5-7 年前が多く、近年の新規の参加者が少ないことが分かる。

具体的に評価の高かった活動（「参加した事のある活動」「地域の現状を見直すきっかけとなった活動」「もう一度参加したい活動」、「地域の人とより親しくなるきっかけとなった活動」「地域がよくなった変わったきっかけとなった活動」）として、「環境点検ワークショップ」、「江川花の道ワークショップ」「江川花の道の球根植えや草刈り」「もったいない地域資源運動」が挙げられた。

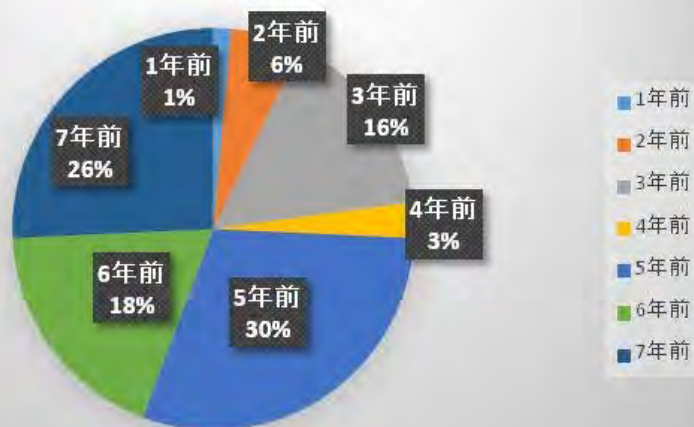
更に、「地域の人と親しくなるきっかけとなった活動」では「貞元ふるさと産品育成」が、「地域がよくなった変わったきっかけとなった活動」では「貞元花の道散策路ワークショップ」が目立つ。「関心の低い活動」で目立つのは、「文奴農園の活動」、「防災ハンドブックの作成」「貞元小の子どもと歩くワークショップ」「みどりのカーテンづくり」であった。「もったいない地域資源運動」「環境点検ワークショップ」も挙げられているが、これらは評価の高い活動にも挙げられている。また「環境点検ワークショップ」、「花の道」、「創作餅」に対する評価はいずれも高かった。

まとめると、具体的、目に見えて後に成果が残る活動、住民や地域外（大学など）との交流がはかれる活動、地域全体に関わる活動への評価が高く、交流のみが目的であり成果が残らない活動、地域の一部の人間に関わる活動、地域外（大学など）との交流があまりない活動の評価が低いことが分かる。活動はそれぞれどれも価値のあるものだが今後の参考にしたい。

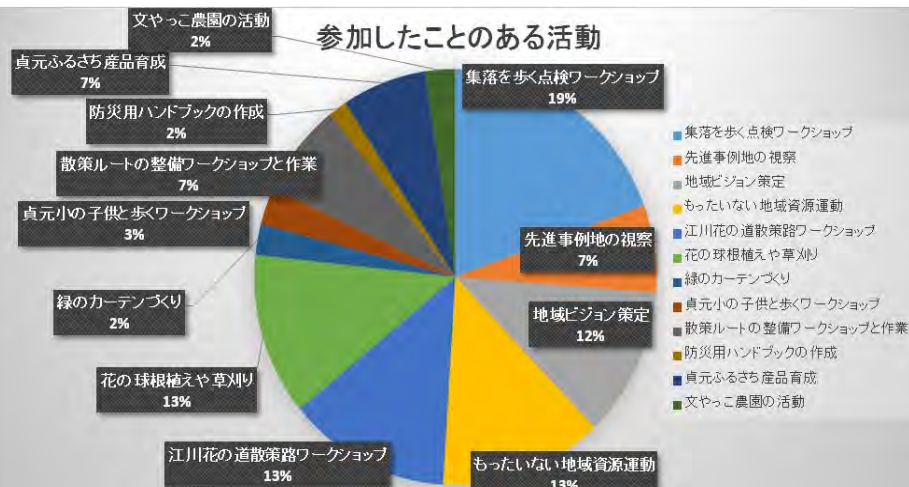
参加回数

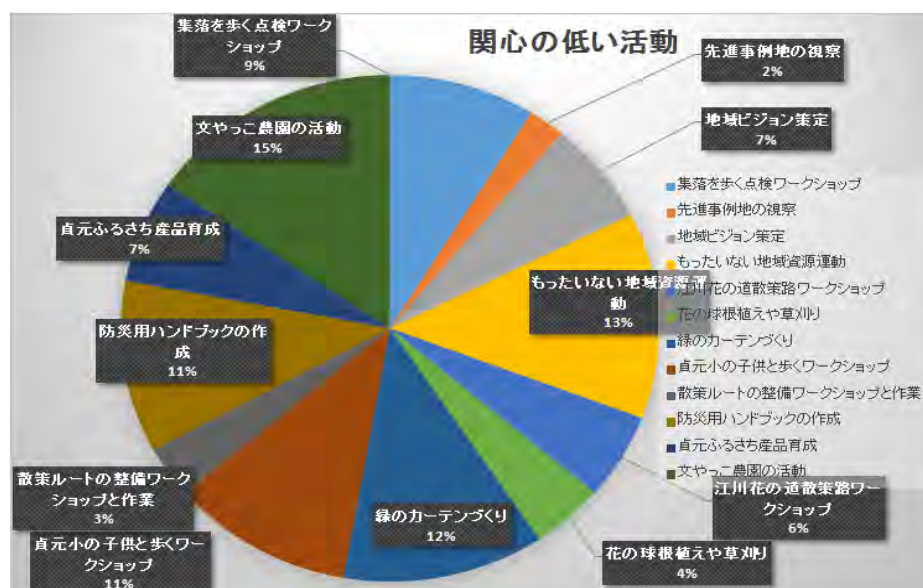
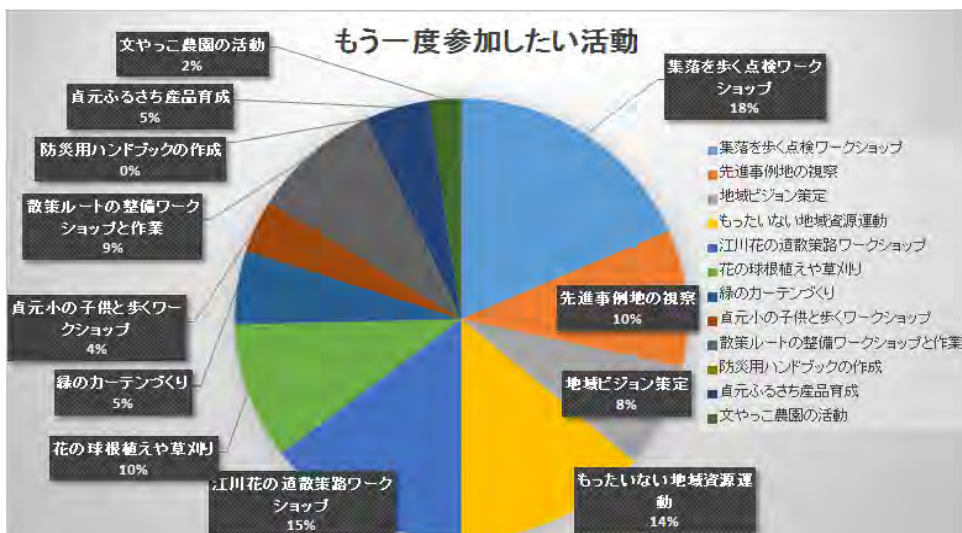
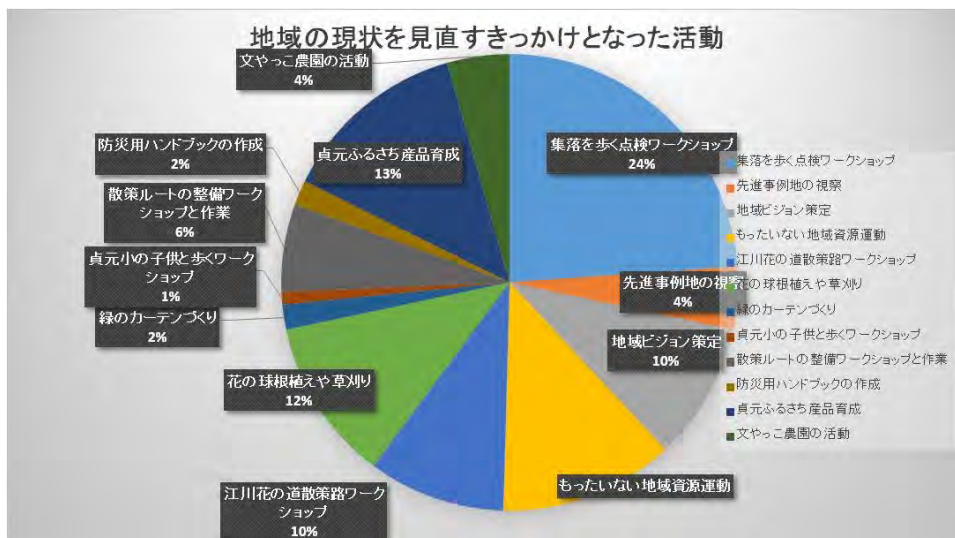


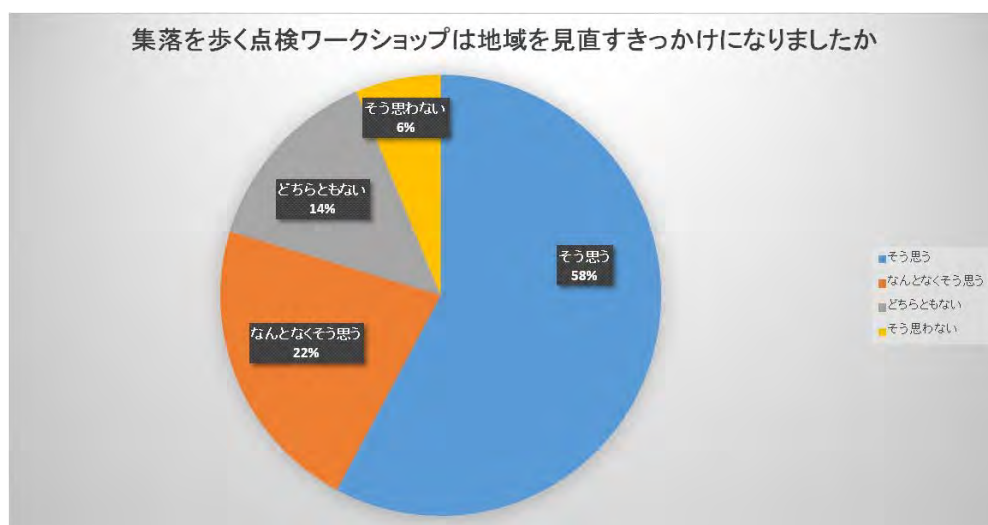
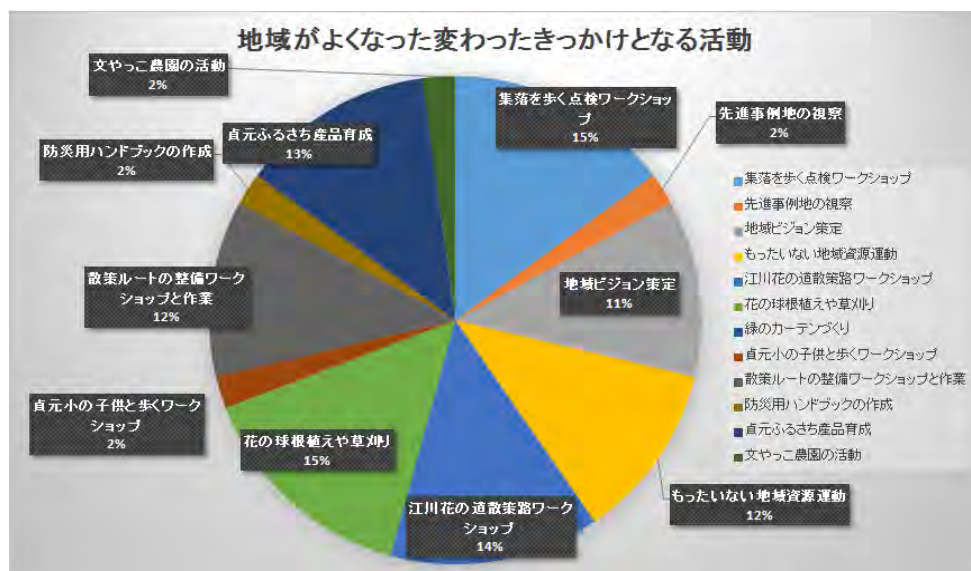
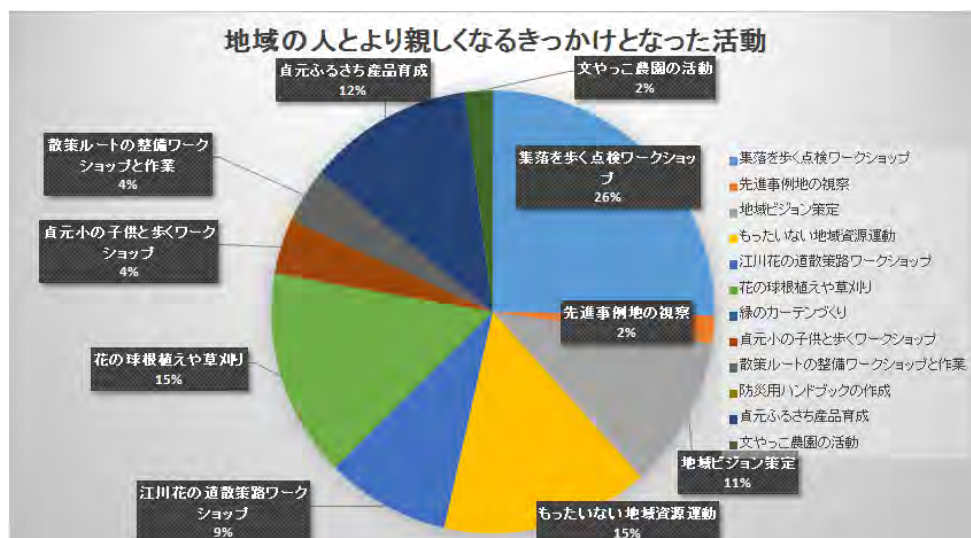
参加した時期



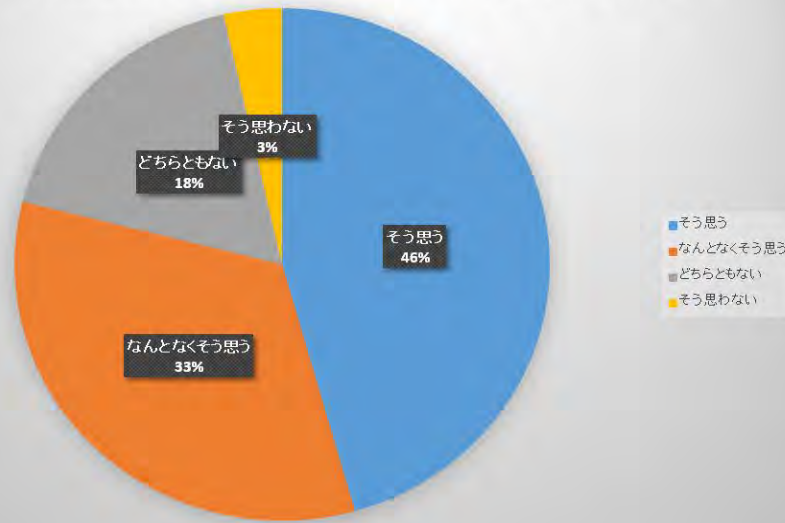
参加したことの活動



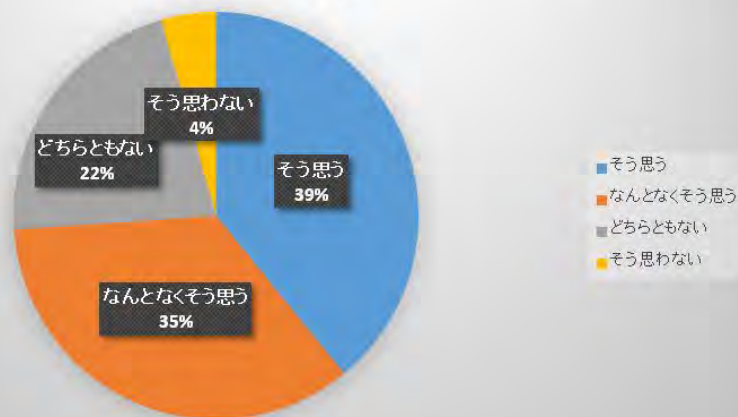




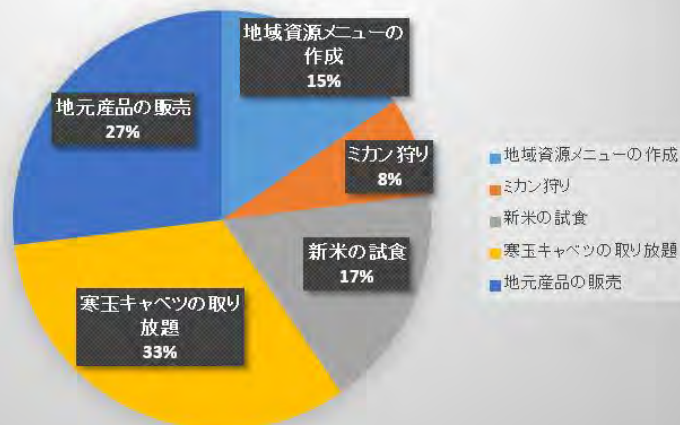
花の道を作る過程のなかで交流をはかる機会はふえたか



創作餅が貞元の名前を知ってもらうために役立っていると思うか



もったいない地域資源運動のなかでもういちど参加したい活動はどれか



6 章 まちづくりの成果と課題

ーうまくいったこと、うまくいかなかったこと、学べること、今後に向けてー

まちづくり活動の成果

まちづくり活動の成果の一つは、住民間の交流の機会が増え、楽しい時間を共に過ごせたことである。これは地域社会としての共同性を再構築する試みになり、また地域の事を考え、解決する力とも言うべき地域力が向上したと言える。

次に言えるのは特産品の開発や花の道の整備など、目に見えて、後に残る成果が残せたことである。前述の住民による評価アンケート結果によれば、やはり目に見えて後に残る活動に高い評価が集まった。また子どもたちに貞元を知ってもらい取り組みなど、次世代への働きかけなども地道に行った。一方で、地域外の人との交流や経済的活性化などといった地域ビジョンで掲げた理念には、定常的、質的という意味において、未だ到達していない。今後の展開に期待したい。

(1) コアメンバーの存在

齋藤貞夫事務局長をはじめ、コアとなる役員の方々の存在が大きい。地域づくりは非常に手間がかかる、いわば面倒な事柄であり、こうした方々の熱意と情熱がなければ長期にわたり活動は持続しなかった。少数でもよいのでこうした熱意と情熱を持ったコアメンバーの存在（育成？）が重要である。

(2) 大学の関与

手前味噌となるが、大学の研究室が現状把握の専門的調査を行い、これを伝えたこと、他地域事例を含めたまちづくりの方法・考え方、ワークショップなどの手法を紹介したことなども、地域への定期的な刺激となり、まちづくの背中を押す効果があったと思われる。

(4) 学生の参加について

学生の参加は予想外の効用があった。まず、若年層との交流の機会が少ない地域にとっては、元気を与えることになる一方、学生にとっても地域を学ぶ貴重な教育の機会ともなった。また、学生によるまちづくりプロジェクトや公園などの提案は、例えば当方のような専門家の提案に比べると、押しつけがましくなく、足りない部分も含めて、地域の方々にとって暖かく見て頂きながら同時に刺激になる良い機会となった。学生の若いエネルギー、世話をしたくなる未熟さ、素直さ、明るさは地域づくりに非常に有効である。

(5) 後継者の育成

地域全般に若年層が少ないという課題があるが、まちづくり活動においても若年層の参加が少ないことが課題である。つまり、今の中心メンバー

が高齢化したときにまちづくりの後を継ぐ者が不在であれば、活動が停滞してしまうのである。これは本地域に限らず全国的に共通する課題である。今後は若年層が活動に参加してもらえるような仕組みや雰囲気づくり、活動内容などを真剣に検討する必要がある。あるいは退職したばかりの方々をスカウトするアクションも考えられてよい。世代による価値観の相違や断絶をどう乗り越えるかという課題（これも全国で共通する課題であるが）も挙げておきたい。

（６）大学との関係と自律性

齋藤が心がけてきたのは、大学側がいなくなった時に自律的・自立的に活動を持続させる体力・能力を養うことである。つまり専門家は、その地域に永住しない限り、その関与に全面的に責任を持てないのであり、自律性、自立性を養うことが大変重要な点である。

おわりに

貞元地域のまちづくりの活動はこの７年間の間、多岐に渡って行われてきた。長命餅の販売など、定常化した取り組みもあるが、まちづくりの大きな柱である遊歩道の整備について言えば、整備した後の活用についてはまだ緒についたばかりである。つまり、地域外の人々との交流を目的として整備された遊歩道であるが、こうした交流を実質化する取り組みが必要となる。加えて改めて、地域外の人々とどの程度交流を進めたいのかという地域のニーズを共有する必要がある。多くの観光客が来訪する観光地のようになることが良いのか、少数でも顔の見える来訪者との交流を楽しみたいのか、改めて交流の目標像を問い直すということである。さらに言えば、地域にお金を落としてもらう仕組みづくりまで踏み込むのか、活動自体を楽しむという段階で良いのかという課題もある。お金を落としてもらう、つまり新しいコミュニティ・ビジネスを立ち上げるのであれば、経営に対するリスクを個人なり地域が負うことになる。過疎地域の先進事例のようにそこまでの覚悟があるかということが次の展開にとって重要な点である。

最後に、貞元地域まちづくり推進委員会の役員の方、委員の方、貞元地域の住民の皆様には７年間、本当にお世話になった。記して感謝申し上げたい。まちづくりの実質化という点ではまだ道半ばであるが、今後のまちづくりの展開に期待を寄せたい。また、同時に齋藤にとっても貴重なまちづくりの現場を与えて頂き、貴重な経験をさせて頂いたことにも感謝を申し上げたい。さらに、大学側でお手伝いした調査や活動の多くは、千葉大学園芸学部 齋藤研究室の学生、卒業生諸氏の助けなしには成立しえなかった。

活 動 記 録 編



編集 貞元地域まちづくり推進委員会

◎ 年次計画	
20年度	まちづくりの基礎力や機運を高める
21年度	調査資料のまとめ、提案事項の検討
22年度	地域ビジョン策定、提案事項の実現と自立事業化
23年度	具体的実践活動（江川外散策路の整備）事業運営の見直し、活動費の基盤強化
24年度	地域コミュニティづくり 地域防災の行動指針の作成 緑のカーテンづくりによる環境負荷軽減 地域プロジェクトの選定
25年度	散策路マップの作成・案内版の設置
26年度	散策路モニターツアー

◎ 大学と協働活動	
20年度	上湯江 郡・郡の杜地区WS 長老・組織団体長・産業者インタビュー
21年度	新御堂・小香 下湯江 杉谷・八幡WS
22年度	中富・釜神 貞元地区WS 地域ビジョン策定
23年度	花いっぱい運動WS ヒガン花、水仙植え・管理、鑑賞会
24年度	地域コミュニティづくりWS プロジェクトの選定・実施 貞元の自然に気づく探検（貞元小児童）
25年度	散策路マップ・案内看板の設置
26年度	散策路モニターツアーとWS 7年間のまとめに関するアンケート

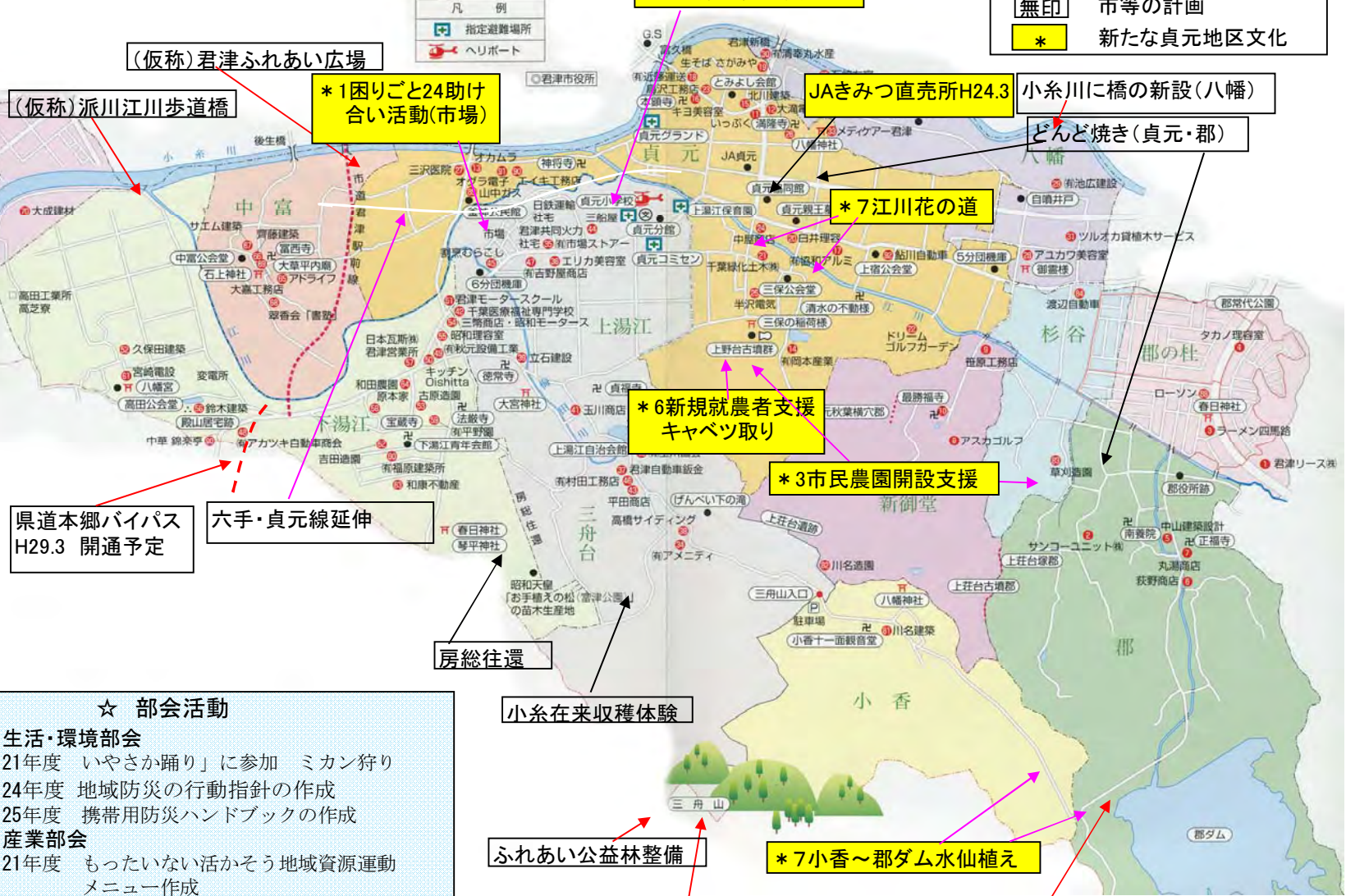
☆ 全体活動	
20年度	・設立総会 講演会 委員構成 ・会報No 1, 2
21年度	・まちづくり先進地視察 茨城県関城町 里山を守る会 笠間市 クラインガルテン ・郡ダム周辺地域振興会議 ・れんげの里のふれあいに参画 新米味くらべ、パネル展示 ・もったいない活かそう地域資源運動 ・会報No 3, 4
22年度	・月刊コロンプスが委員会の活動を掲載 ・ふるさと往来倶楽部が東京でキャベツ小糸在来を販売 ・会報No 5, 6
23年度	・事業運営の見直し ・会報No 7, 8
24年度	・防災講話 東日本大震災に学ぶ ・会報No 9, 10
25年度	・会報No 11, 12

☆アンケート調査等	
21年度	貞元まちづくりについてアンケート（対象 委員）
23年度	事業運営見直しに関するアンケート ボランティア協議会に対する講話：新たな貞元地区文化の創造
24年度	貞元の自然に気づく探検の展示とアンケート集約（小学生対象）

文化のまちづくり市税1%支援事業（平成20年度～26年度）

新たな貞元地区文化の創造（概要版）

—もったいない活かそう地域資源—



凡 例	
☆	委員会活動
◎	大学と委員会協働活動
△	大学による調査等
無印	市等の計画
*	新たな貞元地区文化

平成27年3月31日 作成
貞元地域まちづくり推進委員会

△ 大学による調査・講演等

20年度	・講演「地域の暮らしとまちづくり」 齋藤雪彦先生
21年度	・貞元地区の長老、組織団体長、産業関係者に対するインタビュー ・貞元地域調査 ・調査報告 貞元地区子供の遊び ・市内全域調査 ・定年者、勤労者に対するインタビュー ・調査報告 貞元地域の暮らしの姿 ・調査報告 貞元土地利用分布 ・都心・フィンランドの子供の生活を比較して報告者 近江屋一朗
22年度	・調査報告 勤労者男性（退職者含む）の余暇に関するアンケート
23年度	・君津市内の開発（砂山、産廃等）に関するインタビュー ・六手・貞元線ポケットパークデザイン発表会 ・調査報告 中野・周南地区外勤労者に関するアンケート ・広島県安芸高田市など地域づくり 齋藤雪彦先生
25年度	・男性勤労者アンケート調査報告 （周南、中野、静岡、札幌、貞元）
26年度	・講演 大船渡細浦地区の復興まちづくり構想 齋藤雪彦先生 ・7年間のまとめに関するインタビューと委員を対象にアンケート調査

* 新たな貞元地区文化の創造（成果）

21年度	* 1 もったいない活かそう地域資源（ミカン狩り 新米販売） * 2 困りごと24助け合い活動（市場自治会） * 3 市民農園開設支援
22年度	* 4 地域ビジョン策定 * 5 ホームページの開設 * 6 もったいない活かそう地域資源運動（消費者の会、ふるさと往来倶楽部等との連携、農産物販売、余剰キャベツ取り）
23年度	* 7 「江川花の道」「小香～郡ダム」にヒガン花・水仙植え⇒観光振興 * 8 共助の醸成（福島産品の販売支援） * 9 貞元(テゲン)モチ（菓草・小糸在来入り等）の創出⇒自立事業化検討
24年度	* 10 地域コミュニティづくり⇒地域連携、 * 11 緑のカーテンづくり⇒地元産品の育成、省エネ・環境負荷の軽減⇒継続 * 12 貞元モチ⇒貞元ふるさと産品協議会発足
25年度	* 13 散策路マップ⇒健康宣言都市（歩く動機づけ）、観光振興
26年度	* 14 携帯用防災ハンドブック * 15 まとめの冊子「貞元まちづくり物語」 波及した * 16 貞元甲冑会（26年2月発足） 効果 * 17 里山シンポジウム In 君津に参画 * 18 推定2100年前のケヤキの埋蔵木保存展示及び小学校の体験学習に活用を企画提案

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

貞元まちづくり

No 1

発行 平成20年12月1日

編集 貞元地区自治会連絡協議会

貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

貞元地域まちづくり推進委員会が発足

6月21日9時から、生憎の雨の中貞元コミュニティセンターで君津市長、君津商工会議所会頭のごあいさつ、君津農林振興センター、君津市企画財政部長を含め12名をお招きし、委員87名のうち60名の出席者により発足しました。

この委員会は、貞元地区自治会連絡協議会の下部組織として「新たな貞元地区文化の創造」に向けて活動します。



委員長あいさつと役員

役職は裏面をご覧ください。

地域アドバイザーは、齋藤雪彦先生（千葉大学大学院園芸学研究科 准教授）にお願いしました。

講演会「地域づくりについて」

講師 齋藤雪彦先生

貞元地域まちづくり推進委員会の発足を記念して、地域アドバイザーの齋藤先生に、同日10時30分から地域づくりの進め方、注意点、ワークショップ手法の実践など、多くの事例を含め講演をしていただきました。

まちづくり推進委員会の活動

まちづくり推進委員会は、生活・環境部会、産業部会、観光・交流部会の3つの専門部会を設置し、10月からスタートしました。

未知の分野に、素人集団が取り組んでいるので戸惑うことばかりですが、まず「まちづくりは人づくり」を目指していきたいと思います。

ワークショップ開催



各班の発表

8月23日午後、齋藤先生からワークショップ手法についての講義を聴いた後、5班に分かれて上湯江地区を歩いて調査しました。

調査後、貞元コミセンに戻りまとめをし、班毎に発表しました。齋藤先生から初めてとは思えない出来栄との講評をいただきました。

出席した皆さんからワークショップは楽しかったと好評でした。



各班の成果品（大学院生作製）

その他活動

- 10月8日 現地インタビュー調査（大学院生）
- 11月28日 齋藤アドバイザーと役員の意見交換
- 12月 郡地区のワークショップ
- 21年2月 活動経過の報告会を予定
- 随時 役員会 専門部会 地区委員会

委員長就任にあたって

宮 寄 博 之



まちづくり推進委員会設立総会で委員長という大変重要な役を務めさせていただくことになりました。

既にご承知の通り、この地域にも新日鐵が進出以来、水辺公園の造成、サファリーの話、180ヘクタールの土地区画整理事業等々開発計画はありましたが、実現されないまま過ぎてきました。今回、市道君津駅前線の完成に伴い六手貞元線の着工、「三舟山・郡ダムを中心とした観光振興対策計画等」により、この地域の大きな変貌が予想される今、「新たな貞元地区文化の創造」を図るため、この委員会を組織しました。委員会は「生活・環境」「産業」「観光・交流」の3専門部会からなり、専属講師のもと各部会長を中心に活動を推進してまいります。

そこで、貞元地域住民の皆様、住まわれております地区、それぞれに特色がありますが運

貞元地域まちづくり推進委員会

平成20年6月 設立総会

役職名	氏 名	地区	所 属 ほか
委員長	宮寄博之	貞元	
副委員長	宮寄行男	貞元	貞元地区連協会長
副委員長	栗山富士男	上湯江市場	生活・環境部会長 市場
副委員長	三幣保夫	郡	産業部会長
副委員長	萩野 保	郡	観光・交流部会長
会 計	小林一臣	上湯江	生活・環境部会
会 計	渡邊利光	貞元	観光・交流部会
事務局長	齊藤貞夫	中富	産業部会
副部会長	山中政人	貞元	生活・環境部会
副部会長	鶴岡大樹	八幡	産業部会
副部会長	玉川信也	小香	観光・交流部会、里の案内所
副部会長	津野彦馬	上湯江	観光・交流部会

監 査	渡辺勝美	貞元	産 業
監 査	中山和夫	郡	生活・環境
顧 問	吉田 勝	下湯江	生活・環境
顧 問	山下秀弥	上湯江	産 業
顧 問	原 実義	下湯江	観光・交流

地区外

アドバイザー	齋藤雪彦	松戸市	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授
産 業	小林寛子	木更津市	君津農林振興センター
生活・環境	宮崎 功	君津市	中央公民館長
産 業	重田明彦	君津市	君津市管理課
産 業	丸山 弘	君津台	千葉県JICAボランティアの会 理事
観光・交流	刈込詔司	久保	君津まちづくりの会
観光・交流	小池英憲	宮下	森林インストラクター
観光・交流	元岡陸視	人見	小糸川倶楽部
	千葉大学院生	松戸市	千葉大学大学院園芸学研究科 5名

生活・環境部会

中山 誠	郡の杜	
小川雅己	杉谷	
山田 孟	新御堂	
田村直宏	新御堂	民生委員
山田 信	新御堂	
石崎 克	八幡	
半澤芳子	貞元	民生委員
山田久美子	貞元	交通安全
川名克己	小香	
永塚和男	上湯江	
永嶋陽子	上湯江	
鈴木善也	下湯江	P T A
久保田史朗	下湯江	P T A
山田淳子	下湯江	
齊藤邦一	中富	
榎本治子	中富	民生委員
齊藤誠一郎	中富	防犯協会
岩本真左子	上湯江市場	市場
樋渡康隆	上湯江	日鐵運輸
光野幸弘	郡の杜	
鈴木孝一	郡の杜	

産業部会

柴崎 肇	杉谷	
山田正之	新御堂	
榎本正彰	八幡	
平野宏行	貞元	消防第1師団
鮎川真和	貞元	
横倉秀樹	貞元	
鈴木克己	貞元	
白井 孝	貞元	
川名博章	小香	
玉川泰宏	小香	
鈴木博英	上湯江市場	
鈴木芳昭	上湯江	
三幣薫久	下湯江	
和田和行	下湯江	
平野 功	下湯江	
平野幸代	下湯江	
齊藤寅雄	中富	
齊藤 諒	中富	
田村高治	中富	
今井正治	上湯江	共同火力
貝淵誠治	下湯江	高田工業

観光・交流部会

前田満穂	郡	
鈴木文男	郡	
草苅祐一	杉谷	
岡本初雄	新御堂	
鮎川勝司	八幡	
鈴木 直	貞元	
倉本弘信	貞元	
北川恵一	貞元	
篠田富男	上湯江	
和田俊夫	下湯江	
館石亮行	下湯江	
曾子 初	下湯江	
齊藤利夫	中富	
齊藤洋子	中富	
齊藤真一	中富	
中路敏則	上湯江市場	
小池公子	上湯江市場	
北畠勝雄	郡の杜	
橋本弘栄	郡の杜	
貞元小学校	上湯江	

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

て い げ ん

貞元まちづくり

No 2

発行 平成21年3月31日(火)

編集 貞元地区自治会連絡協議会

貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

貞元地域まちづくり推進委員会は、「新たな貞元地区文化の創造」に向け活動してまいりました。21年度も事業申請をし、採択されました。

詳しくは裏面の年次計画をご覧ください。

ともに考えませんか少子高齢化

少子高齢化について、よく云われていますが、貞元地域の実態を知っている方は少ないと思われますので、貞元小学校の協力をいただき、卒業生と全校児童数、学級数を調査していただきました。調査結果は、下表のとおりです。

昭和48年度から54年度は日鐵運輸等社宅入居の影響と思われます。一方、平成3年以降は200人前後に減り、平成20年度以降は150人以下に推移することが見込まれています。

はたして、このままでよいのか考えさせられる問題として、提起させていただきました。

対策として、当面は郡土地地区画整理地に居住の促進、将来的には児童の増加が見込まれるまちづくりが必要と思われます。

学生の提案展示中

貞元コミュニティセンター大会議室に、千葉大学大学院で作製した「郡、貞元、上湯江、小香、中富地区」の提案パネルを展示中、お立ち寄りご覧ください。また、意見箱を設置しましたので、ご気軽にご記入ください。

まちづくり推進委員募集

21年度は、提案事項の検討段階等をむかえ、一層充実した活動計画を策定しました。

貞元地域をより住みよいまちにしたいと、ともに考えたい方々を下記により募集します。

1. 応募資格 貞元地区在住20歳以上の方
自薦及び推薦 地区外は推薦のみ。
2. 報酬はありません。
3. 応募 4月15日までに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を電話または口答で各地区自治会長または事務局長齊藤まで
(電話52-3086 FAX52-4086)

貞元小学校児童数の推移

年度	卒業	年度	卒業	年度	卒業	年度	卒業	児童	学級	年度	卒業	児童	学級	年度	卒業	児童	学級
明20	22	40	45	2	47	22	87	368	8	45	75	353	11	5	43	201	7
21	21	41		3	38	23	53	336	9	46	44	351	12	6	31	189	6
22	23	42		4	36	24	62	341	10	47	62	384	12	7	36	182	6
23	24	43	32	5	44	25	38	347	10	48	57	402	12	8	35	171	6
24	17	44	47	6	48	26	55	364	10	49	55	423	13	9	31	187	6
25	31	大正	43	7	50	27	61	348	10	50	54	456	13	10	32	196	6
26	27	2	33	8	35	28	60	358	10	51	63	459	12	11	38	204	6
27	23	3	47	9	45	29	61	375	10	52	65	456	12	12	33	197	6
28	19	4	50	10	48	30	68			53	61	445	12	13	25	195	6
29	25	5	42	11	38	31	49			54	74	429	12	14	34	215	6
30	27	6	40	12	51	32	46			55	63	380	12	15	30	213	6
31	25	7	35	13	47	33	73	389	12	56	70	364	12	16	39	203	6
32	42	8	46	14	54	34	81	390	11	57	45	334	10	17	34	186	6
33	20	9	48	15	52	35	65	333	10	58	59	331	12	18	33	179	6
34	26	10	48	16	40	36	59	302	9	59	59	310	11	19	41	170	7
35	34	11	39	17	47	37	58	275	7	60	48	297	11	20	33	144	6
36	19	12	54	18	53	38	55	247	7	61	65	293	10	21	*26	*128	*6
37	35	13	42	19	62	39	47			62	40	254	9	22	*19	4年生	
38	37	14	47	20	58	40	45	223	7	63	24	261	10	23	*25	3年生	
39	39	昭和	46	21	57	41	29	211	7	平成	47	231	9	24	*23	2年生	
						42	38	225	7	2	47	225	8	25	*18	1年生	
						43	34	240	8	3	31	209	7	26	*17	入学予定	
						44	37	290	9	4	25	199	7				

* 明治41・42 6年制に移行のため
卒業生なし 空白は記録不詳

* 見込み

事業名 新たな貞元地区文化の創造

貞元地域まちづくり推進委員会 平成21年3月
後援 貞元地区自治会連絡協議会

まちづくりの基本方針

20年度実績

21年度計画

22年度計画

○まちづくりの基礎力や機運を高める

○調査資料のまとめ ○提案事項の検討

○提案事項の実現化 ○自立事業に向けて

目的 「新たな貞元地区文化の創造」を図るため、君津市のまちづくり計画等参考資料の理解を図り、広く行政や大学、専門家と協働して、実現に向けての具体的な方策を検討し、まちづくり事業やまちのルールづくりを推進する。 ○基本テーマ 「まちづくりは人づくり」 ○参考資料 1.第3次まちづくり計画（平成20～24年度） だれもが輝く新生君津へのアプローチ 2.地域整備計画（目標年次平成27年度） (1) 地区の将来像 市街地との隣接性と豊かな緑を生かし「ふれあいのできる地区」を目指します (2) 地区の整備方針 ・人口の増加に対応した新たな土地利用 ・三舟山丘陵地に自然公園のレクリエーションエリア形成 ・農業環境の整備、都市近郊型農業の振興
事業 1.地区の課題・文化資源の調査、まちづくり研究 2.新たな貞元地区文化やまちづくりの創造 3.まちづくりの推進に関する広報
組織 1.各地区自治会長、貞元地域コミュニティ活動推進委員会、貞元地域アドバイザー、公募者、推薦者をもって構成。（現在86名 内地区外7名） 協力大学生5～7名 2.地域アドバイザーは、千葉大学園芸学研究科准教授齊藤雪彦氏に委嘱 3.「生活・環境」「産業」「観光・交流」部会設置
活動 1.推進委員会 総会、役員会、専門部会、地区会議、調査広報紙発行、新たな貞元地区文化の実現化 2.推進委員会・大学協働活動 まちづくりの基礎力アップ、ワークショップ意見交換会、事業の計画づくり、年度末報告会 3.大学調査（学生調査含む） 土地利用・貞元の暮らし等調査、基礎情報収集、地域の方針性提案

貞元地域の現状把握 1.君津駅前線の完成、六手・貞元線の延伸、本郷バイパスなどの交通網整備 2.三舟山・郡ダムを中心とした観光振興計画（三舟の里案内所、三舟山・郡ダムお花見ウォーク） 3.小糸川夢プラン（仮称）君津ふれあい広場（いやさか・桜・あじさい・花火祭り・駐車場） 4.少子高齢化（児童数の減少） 5.農地の担い手、後継者問題 6.地域特産品（小糸在来） 7.農地・水・環境保全の取組み（3地区）
活動実績 かつこ内（計画数→実績数） 1.活動推進委員会 (1)総会 (1→1) (2)役員会議 (6→6) (3)運営会議（専門部会） (6→5) (4)地区会議 (6→0) (5)調査 (1→3) *上記会議の補完 ・貞元の暮らしアンケート配布・回収 ・土地利用調査 ・まちづくり意見聴取調査 (6)広報紙発行 (2→2) (7)ワークショップ、学生提案パネル展示PR (1→5) 2.推進委員会・大学協働活動 (1)ワークショップ (2→2) (2)意見交換会（1→4）内市長との懇談1 (3)年度末報告会 (1→1) (4)講演及び指導 (2→2) 3.大学調査（学生調査含む） (1)子供の遊び・遊び場調査 (0→1) (2)インタビュー調査 (0→1) (3)地区の方針性提案 (0→5地区)
効果 (1)まちづくりの基礎力アップ (2)地域内外、多世代のコミュニケーション (3)地域情報の共有化（ホームページ検討）
新たな貞元地区文化の創造 (1)困りごと24助け合い活動（市場自治会） (2)郡ダム周辺整備・イベントに参画
課題 若者、女性の参加

活動計画 （前年より継続） 1.活動推進委員会 (1)総会 1回 (2)役員会議 4回 (3)運営会議（専門部会）（3部会各4回） (4)地区会議 随時 （ワークショップ、学生提案事項の検討） (5)土地利用等調査（前年の継続ほか） (6)まちづくり意見聴取調査の検討 (7)広報紙発行 2回 (8)推進委員会のPR（パネル展示）4回 (9)若者、女性の参加（課題の対応策） （公募、委員による参加のPR、若者・女性組織に出前委員会、意見調査等の実施） 2.推進委員会・大学協働活動 (1)ワークショップ 6回 (2)先進事例地視察 1回 (3)意見交換会 3回 (4)年度末報告会 1回 3.大学調査（学生調査含む） (1)子供の遊び・遊び場調査のまとめ (2)貞元の暮らしアンケートのまとめ (3)土地利用調査のまとめ (4)地区の方針性提案 4地区
効果 (1)貞元地区の実態把握と見直し、文化を創造する材料を得る (2)ホームページによる情報共有化
新たな貞元地区文化の創造 (1)貞元全自治会が「いやさか祭り」に参加 (2)「れんげの里のふれあい」の更なる充実（保育園児から高齢者間、地域内外の交流） (3)郡ダム周辺整備・イベントに参画（継続） （千葉県総合企画課、君津市、企業、推進委員会、住民との連携） (4)先行活動団体との連携 （小糸在来、農地・水・環境保全会、三舟の里案内所、小糸川の祭り、江川四季の会等） (5)貞元ブランドの創出

提案事項の実現化 推進委員会、推進委員会・大学協働活動、大学調査等で提案された事項について、実現化に向けて具体的な取り組みをする。（前年の継続）
活動計画 前年度の実績を踏まえ、効果的な活動を計画 1.推進委員会 (1)総会 (2)役員会議 (3)運営会議（専門部会） (4)地区会議 (5)広報紙発行 (6)推進委員会のPR（パネル展示） 2.推進委員会・大学協働活動 (1)ワークショップ（計画づくり） (2)計画に関する意見交換会 (3)年度末報告会 3.大学調査（必要に応じ協力依頼）
効果 (1)貞元地区の総合力・地域力の向上 (2)新たなまちづくり事業・まちのルールづくり (3)ネットワークの構築
新たな貞元地区文化の創造 自立かつ継続できる事業を展開する。



提案例 郡まると学校プロジェクト(イメージ)
左下 谷津田で農業体験
右上 昭和の文化を体験
右下 郡ダムで自然とふれあう

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

貞元まちづくり

No. 3

発行 平成21年11月19日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

活動報告

貞元地域まちづくり推進委員会総会

6月13日18時30分から、貞元コミュニティセンターで開催し、本年度は「調査資料のまとめ」「新たな貞元地区文化の提案事項の検討」を主体にした活動計画と、予算節減の意見が付され承認された。21年度は、新委員に新自治会長、農業委員が加わり総勢97名で活動します。

まちづくり先進事例地の視察

7月4日、23名が参加して、茨城県関城町の「特定非営利活動法人 里山を守る会」と笠間市の「笠間市クラインガルテン（ドイツ語で小さな庭 滞在型市民農園）」を視察しました。

「里山を守る会」は、会員100名で年間を通して子ども達の自然体験活動の充実と環境保全を図るため、雑木林を整備し、里山として活用し、かつ人々の憩いの場とすることにより自然と人間が共生できる豊かな社会の実現に向けて活動しています。

田んぼで田植えや稲刈り、夏には子供にホタルを見せ



里山を守る会の概要を聞く

たくて、寒い時期からホタルの幼虫が住みやすい環境整備もしています。

まちづくりの継続は、強力なリーダーがいること。看板に「自分の責任で自由に遊ぶ！」事故は自分の責任という考えが根本にあること。

貞元で同様の事業を実施する場合に、大変参考になりました。

「笠間市クラインガルテン」は、笠間市が、新たな生活文化の提案として「農芸と陶芸のハーモニー」をテーマに、都市住民が地域住民と交流を持ちながら草花や野菜を栽培し、心身共にリフレッシュできる農村生活空間として、笠間市が建設、平成13年4月開設、管理はJAがしています。

クラインガルテン50区画（1区画300㎡、宿泊施設37.3㎡、利用料金は年間40万円です。日帰り市民農園は50区画、交流施設、直売所等があります。

一部の農園利用者は笠間市に定住し本格的に田舎暮らしを实践したいという希望が寄せられているそうです。



宿泊施設と日帰り農園

貞元でも定住、交流人口増対策のひとつになると思いますが、初期投資が課題になりそうです。

まちあるき及びワークショップ

9月19日、今回は新御堂と小香地区でしたが区域が狭いことから、それぞれ1班でまちあるき及びワークショップを実施した。

大勢では多くの目で見ることが出来るが、人任せになりがちや意見が反映しにくいこともあり、1グループ7名前後が望ましいと感じた。

新御堂の班名は「稲村の会」で、まとめは、里山の風情を残すむら。課題は、学習と交流を通じて里山を整備して楽しい地域の活力の礎とする。小香の班名は「ホタルと棚田の里」で、まとめは、ホタルと自然と共生できる環境をつくる必要があることでした。これらの資料は、コミセン大会議室に掲示してありますので、ご覧ください。

まちづくり調査報告会

A. 貞元地域の暮らしの姿

—世帯、お仕事、農業の形と展望—

報告者 千葉大学大学院 准教授 齋藤雪彦 (指導監修・コメント作成)

須川陽平 (データ作成)

今年1月に実施した「暮らしに関するアンケート」について、11月1日に行われた報告会のまとめです。(アンケート回収 529 名)

1. 5世帯に1世帯は高齢者のみの世帯
 - ・10代、30代、40代が少ない。
 - ・先祖代々、来住者ともに高齢化全国平均 22.1% < 高齢化率 25% < 過疎地域

* 貞元地域 (本アンケート) 65歳以上
297 / 1168 = 25.4%

→ 少子高齢化が進んでいる。

2. 「販売農家は全世帯の1/3」
 - ・米のみ 63 (75%) 米と野菜 16 (19%) 野菜のみ 3 (4%)
 - ・農地面積の合計 2ヘクタール以下にまんべんなく分布
 - ・畑は概ね1ヘクタール以下 休耕地は概ね3反以下、数もそれほど多くない。
 - ・「やむをえず農業やる 約4割」「農業続けるつもり 約3割」
 - ・「子世帯が家を継いでも」、「農業後継者少ない 約20 / 500世帯」
 - ・農作業時間週5時間を超える担い手は、ほとんど60代以上→ 農業の衰退と非農家増大。休耕地は少ないが今後は心配である。

3. 兼業先は都市型で比較的安定している。
 - ・「住み続けたい」満足度高い。
 - ・「まちになる」は望まない「今の環境を活かして活性化していく」が多い。約60%
 - ・「自然」「のんびり」「静か」と評価。
 - ・農地への愛着が強い (転用売却希望は6%以下)

→ 現状の地域の体力は恵まれているが、今後は心配である。

4. 先祖代々・来住された方、販売農家・自給農家・非農家と立場の違いによって、意見・希望が少しずつ異なる (現状維持、不便さ解消等)

→ 違いを分かり合う、話し合うこと重要である。

5. まとめ

- I. 現状認識が大事である。(自分の立場で考えがち、全体の傾向を見ること)
- II. 「10年先、20年先の貞元地域に子供が帰ってくるまちづくり」をする。
- III. 非農家、都市住民の力で農地を守っていく時代が来ることが想定される。

※ データ、図表は、コミセン大会議室に掲示。

千葉大学大学院による調査

1. 市内調査 (齋藤先生 随員 齋藤・小林)

君津市において貞元地域は、どのような位置づけにあるかを確認するため、車と徒歩でくまなく調査しました。

平家の子孫が住んでいると云われている久留里の奥や、小さな直売所、オートキャンプ場、フルーツ農園の人との会話などから、意外な発見・出会いがありました。

調査日

6月2日 久留里・亀山方面

6月3日 小糸川右岸・三島・豊英方面

6月9日 鹿野山・周南・市内方面

2. 余暇実態調査 (齋藤先生)

農村地域で暮らす人々がどのような暮らし、余暇を過ごしているか 10月22日、11月1日の2日間にわたり定年者4名、現役4名をインタビューしました。

さだもと地区子どもの遊び生活調査の結果

報告者 千葉大学大学院 近江屋 一朗

貞元小学校の協力で「子供の遊び生活調査」について、8月23日に行われた報告会のまとめです。

1. 貞元地区に生活する子どもたちの生活は都市化の傾向にあり、習い事などに費やす時間が余暇時間を削っています。
2. 農村地域の少子化傾向に加えて、習い事の日時や場所が子どもによって異なることが子どもたちの遊び集団を形成しにくくしています。
3. その結果、子どもたちの遊びは住宅の中での小さな集団での遊びが主要なものとなっています。
4. 住宅周辺の屋外環境（庭、道路）は都市域では失われてしまった貴重な遊び場であるので、保全が望まれます。
5. 農村地域独自の遊びを通じて子どもたちが成長するためには、地域や学校が意図的な取り組みをしていくことが必要であると考えられます。
6. 東京都渋谷区の小学校では総合的な学習の時間に地域のお年寄りが子どもたちにベーゴマなどの遊びを教える「昔遊びの時間」を設けているところがあります。また、文化祭などの催しで「昔遊び」のコーナーも設置されています。学校側が地域の人たちの協力を得て、子どもたちに遊びを伝達する場を設けている取り組みの例です。この場合、単発での取り組みではなく、継続して遊びを伝える機会を設けることが重要です。地域の大人と子どもたちが知り合いになり、遊びの発展や地域の安全性の向上などが期待できます。
7. 住民が主体的に遊びの場を作り、それを学校側がサポートするという例もあります。

現在、「冒険遊び場づくり協会」が推進しているプレーパークという遊び場は子どもたちが自由に火を使い、のこぎりを使い、水を使って遊ぶことができる場所です。プレーリーダーという大人が子どもたちを見守ることで成り立っています。このような遊び場を設立したいという住民の取り組みがあった場合は、学校や

行政のサポートが必要となってきます。農村地域は冒険遊び場を作るには空間的に適しているため、このような運動が起こる土台は整っていると考えられます。

8. 以上、現状の遊びの衰退を子どもたちだけの力で克服するのは難しい段階です。「地域・PTA」と「学校」の相互協力による何らかの取り組みが必要な時期であると考えられます。いずれ子どもたちが自分自身の力で遊びを生み出していけるように、大人たちが子どもの遊びを支えていく仕組みづくりが望まれます。

※データ、図表は貞元地区子どもの生活時間調査報告をご覧ください。

貞元地域の整備

○六手・貞元線

平成23年度の供用に向けて、今年度は盛土派川江川にボックスカルバートの敷設等の工事を進めています。

○派川江川と小糸川との合流地点に橋の建設（コミセンにあるまちづくり意見箱に意見有）

22年度建設に向け21年度は調査を実施中。

○八幡と外箕輪・杵師間に橋の建設

建設に向け今年度はルート選定の調査中。

○ふれあい広場

市道君津駅前線ふれあい橋そばに計画。

○稲村の里の整備（郡地区 江川四季の会）

子供から大人まで自由に遊べるツリーハウス、キャンプ場、山道等逐次整備中。

○本郷バイパス

早期着工に向け富津市と協働で県に要望中。

○千葉県健康と癒しの森30選

君津市は、三舟山、久留里城山の森、清和県民の森、君津亀山少年自然の家のカ所が選定されました。（広報きみつ10月より）

新たな貞元地区文化の創造

いやさか祭りに参加

いやさか祭りには現在中富地区だけが参加しておりますが、貞元地区全体で参加の復活をすべく、今年は市場・郡・郡の杜自治会から20名が中富自治会に合流して参加しました。

れんげの里のふれあい

10月31日に開催された「れんげの里のふれあい」には、まちづくり推進委員会として、共通の課題である「地域文化の創造」と更なる充実に向けて、「まちあるきとワークショップのパネル」の展示、「小糸川ものがたり一大草平内の川回し」のビデオ上映、「新米味くらべ」をしました。「新米味くらべ」は、初めての試みで内容については、下記をご参照ください。

もったいない活かそう地域資源

「新たな貞元地区文化の創造」のひとつの試みとして、栗山市場自治会長の協力で市場自治会員に新米を試食してもらい、注文をとったと

ころ約10俵になりました。

また、11月15日は、小香地区でミカン狩りを実施、20名が参加しました。

身近でミカン狩りを通して交流が図られ、提供者も喜ばれていました。将来は、ミカンの手入の応援をして、資源の活用を考えています。

米、ミカンの収益の一部は、まちづくり推進委員会の運営資金にします。

君津市杉谷貸し農園

まちづくり推進委員の鈴木文男さんが、笠間市のクライナガルテンを参考に、当面、規模は小さい(畑5区画、田、簡易施設)ですが、モデルとして、まちづくり推進委員会も全面的に協力したいと一緒に進めています。

問合せは、鈴木文男(52-4509)

郡ダム周辺地域振興推進会議

江川四季の会(郡)を中心として、郡ダム及び周辺の山林を活用した施設整備、ワーキングホリディ、ウォーキング等の活動をしています。

新米味くらべ (小学生)

	A		B		C		D	
	コシヒカリ	名点	天日干コシヒカリ	名点	ヒカリ新世紀	名点	ふさがね	名点
1番	6	24	14	56			4	16
2番	4	12	3	9	13	39	4	12
3番	7	14	2	4	9	18	6	12
4番	7	7	5	5	2	2	10	10
	24	57	24	74	24	59	24	50
得点順位	3		1		2		4	

(その他)

	A		B		C		D	
	コシヒカリ	名点	天日干コシヒカリ	名点	ヒカリ新世紀	名点	ふさがね	名点
1番	16	64	5	20	9	36	11	44
2番	11	33	4	12	13	39	13	39
3番	8	16	9	18	13	26	11	22
4番	6	6	23	23	6	6	6	6
	41	119	41	73	41	107	41	111
得点順位	1		4		3		2	

(総合)

	A		B		C		D	
	コシヒカリ	名点	天日干コシヒカリ	名点	ヒカリ新世紀	名点	ふさがね	名点
1番	22	88	19	76	9	36	15	60
2番	15	45	7	21	26	78	17	51
3番	15	30	11	22	22	44	17	33
4番	13	13	28	28	8	8	16	16
	65	176	65	147	65	166	65	160
得点順位	1		4		2		3	

1. 点は、1番:4点 2番:3点 3番:2点 4番:1点とした。

2. ヒカリ新世紀は、99.9%以上コシヒカリの遺伝子を受け継いでいる新品種で、倒伏に強い、多収穫です。

3. 食味値は、「アミロース(低いと粘りがある)」「たんぱく質(少ないとふっくらとしたご飯)」「水分(16%に近いほうがよい)」「脂肪酸度(古米化の進み具合、低い方がよい)の成分を測定し、算出します。

平成21. 10. 31 れんげの里のふれあい 主催 貞元地域まちづくり推進委員会

感想(数字は人数、なしは1名)

1. Aについて、小学生は甘かった。その他の人は、香り(2)、甘み(5)、ねばり(2)味が濃い、口全体に広がる、歯ごたえ、つや、食感が良い、もちもち感。
2. Bについて、小学生はもちもち、甘味があった。
3. Cについて、その他の人は、臭みがなかった、ゴハンらしく感じる、甘味とねばりがちょうど良いもちもち感。
4. Dについては、その他の人は、香り、甘み(4)味が濃い、歯ざわりと固さ(固いご飯が好き)

比較結果

1. いずれも新米で食味値が高くその差が少ないので、順位付けに悩まれたと思います。
2. その中で大きな差があったのはBの天日干しで、Bの炊き方が少し軟らかかったことで、小学生に好まれたのではと想定されます。炊き方の大事さを示したとも云えます。
3. 個人の好みもあり、必ずしもコシヒカリでなくてもおいしいご飯があるといえます。
4. 今回は、いずれも新米でしたが、古米を含めた比較もしてみたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

貞元まちづくり

N o 4

発行 平成22年3月19日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

21 年度活動を振り返り

今年度は・調査資料のまとめ・提案事項のまとめをテーマに活動しました。

年度前半の活動は、会報N o 3 に記載してありますので、ご参照ください。

ワークショップ（地区別環境点検）

9 月 小香・新御堂地区



◎小香（左） ホタルと棚田の里

まとめ ホタルと自然と共生できる環境をつくる必要がある。

◎新御堂（右） 稲むらの会

まとめ 里山の風景を残すむら

課題 里山を整備して楽しい地域の学習と交流を通じて活力の礎とする。

11 月 下湯江地区



◎下湯江（左） 三舟山の台地

まとめ 房総往還と三舟山台地を生かした里づくり

課題 ハイキングコースの整備

◎下湯江（右） 庭木探検隊

休耕地が少なく、手入れの行き届いた庭や大木も多く酒蔵があり、ゆったりした豊かな感じのする街

課題 ①整備されているにもかかわらず道幅の狭いところもある側溝にふたが欲しい。

②県道（君津大貫線）交通量多い。



◎下湯江 殿山会

立派な住宅街と小糸川左岸の不法投棄のアンバランスが目立つ、広々とした稲田の広がりには心のやすらぎになる。

1 月 八幡・杉谷地区



◎八幡（左） 清水（せいすい）の郷

まとめ 1. 豊富な清水のあることを知り、清水を活かして土地利用を考える。

2. 小糸川左岸を整備し、右岸との回遊歩道とする。

3. 休耕地と竹の利用を考える。

◎杉谷（右） 空から地下まで有効利用

まとめ 小さい集落ながら水・陸・空三つの資源を有効活用する個性豊かな杉谷

課題 近隣との連携でもっと有効利用すればすばらしい住みよい集落ができる。

清水の源である林の整備、クラインガルテン開園、盆栽庭園のアピール、先人の知恵の活用。

7月 吾郎助山・クインガルトンの見学

貞元基礎調査報告会

○8月 さだもと地区子どもの遊び生活環境の結果

○11月 貞元地域の暮らしの姿

(以上 会報N o 3 参照)

2月 貞元地域土地利用分布について



発表する須川君

昨年、皆様のご協力で調査した貞元地域の土地利用分布について、千葉大学大学院地域計画学研究室の須川陽平君がまとめました。

分布図は、地区毎に作成され、パソコンで見ることができます。

各地区の分布について

1. 中富地区

- ・ 田や畑に囲まれ耕作地の面積が広い。
- ・ 宅地以外のほとんどが耕作地。
- ・ 荒地・休耕地の割合が高い。
- ・ 幹線道路沿いと川沿いに荒地が存在する。

2. 下湯江北（小糸川方面）

- ・ 水田がまとまって存在する。
- ・ 荒地・休耕地が幹線道路。川沿いに存在。
- ・ 道路沿いに事業所が見られる。

3. 下湯江南

- ・ 荒地・休耕地の割合が少ない。
- ・ 事業所が幹線道路沿いに見られる。

4. 上湯江地区

- ・ 北の低地では水田地帯、南の高台では畑が多い。
- ・ 休耕地の面積は少ないが、荒地がまとまって存在する。
- ・ 特に谷津田の荒地が目立つ。
- ・ 水田地帯の荒地は、減反によるものと思われる。

5. 小香地区

- ・ 水田、畑、果樹の分布に偏りが無い。
- ・ 荒地、休耕地の割合が多い。
- ・ 地形的に農業を行う条件が悪いので、荒地・休耕地が多いと考えられる。

6. 貞元地区北（釜神方面）

- ・ 土地利用のなかで、水田地帯が割合を多く占める。
- ・ 休耕地の割合が非常に少ない。
- ・ 荒地が多い。

7. 貞元地区南（釜神以外）

- ・ 水田地帯が割合を大きく占める。
- ・ 畑利用は、集落近くの小規模な畑と、台地でのまとまった利用が見られる。
- ・ 休耕地の割合が非常に少ない。
- ・ 東端に資材置き場が見られる。

8. 八幡地区

- ・ ほとんどの土地を水田が占める。
- ・ 水源が豊富。
- ・ 荒地が非常に少ない。
- ・ 水が豊富なところでは、休耕地があまり見られない。

9. 新御堂地区

- ・ 休耕地がない。
- ・ 貞元地区で、荒地が占める割合が一番高い。
- ・ 樹林地が多く、耕作利用の割合が少ない。
- ・ 圃場整備された農地がなく、農業条件悪い。

10. 杉谷地区

- ・ ほとんどの土地が水田利用。
- ・ 休耕地が少ない。
- ・ 北側は平地で、南側は棚田の耕作。
- ・ 北側の道路に面した位置に資材置き場・駐車場が見られる。
- ・ 住宅の近くにも資材置き場が見られる。

11. 郡地区

- ・ ほとんどの土地が水田利用。
- ・ 畑はほぼない。
- ・ 幹線道路沿いに休耕地がまとまっている。
- ・ 東側に事業所と大きな資材置き場が存在。

まとめ

1. 都市に近すぎると幹線道路など、開発の影響を受けて荒地が増加する傾向が見られた。
2. 山に近すぎても、整備された農地が少なく、荒地が増えてしまっていることがわかる。
イノシシなどによる獣害の影響もある。
3. 実際に歩いた印象より、休耕地・荒地の割合が多いと思った。
4. 山間地の農村に比べると、まだ荒れている土地は少なく、この状態を向上・維持していくことが望まれる。

10～2月 余暇に関するインタビュー調査

齋藤先生は自主的に10月～2月の3日間に亘り、11名の方たちと個別に1～1.5時間インタビューしました。22年度も引き続き実施し、まとめと報告がされる予定です。

2月 年度末報告会

先生から1年の活動を総括して、お話がありました。

◎まちづくりの事例（7月の見学に関連して）

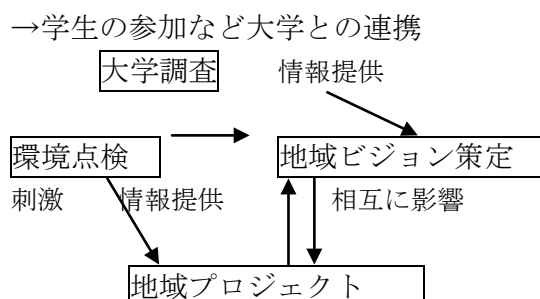
- ・房総一棚田、みんなみの里（かかしコンクール、地元の物のみ販売）、和田町小学校を改築、子どもに地元の寿しづくり。
- ・多古町の里山（手書きの看板、不耕起栽培）道の駅「栗源」・クラインガルテン。
- ・三島市 富士山の湧水を自然再生、都市の中に田舎の風景を行政・企業・住民で取組。
- ・新潟県高柳町 かやぶきの家に宿泊

◎今後の活動に向けて

①自主的な取り組みが出てきた（ミカン狩り、もったいない運動、市民農園等）

→まちづくりの芽が出てきた

→学生の参加など大学との連携



②調査を通じて（中間報告）

- ・全階層で地域の屋外空間利用が減っている。（人に会わない）、非農化も進んでいる。
→屋外空間の見直し
 - ・若年層の居場所（同世代が少ない・機会がない）
 - ・全階層（特に若年層）で個人的余暇活動が増えている。
 - ・まちづくり委員会の活動内容や意義が知られない。
- 例えば、貞元地域まちづくり推進委員会
青年部会・婦人部会（独立した権限・予算）
（何のため？居場所づくりや自身の楽しみのための活動） サイクリング・イベント

・バーベキュー・TV大会???

③地域づくりはなんのため

I. 地域のため（利益）なのか

II. 個人の楽しみ（利益）のためなのか

I だけでは息切れ、II だけでは続かない
農村における先人の暮らし、生き方を学び
（WS、古老の聞き取りなど）

私たちはここでどのように暮らしていけば良いか考えること（地域ビジョンの策定）

◎終わりに

なんとなく見えてきた方向性

- ・農業・農家資源を活かす
- ・新しい助け合いの仕組み（相互扶助）
- ・さらに外の力（都市住民・「学生」）を当てにする。
（付き合い・お金・労働力・エネルギー）
- ・お金が回ればなおよい
（個人の楽しみ+地域のため、新しい助け合い+新しい生業）
- ・あせらず時間をかけて
- ・楽しく
- ・色々な階層の人を巻き込みながらやっていきましょう。

◎来年度予定

- ① 環境点検WS 2回中富+貞元（全集落終了）
- ② WS結果の整理（大学）
- ③ 上記の結果を基に、地域ビジョンの策定WS
（1. ビジョンの頭出し→2. ビジョンを絞る）
- ④余暇生活アンケート調査（貞元編）
余暇生活アンケート調査（市街地編）

地域の動き

1. 農園使用者 募集

当会委員の半澤芳子さん宅で、貞元（通称上の台）に開園しました。問い合わせ

やましよう（屋号） 0439-52-8172

2. 貞元地域土地利用に伴う意見交換会

2月18日、地域特性を活かした有効な土地利用について、君津市総合企画課、貞元地区自治会長、まちづくり役員が出席して開催された。今後は地域住民の出席を含め、継続して開催される予定です。まちづくり推進委員会の活動を可能な範囲で反映したいと考えています。

新たな貞元地区文化の創造

「もったいない」という言葉は、かつて日本人の間でごく自然に使われていました。

しかし、大量生産・消費・廃棄という社会経済システムを生み出した高度成長時代を経て、便利で豊かな生活を手に入れることの代償として、地球の温暖化や資源の枯渇など、地球環境全体に影響を与えるまでになっています。

そこで、貞元地域まちづくり推進委員会では、“ひと・もの・自然を大切にする。その価値を最大限に活用する”ことに寄与することを目的として、「もったいない活かそう地域資源運動」を展開し、できるものをできるところから取り組むこととしました。

今年度は、まちづくり推進委員に「もったいない活かそう地域資源メニュー表」の作成依頼

もったいない活かそう地域資源運動

をしました。回答者71名の集約結果は以下のとおりです。

22年度は、上記報告を基に、問題点を把握し改善したうえで、貞元地域各戸に作成依頼をします。その後、貞元地域内を対象に本運動を展開し、貞元地域の成果を踏まえ、貞元地域外への展開を考えています。

共通事項

インターネットの利用について

- ・見ることができる 53名
- ・教えてほしい6名
- ・必要としない 8名
- 回答なし 4名

教えてほしいを含めると、83%が見ることができるので、インターネットの利用は、本運動に効果的な方法と判断されます。

NO	メニュー	できる	ほしい	NO	メニュー	できる	ほしい	NO	メニュー	できる	ほしい
	生産物の販売等								一般その他		
1	地元米	7	8	26	柿(さかき) 毎月	2	3	1	市民農園の提供	4	
2	キャベツ	2	9	27	ゆず	2	2	2	里山整備の応援	6	3
3	大根	4	6	28	だいだい		2	3	小糸在来オーナー制	2	2
4	にんじん	2	8	29	うらじろ		1	4	古民家の賃貸		2
5	さつま芋	1	7	30	わら	1		5	房総往還の整備	8	1
6	サトイモ	2	7	31	竹の子狩り	1	3	6	道路に花植え	5	2
7	小糸在来	3	6	32	ミカン狩り		2	7	稲作の応援	4	
8	白菜	1	8	33	ごぼう		3	8	畑作の応援	1	1
9	ほうれん草		9	34	ピーマン	1	3	9	休耕地の手入れ	3	2
10	トマト	1	8	35	キュウリ	1	3	10	果樹園の手入れ		
11	いちご	1	7	36	木炭		1	11	発電機貸し(無料)	1	1
12	かぶ	1	7	37	竹炭			12	唐人風の作り方		
13	竹の子	2	9	38	メロン		2	13	竹とんぼの作り方	1	
14	ミカン	1	5	39	スイカ		1	14	上総掘りの研修	1	
15	栗	2	7	40	レタス		3	15	水車の製作	2	2
16	柿	2	7	41	ネギ	1	4	16	地域づくりの事例紹介	1	
17	キウイフルーツ	1	3	42	玉ねぎ		5	17	農林関係研修の紹介	1	
18	椎茸	1	10	43	きんかん	1	2	18	貸耕運機	1	
19	もみがらクン炭	2	1	44	エーシャレット	1	1	19	貸管理機	1	
20	もみがら	3	1	45	おかわかめ	1	1	20	貸もミスリ機(小)	1	
21	もみ殻の木酢液	1		46	夏みかん	1	2	21	設計(建物すべて)	1	
22	竹酢液		1	47	はっさく	1	2	22	名刺	1	
23	梅	2	2	48	ゴーヤ	1		23	ポスター	1	
24	君子欄	1	1	49	じゃがいも	1		24	チラシ	1	
25	カラープリントシャツ	1	1	50	みつば	1		25	危険木伐採、高枝落とし	1	

調査結果(特記事項)

1. 登録するメニューにはなかったが、登録料は支払いする方が3名いた。
2. ボランティア(房総往還の整備、道路に花植え等)や特殊技能者(上総掘りの研修、水車の製作、危険木伐採等)を中心とした新たなグループ活動の糸口が発見された。

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

貞元まちづくり

ワークショップ（地区別環境点検）

5月 中富地区



◎お日待のむら
～300年の伝統・
歴史～
笹舟チーム

まとめ

1. 先人を慕う「お日待を心の拠り所にする「むら」。
2. 川に囲まれて農業を中心として、自然環境が豊かであるが、一部改善する箇所がみられる。
3. 今後の取組みとして、市街地との調和、発展が必要である。

5・6月 貞元地区



◎ 貞元（釜神）（左） 伝説のカップチーム
我ら神の子 ～上総の国の宿場まち屋号で
わかる歴史のにおい～

まとめ

君津駅に一番近い、いなか地区。上総の国の宿場
まちは可能性がいっぱい。未来へ続けよう房総往還。

No 5

発行 平成22年10月21日
編集 貞元地域まちづくり推進委員会
君津市上湯江 1287-3
貞元コミュニティセンター内
TEL 0439-52-8030

◎ 富吉（右） 御開帳チーム
緑と昔を守る人達
まとめ

風土が育む景色が残り、緑と人の距離が近い、活
力がある。ゴミ問題は今後の課題。



◎ 宿（左） 本家本元本流チーム
貞元本流 ～歴史と水の流れ～
まとめ

歴史と自然を生かした地域づくりを目指す!!

- ・ 「これから必要なこと」
- ・ 水辺をきれいにしよう!!
- ・ 歴史資源の情報発信しよう!!
- ・ パンフレットを作ろう!!

◎ 上野台（右） 上野台散策チーム
近代農業の夢
まとめ

- ・ 畑作農業をしっかり守っている上野台
- ・ 豊かな土地、畑、かんがい用水の整備が必要・不法投棄をみんなで考えよう

貞元地域まちづくり推進委員会総会

6月5日18時から、貞元コミュニティセンター
で開催し、本年度は「地域ビジョン策定、提案事
項の実現と自立事業化」を基本方針とした活動計
画が承認されました。

寒玉キャベツの取り放題とおかわかめ

——もったいない活かそう地域資源運動——

7月4日、今年から新規就農者になった宇野真弘君（鎌滝出身）から、貞元（上野台）で契約栽培しているキャベツが余剰になるので、トラクターで耕運してしまうことを聞き、急ぎ「キャベツの取り放題」を計画・実施しました。

キャベツは1個20円とあって、約300名が参加し、広いキャベツ畑からみるみるうちになくなり、遅れてくる人たちが分がなくなる心配が生じ一時中断するほどでした。

キャベツは、2千数百個収穫しました。



「おかわかめ」は、わかめのような味がすることから命名され、マグネシウム、カルシウム亜鉛などのミネラルやビタミンAを多く含む健康野菜で葉が食べられ。夏は緑のカーテンとして活用でき、育て方も容易です。（試食提供 鶴岡園芸）

.....
混住の地「貞元地域」の町おこし村おこし
千葉大学と共働して集落文化を再発掘
.....

8月11日、月刊コロンブス（地域経済をリードする産業栽培メディア 発行5万部）編集長のインタビューがあり、千葉大学齋藤雪彦先生と事務局が応対し、上記の題名で同誌9月号に掲載されました。インタビューの概要は以下のとおり

- ・ 貞元地域の特徴は
- ・ 「もったいない活かそう地域資源運動」とは
- ・ 産学連携して地域に刺激を与えるには
- ・ 齋藤先生との縁は
- ・ 齋藤先生はどのようにまちおこしを
- ・ 都市部・隣接市街地との交流を通じて貞元地域を元気にするには
- ・ 民族的な見地から、何か面白い発見は等です。

（編集長の感想）

都市部に近いと、知らず知らずのうちに地域の歴史や文化の魅力が失われてしまいがちだ。

だが、貞元地域は混住地域という特色のおかげで、地域ならではの魅力を保ちつづけることができています。今後は都市部にその魅力を発信していきたいながら、さらに貞元らしい地域づくりをすすめてほしいと思う。（詳細はコミセンに掲示）

君津市役所表敬訪問

8月11日齋藤先生、まちづくり推進委員会三役が市役所を訪問し、武次副市長、企画政策部長、協働推進課と、「貞元地域まちづくりの進捗について」の報告と今後の展開（ビジョンに基づいたアクションプログラムとその実施）君津市全般についての意見交換等の話し合いをしました。

大学による調査

1. 7月 貞元地区全世帯の勤労者男性を対象に、余暇に関するアンケート調査を実施。
2. 7月15日 比較的若い勤労者を対象に、齋藤先生によるインタビュー調査を実施。

貞元地域まちづくり推進委員会の開催について

1. 日時 平成22年11月7日（土）
13時から17時

2. 場所 貞元コミュニティセンター 大会議室

3. 内容

- ①13:00～13:15 作業内容の説明
- ②13:15～14:15 学生のビジョン発表
- ③14:15～14:30 休憩
- ④14:30～16:10 ワークショップ
(ビジョン策定)
- ④16:10～16:20 休憩
- ⑤16:20～17:00 発表会とまとめ
次回に向けて、意見交換など

* 学生のビジョン発表は、各地区の環境点検等を反映した興味深い内容と思われます。
委員以外の出席も歓迎です。出席される方は、貞元コミュニティセンターにご連絡をお願いします。

「もったいない活かそう地域資源運動」に関する調査結果

貞元地域まちづくり推進委員（２２年３月実施）、貞元地区世帯及び消費者団体の集約結果は以下のとおりです。ご協力ありがとうございました。

NO	メニュー	提供できる			購入を希望			
		まちづくり委	貞元地区	計	まちづくり委	貞元地区	消費者団体	計
	生産物の販売等							
(1)	地元米 * 1	7		7	8		16	24
1	コシヒカリ（玄米）		6	6		23		23
2	コシヒカリ（白米）		2	2		8		8
3	ふさがね（玄米）		1	1		8		8
4	ふさがね（白米）			0		3		3
5	もち（玄米）			0		8		8
6	もち（白米）		1	1		2		2
7	もみがら	3	1	4	1	10		11
8	わら	1	2	3		10		10
9	お飾りわら			0		2		2

1	キャベツ	2	1	3	9	21	21	51
2	大根	4	1	5	6	17	19	42
3	にんじん	2		2	8	19	19	46
4	さつま芋	1	3	4	7	14	12	33
5	サトイモ	2		2	7	15	16	38
6	白菜	1	1	2	8	17	18	43
7	レタス			0	3	15	18	36
8	ほうれん草		2	2	9	16	19	44
9	トマト	1	1	2	8	13	17	38
10	いちご	1		1	7	13	12	32
11	かぶ	1	1	2	7	9	13	29
12	ごぼう			0	3	17	19	39
13	ピーマン	1	3	4	3	10	10	23
14	キュウリ	1	3	4	3	10	14	27
15	ネギ	1	3	4	4	12	15	31
16	玉ねぎ		3	3	5	18	17	40
17	エーシャレット	1		1	1	4	3	8
18	ゴーヤ	1	1	2		2	4	6
19	じゃがいも	1	2	3		15	12	27
20	小糸在来	3		3	6	9	12	27
21	みつば	1		1		6	5	11
22	おかわかめ	1		1	1	2	8	11
23	梅	2	1	3	2	12	9	23
24	栗	2	1	3	7	5	6	18
25	柿	2	1	3	7	6	12	25
26	キウイフルーツ	1		1	3	7	5	15
27	メロン			0	2	8	6	16
28	スイカ			0	1	7	8	16
29	ゆず	2		2	2	2	8	12
30	だいたい		1	1	2	5	1	8
31	うらじろ			0	1	5	1	7
32	竹の子	2	2	4	9	4	11	24
33	竹の子狩り	1	1	2	3	6		9
34	ミカン	1	1	2	5	8	10	23

* 1 地元米、* 2 榊：まちづくり委員、消費者団体は米の銘柄、榊の大きさに関係なく調査

インターネットの利用について

回答者 245 名のうち、①みることができる 179 ②教えてほしい 9 ③必要としない 57 で、①と②を加えると、約 77% が見ることができ、今後、インターネットの活用を検討したいと思います。

NO	メニュー	提供できる			購入を希望			
		まちづくり委	貞元地区	計	まちづくり委	貞元地区	消費者団体	計
35	ミカン狩り			0	2	4		6
36	夏みかん	1	1	2	2	4	5	11
37	はっさく	1		1	2	3	5	10
38	きんかん	1		1	2	2	4	8
39	椎茸	1		1	10	10	22	42
40	もみがらクン炭	2		2	1	2	4	7
41	もみ殻の木酢液	1		1		1	2	3
42	竹炭			0			2	2
43	竹酢液			0	1		5	6
44	木炭			0	1		3	4
45	君子欄	1		1	1		4	5
(46)	榊（さかき毎月）* 2	2		2	3			3
46	榊（大）毎月			0		1		1
47	榊（中）毎月			0		1		1
48	榊（小）毎月			0		2		2
49	落花生狩り		1	1				0
50	黒豆			0		1		1
51	カラープリントシャツ	1		1	1			1
52	なす	未調査		0				0

	一般その他	提供できる			提供を希望			
1	市民農園の提供	4	1	5				
2	里山整備の応援	6	8	14	3			
3	小糸在来オーナー制	2		2	2			
4	古民家の賃貸			0	2			
5	房総往還の整備	8	5	13				
6	道路に花植え	5	6	11				
7	稲作の応援	4	1	5				
8	畑作の応援	1	1	2	1			
9	休耕地の手入れ	3		3	2			
10	果樹園の手入れ		2	2				
11	発電機貸し（無料）	1		1	1			
12	唐人凧の作り方			0				
13	竹とんぼの作り方	1		1				
14	上総掘りの研修	1	2	3				
15	水車の製作	2	3	5				
16	地域づくりの事例紹介	1	1	2				
26	小糸川をきれいに		4	4				

以下は、提供できる「各 1 名」です

17	農林関係研修の紹介	18	貸耕運機
19	貸管理機	20	モミすり機（小）
21	設計（建物すべて）	22	名刺
23	ポスター	24	チラシ
25	危険木伐採、高枝落とし	27	江川をきれいに
28	コンクリートミキサー		

れんげの里のふれあい

貞元地域まちづくり推進委員会 協賛内容

展 示

- ★ ワークショップパネル 9:00から 体育館
- ・ 貞元全地区の環境点検結果 ・ 千葉大学生提案掲示

発 表

- ★ 研究発表 11:20～11:40 体育館
- ・ フィンランドと貞元小の子供の遊びと生活

発表者 千葉大学院 博士課程 近江屋一朗

昨年8月、貞元小学校の子供の遊び、遊び場についてアンケート調査を実施、その結果と、フィンランドに半年間留学しフィンランドの子供の遊び・生活について調査、その結果を比較しながら発表します。

模擬店

- ★ 地元産品販売 9:00から 体育館入り口前
- もったいない活かそう資源運動——

皇室献上米の「ふさこがね」を販売します

販売する米は、名誉ある献上米と同じ水田のもので、貞元の半澤富次氏の生産によるものです。献上米農家は、毎年各県一人で、今年40年ぶりに君津市から選ばれました。

- 玄米・白米（コシヒカリ・ふさこがね・もち）
- サツマイモ ○サトイモ ○ほうれん草 ○カブ
- ピーマン ○ねぎ ○なす ○玉ネギ ○小糸在来
- じゃがいも ○栗 ○柿 ○シイタケ ○モチ
- おかわかめ ○君子欄各種 ほか

* 初めての試みで勝手が分かりませんので、品がない、品切れ等の場合は、ご容赦または注文をお願いします。

- ★ 必見「ラーメン手打ち日本一」実演と限定販売
12:20～12:45 体育館入り口前

「何でも日本一」「世界ビックリショー」等のテレビに出演。
限定販売品は、地元産品購入者による抽選とします。



「新たな貞元地区文化の創造」
ていげん
貞元まちづくり

発行 平成23年3月17日
編集 貞元地域まちづくり推進委員会
君津市上湯江1287-3
貞元コミュニティセンター内
TEL 0439-52-8030

22年度活動を振り返り

—地域ビジョン（案）まとまる—

今年度は・調査資料のまとめ・地域ビジョンの策定・提案事項の実現と自立事業化を進めることをテーマに活動してきました。

○5・23 中富・釜神の点検ワークショップ

○6・05 貞元の点検ワークショップ
地域の宝物、課題を全集落で終了。

○11・07 地域ビジョンワークショップ

1. 地区別点検ワークショップの成果から学生による参考として、地区別ビジョンの提案がされた。（4ページ参照）

2. 地域ビジョンの策定

①自然と緑の中でふれあいができるまちづくり→自然を活かした地域外との交流

②貞元ブランドを創る（貞元米、貞元芋、おかわかめ）→特産品の開発

③貞元コミュニティを育てる
→地域内の交流・たすけあい

○12・11 地域ビジョン具体化ワークショップ

①花の道を創る

（江川沿い、小香から郡ダムまで）

②「貞元こんにやく」の開発、小糸在来の味噌・醤油等のPR

③お年寄り子ども達の交流会開催
昔の話、遊び、技術の伝承）

○12・19 役員会

今後の方向性を協議

①みんなで汗を流せるのが良い

②多くの人が参加できるのが良い

→●「花の道を創る」ことをやってみる

「花の道」について、23年度は、貞元環境保全会と協働して江川沿いを計画、水仙、ヒガン花の寄付を募集中です。

●そのほかは、並行して検討していく
今までの実績の充実

①もったいない活かそう地域資源運動

②ホームページの充実及びPR

アンケート調査結果の報告

貞元地区の子どもの生活と今後の遊び環境のあり方

—都心部の子どもの生活・フィンランドの子どもの生活と比較して—

千葉大学大学院園芸学研究科近江屋一朗君が一昨年調査した貞元小学校と東京都渋谷及びヘルシンキに留学し、調査した比較のまとめと提案の概要が報告されました。

1. まとめ

	君津	渋谷	ヘルシンキ
空間的余裕	◎	×	◎
遊びの施設	△	○	○
遊びの時間	△	×	◎
アクセス	×	◎	○
遊びの仲間	△	◎	△
実際の遊び	△	○／×	△？

2. 提案

拠点・たまり場が必要

（この時間、この場所に行けば誰かがいる）

○校庭開放

- ・学校が終わってもすぐ遊べる。
- ・習い事がある子どもでも遊べる。
- ・家が遠い同士でも遊ぶことができる。

○プレーパーク

- ・プレーリーダーが見守り、子どもが自分の責任で自由に遊ぶ

○学童保育の可能性

- ・地域の空間や施設を利用する
- ・こどもが自分で決めた活動ができる
- ・学童以外の場所に行った後、学童に帰って来ることができる。
- ・学童以外の子どもとも遊ぶことができる

勤労者男性（退職者含む）の余暇に関するアンケート調査結果

昨年6月から7月に、皆様の協力で実施した調査の概要を千葉大学大学院園芸学研究科 齋藤雪彦准教授が報告されました。

アンケートの目的

- 比較的地縁社会、地域社会が残っていて、人と人との絆が強いと言われてきた農村地域においても、生活の個人化が都市と同様に起きていることを明らかにする。
- まちづくり組織により、地域社会の再生を企画していく際、どのような活動であれば、個人化した層を惹きつけられるか知見を得る。

1. 回答者属性の概要

旧住民と新住民の比率は6 : 4

- ・ 農業は、非農家が約5割
通勤時間は、1時間以上が14.2%いたが、通勤時間と余暇に相関はなかった。
- ・ 仕事のやりがいは、「割り切り型」が半分いたが、余暇との相関はなかった

2. 余暇の実態（単純）

個人型+家族型で約7割、その理由分布

- ①個人は気が楽、個人の時間を尊重
- ②家族サービス優先で理由の7割を占める
「組織・仲間の問題ではない」

主につきあう者について

地域組織、地域内仲間で約半分、つまり半分は地域外の組織や仲間

・地域活動参加

あまり参加しない人が3割いる
意識は①義務②多忙、時間が合わないが併せて4割ぐらい

- ③楽しみ④やるべき⑤なくなると寂しいが併せて2割ぐらい

・個人的つきあい

「地域での個人的つきあいがあまりない」人が約3割弱いる

理由として、「多忙、時間が合わない」で約4割

余暇活動傾向度数

余暇活動の傾向と目立つ回答

自然志向

「自然に親しむ」14.2%

個人・家族化と屋内志向

「家で過ごす」15.4%

「個人の時間を作る」11.4%

「家族と過ごす」17.7%

「趣味と言えるものは？」

5件以上カウントされた趣味

活動的・アウトドア系

○ゴルフ ○釣り ○ドライブ ○旅行

○スポーツ・山歩き・バイク・自転車

個人系

○読書 ○庭仕事・農業 ○散歩 ・パソコン
・音楽鑑賞・写真・パチンコ・ゲーム

まちづくり組織の課題

内容知らない、名前知らないで併せて6割弱で衆知が足りない

内容を知っている人の評価は高い

まちづくりへの参加条件は

- ①内容を面白く4割弱
- ②同年代参加2割
- ③内容に必然性2割

3. 余暇実態（クロス）

余暇パターン×地域活動参加×個人的つきあい

個人・家族型で地域活動あまり参加せず、個人的つきあいもありないという。最も、地域から孤立した層は14.2%いた

個人的つきあいと地域活動参加

地域活動にあまり参加せず、個人的つきあいもありない人は16.7%

余暇パターンと個人つきあい

個人・家族型で個人的つきあいのない人は、27.5%

旧住民でも個人化進む

個人+家族型

- ・ 40代、50・60代は全体とほぼ同じ7割
- ・ 70代以上は家族型少なく、全体でも4割弱と少ないが、4割弱もいるとも言える
全体では、個人+家族型で66.6%と全体の70.4%とあまり変わらない

新住民

- ・50・60代は全体と同じ傾向
- ・40代以下は個人型少なく家族型多く、全体では8割超と多い
- ・70代以上は家族型少ないが個人型が多く、全体で8割超と多い
- ・新住民全体では家族型がやや多いが個人＋家族では全体70.4%に対して76.7%それほど変わらない

結論

旧住民の70代以上は地縁型、新住民の40代以下と70代以上が都市型の傾向が強いが、全体としては、新住民、旧住民の違いがなくなりつつある。また旧住民の高齢者でも4割弱は個人化が進んでいる

非高齢夫婦、非高齢夫婦＋子、3世代など若年層がいる家庭では家族型が多く、高齢夫婦＋子夫婦では、家族型やや減り、单身もしくは高齢＋单身では著しく個人型に偏ることが分る。概ね、年齢層による傾向と同じである
高齢＋单身、高齢＋子夫婦、高齢夫婦では、個人化傾向は低いそれでも5割から6割

農家でも個人化進む①

家族型は非農家多く、農家で少ない傾向にあるが個人＋家族型でみると、全体が70.7%に対して自給農家68.1% 販売農家56.9%であってもおよそ6割が個人＋家族型であった。

農家でも個人化進む②

個人＋家族型は、職業を農業と回答した者でも41.9% 農作業が中心と回答した者でも51.5%

余暇パターンと労働時間のクロス表から

労働時間が週40時間超えると、若干家族型が増える傾向にあるが、個人＋家族型の比率などはあまり変わらない。→労働時間はあまり重要な要件ではない

また、地域活動参加や個人的つきあいとは相関がみられなかった

4. 具体的余暇活動

休日は個人・家族だが7割、平日は8割→余暇パターンと同様の傾向

余暇の場所は所有地内か外か

休日の2割、平日の6割は自宅・農地で余暇を過ごす（屋内化、個人空間化）

所有地外における地区内外の比率

地区内余暇、休日ではわずか20%、平日でも61%（地区内に余暇場所が少ない）

地区内余暇

自宅・農地での余暇を除くと、散歩・ジョギング・団体活動ぐらいしかない

地区外余暇

休日の地区外余暇は主に、外出レジャー、ショッピング、スポーツ、施設レジャー

頻度と余暇過ごす相手

頻度の高い月4回超は主に個人、家族である。

余暇行為と余暇パターン

個人・家族型は、自宅内パソコン・テレビ等か地区外の消費型行為が多い→より都市型の余暇

5. 結論

①農村においても地縁社会の衰退

②個人化した人たちにとって、どのような地域活動が求められるか課題→ニーズの把握
年代毎にニーズが異なる、家族参加・子ども参加できるイベントとは

③まちづくり活動のPRの方法を考え直す
（回覧見てない人もいる）

・農村的な余暇「BBQ、農業体験、サイクリング、ハイキング」の見直し

都市的な余暇「パチンコ、カラオケ、ショッピング」が楽→きっかけがないから皆さんやってないのでは

・個人化した人の生活も評価する方法を考える（個人の趣味の展覧会とか、個人生活のまずは評価→社会化してくるのでは）

今後の課題

他地域との比較・検証

- ① 同等地域で精査（周南地区）
- ② 地方都市市街地（中野地区）
- ③ 大都市市街地（松戸、札幌）
- ④ 中山間地域（静岡）を調査（①②は1月から2月実施、集約中）、貞元の地域ビジョンに付加したいと考えています。

お願い!! 家族にも回覧してください

勤労者のアンケートで、当組織の名前及び内容を知らない方が多かったため。

ビジョン策定ワークショップ

2010年11月7日（日）

中富・下湯江地区ビジョン

歴史を活かした散歩道

地域内学習

地域外へ発信

残された空間



歴史的な出来事に興味のある人を惹きつける

活動イメージ

- ・散歩道マップ・サインボードの作成
地域の資源を発掘し、地域外の人に紹介する
- ・地区内勉強会
各地区で地区の歴史に関する勉強会を行う

八幡・杉谷地区ビジョン

自然と共生するエコロジカルなムラ

自然環境の保全

来訪者との交流

環境教育

清水を生かした自然と共生するまちづくり
活動イメージ

- ・エコムラ
杉谷から八幡への清水の流れを生かした、人と自然の調和のとれた生活を体験できるムラ
- ・エコツアー
地域の人が案内人となり、自然と触れ合うさまざまな体験ができるエコロジカルなツアー

上湯江地区ビジョン

小糸在来を通して都市住民と地域住民が交流するまち

地域の人

都市の人

農業体験



地域の人に近い形で活動に参加してもらえる

活動イメージ

- ・環境保全
都市の人に川の清掃活動へ参加してもらい、地域のことを知ってもらう
- ・小糸在来を使った大豆加工体験
- ・ホタル観察会にオーナーさんを招く

郡の杜地区ビジョン

貞元の子供が安心して安全に遊ぶ地域

憩いの場

遊び場

大人にとっての御近所の人たちとの生活や育児についての情報交換の場

子供にとって安全に外で遊べる場所

活動イメージ

- ・空き地の活用
- ・道路わきの美化
- ・江川を自然観察の場へ

新御堂地区ビジョン

遊びと健康の里

自然体験

健康づくり

来訪者との交流

豊富な林空間を生かした
子供がのびのびできるまちづくり

活動イメージ

- ・新御堂林間学校
子供を対象とした自然の中の遊べる学校。林を生かした遊び場を作ること、普段体験できない遊びができ、健康にもつながる。

貞元地区ビジョン

まちづくりの拠点となるまち

情報発信

来訪者との交流

農作物・加工品

活動の活性化

情報発信、交流の中心となるまちづくり

活動イメージ

- ・貞元直売所
JA 君津の直売所をまちづくりの拠点とすることで、情報発信、交流の中心の場となる。また、それによりまちづくり活動の活性化にもつながる。

郡・小香地区ビジョン

住民と来訪者をダムと里山で結び四季を共感できる地域

交流

余暇

経済性

観光

活動イメージ

- ・里山・谷津田ツアー
地域の人「里山案内人」になって、谷津田や里山を訪問者に紹介
- ・喫茶小屋（ギャラリーカフェ）
郡の自然や農作物についての展示スペースもあるカフェ

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

貞元まちづくり

No 7

発行 平成23年12月1日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

地域ビジョンの実現に向けて

今年度は、いままでの実績に加え「自然と緑の中でふれあいができるまちづくり」をメインテーマに「江川を中心とした散策路の整備」、ワークショップのまとめ（平成22年11月7日）の中から優先度の高い事業を展開します。

江川花の道 ー観光・交流部会ー

江川を中心とした散策路の整備は、「江川花の道」とし、はじめに比較的管理のしやすい「水仙」「ヒガン花」の球根を植えることにしました。

●ヒガン花が咲くまでの経過

- 3.3～3.31 水仙、ヒガン花球根寄付者募集
- 5.15 ワークショップ
- 6.9 球根堀り（釜神、小香）江川草刈り
- 6.12 ヒガン花、水仙球根植え
- 7.30 小香から郡ダムの上に水仙の球根植え
- 9.03 ヒガン花、水仙球根植え個所の草刈り
- 9.23 ヒガン花移植
- 9.24 ヒガン花観賞会及び反省会



江川左岸で観賞会（本道橋と貞元橋の間）



右岸に咲く白いヒガン花（本道橋のそば）

ヒガン花・水仙の球根の寄付者

多くの方からご提供があり、お陰で購入する球根も少なくて済みました。ここに、寄付者の掲載をもって御礼に代えさせていただきます。

◇坂田：牧野 正 ◇：中富飛地 甲斐 勲

◇貞元：三澤武夫 住吉操子 平野清一

宮寄行男 渡邊 廣 宮寄博之 半澤芳子

◇上湯江：平野源治 永嶋 昇 矢治博美

◇小香：川名敏勝 玉川信也

◇下湯江：篠田文雄 古原すみえ 栗田留吉

◇中富：齊藤 充 齊藤スミ江 榎本治子

* 記載漏れがありましたら、お詫びとともに、以後の会報で紹介します。（敬称略 順不同）

貞元ブランドを創る ー産業部会ー

産業部会では、君津市消費者の会、三舟の里案内所、ふるさと往来倶楽部等と連携し「もったいない活かそう地域資源運動」の充実を図り、地元の農産物の活用とともに、農業以外の産業も含め、貞元ブランドの創出を目指して活動を進めています。

はじめは、大きな投資が出来ないので、現在地域にある農産物、産業製品の販路拡大を図りながら、小糸在来、さつまいも、米、貞元芋、おかわかめの活用策、味噌、キャベツを利用したキムチ等が考えられています。

地元産品と福島産品の販売

10月29日(土) 地元産品の販売にあわせて、東日本大震災、福島原子力被災地の福島を応援しようと「がんばろう福島応援隊ーふるさと往來くらぶー」と連携し、「れんげの里のふれあい」と中央公民館文化祭で販売を実施しました。

福島産品は、2個所で販売したことで予想以上の売上ができたと喜ばれました。



地元産品、テントの中では福島産品を販売

貞元地域のコミュニティを育てる ー生活・環境部会ー

東日本大震災を機会に共助の体制づくりの重要性が一段と高まっています。

生活・環境部会では、高齢者と子どもの交流を通して伝統文化の伝承、高齢者の生きがい、子供の敬老精神を育てる等の活動を進めます。

ポケットパークデザイン

ー市道六手・貞元線延伸地区ー

長年の懸案だった市道六手・貞元線は、12月22日に開通する運びになりました。

特徴のひとつに、道路用地の一部に「ポケットパーク」が12個所できることです。

同パークには、グランドツリーに20種類近くの桜、JAきみつ直売所につながる道路として野菜・果物をイメージしたベンチ、「江川花の道」から郡ダム、三舟山への導線を考え「ヒガン花、水仙の植栽コーナー」が設置されます。

デザインに当たっては、当まちづくり推進委員会と千葉大学園芸学部も一番大きいポケットパーク(日鐵運輸・共同火力社宅付近)に参画することができ、大学院生8名がデザインを提案しました。

どの程度採用されるかは未定ですが、完成が楽しみです。

事業運営の見直し

当委員会は、文化のまちづくり市税1%支援補助事業により設立され、皆様のご協力で3年が経過、より具体的、実践的な活動へと移行していくために、つぎの趣旨で調査を実施。

1. 地域の発展に即応した委員会にする。
2. 理論の学習から具体的活動に移行する。
3. 推進委員の再検討をする。
4. まちづくりの参加層のひろがりを図る。
5. 活動費の基盤を強化する。

その結果、参加状況は

1. 自然と緑の中でふれあいができる
まちづくり・・・・・・・・・・28名
2. 貞元ブランドを創る・・・・・・・・14名
3. 貞元地域のコミュニティを育てる・・13名
4. 事業内容によっては参加したいので、

情報提供を希望する・・・・・・・・19名

今後は、これらの人達が中心に活動していくなかで新しい仲間づくりを図り、無理のない形で継続できるまちづくりの推進をします。

運営資金について

事業展開を積極的に進め収入増と資金節減を図りますが、ボランティア活動を進めるには資金不足が想定されるので、上記調査にあわせて、協賛金によるご支援をお願いしたところ

48名の方から、129,000円の協賛金をいただきました。

ここに、協賛者の掲載をもって御礼に代えさせていただきます。(敬称略 順不同)

- ◇久保：刈込詔司 ◇人見：元岡陸視
◇西坂田：宮崎 功 ◇郡：三幣保夫
中山和夫 中山 誠 三幣重行 前田満穂
◇杉谷：鈴木文男 ◇新御堂：笹原秋雄
山田房雄 ◇八幡：鶴岡大樹 鮎川勝司
田村栄治 ◇貞元：宮寄博之 山中政人
宮寄行男 南 秀明 渡邊利光 渡邊勝美
半澤芳子 山田久美子 ◇小香：玉川信也
川名史夫 ◇上湯江：永塚和男 小林一臣
永島陽子 ◇下湯江：平野幸代 山田淳子
吉田 勝 原 実義 三幣薫久 島野修次
◇中富：齊藤誠一郎 齊藤貞夫 榎本治子
齊藤洋子 齊藤寅雄 小西正己 齊藤利夫
◇日鐵運輸：樋渡康隆 ◇郡の杜：光野幸弘
熊谷義輝 ◇市場：栗山富士男 岩本真左子
小池公子 中路敏則 宗廣要吉

お願い!! 家族にも回覧してください

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

ていげん
貞元まちづくり

No. 8

発行 平成24年 3月31日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-1

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

23年度の活動報告

今年度は、いままでの実績に加え「自然と緑の中でふれあいができるまちづくり」をメインテーマに「江川を中心とした散策路の整備」、ワークショップのまとめ（平成22年11月7日）の中から優先度の高いものから事業を展開してきました。＊年度前半は、会報No.7参照

貞元ブランドを創る ー産業部会ー

貞元ブランドを創る活動委員14名は、貞元まちづくり推進委員会の産業部会から自立し、「仮称貞元ふるさと産品育成協議会」を結成、当面「栄養価のあるモチ」の製品化して、「君津市ふるさと産品育成会奨励品の認証マーク」をいただくことを目標に活動を展開しています。

なお、もったいない活かそう地域資源運動は継続して実施します。また、新たに「緑のカーテンづくり」を実施する計画です。

江川花の道 ー観光・交流部会ー

ヒガン花は、9月初旬に最終的な草刈りをして彼岸には花が咲き、比較的管理しやすいことが実証されたので、植栽場所について地元と協議しながら拡大することとしました。

小香から郡ダム間は、水仙の拡大とともに、ヒガン花も植えたいと考えています。

市民農園

平成21、22年に、半澤忠夫（やましょう）鈴木文男（文やっこ農園）さんの市民農園開設をPRしました。現在、拡張（半澤）を含め全数契約、鈴木さんも拡張を計画中です。

市民農園は需要があることと、先駆けて開園したお二人のご労苦へのねぎらいと、今後、開設する人へのご支援をお願いしたいと思います。

＊年度報告の詳細は、4頁活動概要版 参照

講演 広島県安芸高田市における旧村単位の取組み外 ー地域づくりー

アドバイザー 齋藤雪彦先生

安芸高田市旧川根村の主な産業は、農業と林業で19集落、1945年頃2000人が現在は549人（238世帯）に減少、高齢化率46%になっている。1972年に活性化、「農村での生き方を考えること」を目的に川根振興協議会が設立された。

○主な活動

- ① 廃校中学校⇒宿泊施設
- ② J Aガソリンスタンド撤退⇒住民が出資・経営（高齢者への宅配サービス）
- ③ 公共バス撤退⇒住民が運営（もやい便）
- ④ お好み住宅⇒村外転入者向け住宅の建設
18世帯76人入居、U、Iターンが各半分
- ⑤ 高齢者のための食事会、訪問活動の開催、給食サービス、風呂無料開放

＊お互いさま隊⇒民生委員をサポートする人材を「お互いさま隊」として組織、高齢者に対するよりきめ細かいサポート

＊一人一日一円貯金

各家庭・事業所に募金を入れる竹筒が置かれ、お金は、高齢者への配食サービス、単身世帯の高齢者への声かけに利用

＊まごころメール

地元の小学生から、地元の高齢者に向けて、月1回手紙を出している。高齢者は「自分は一人でない、地域で生きていることの実感。小学生は文章能力を高める効果がある。また、年1回高齢者と小学生が対面する場があり、感動、涙を流すことも多いという。

- ⑥ 「農事法人かわね」の設立（約60ha／80ha）

- ⑦ ほたる in 川根」「農家庭先味めぐり」

4～5000人訪れる、地域の人も来店

- ⑧ 川根もやい塾

都市の子どもと地域の人が自然や昔ながら

(2)

の知恵を学ぶ。

- ⑨ ラベンダーの川土手の植え付け（フラワーロード）、ラベンダーグッズの販売

○活動の特徴

地域で「自分たちがどう生きるか、それがな
いと子どもは帰ってこない」を追求

- ① 新しい制度（住民から提案）、事業の協働（自治体も住民も出資）、市から振興協議会へは数十万円の使い道自由な交付金
- ・住民と行政の対話の場を設けた。
 - ・市職員が住民として地域に関わる。
- ②地域経済より住民サービス・福祉、都市民のため、それ以上に住民が楽しむための交流
- ③旧村単位で動く、会長は村長？、旧村でまとめ、旧村で動く。
- ④自治体にとっても、広域自治困難化、地域自立の契機、振興協議会制⇒安芸高田市全域に、東広島市、三次市等へ波及

●東広島市小田地域

13 集落、236 戸「うち農家 167 戸」681 人

平成 15 年自治組織「共和の郷・おだ」（小さな役場）設立（1 戸当たり 2500 円＋市の補助金 50 万円）、平成 18 年農事組合法人「ふあーむ・おだ」設立（JA の空き事務所利用）

128 戸、82ha／127ha、6 人雇用、「集落営農」畜産農家と連携した有機肥料、売上約 7000 万円（借地料：年 2.2 万円／反＋水管理費年 2000 円）米、大豆、そば、とうがらし、南瓜生産

「苦農を残すか、楽農を残すか」

●北海道新得町ファームイン（農家民宿）

リフォーム代 500 万円、年 200～500 人（単価 7500 円） 7 割リピーター 純益年 200 万円 小投資、小リターン

川根の農事法人 年金＋30 万円 ある物を活用、数百万円でいろいろなことができる。

事業運営の見直しについて

まちづくり会報 7 号（23.12.1）で、見直し概要を報告しましたが、補足する形で先月アンケートを実施しましたので、その結果と 24 年度の活動内容を踏まえ、また、関係団体（市役所、自治会連協、貞元地域コミュニティ活動推進委員会、貞元小学校等）のご支援を含めた事業運営の見直しを図りたいと思います。

余暇の実態と地域コミュニティの再生に関する報告書

—有縁社会の再構築に向けて—

アドバイザーの齊藤雪彦先生が、平成 22 年度「勤労者男性（退職者含む）の余暇に関するアンケート調査」を実施、その結果は会報 6 号（23.3.17）で報告しましたが、その後、君津市周南・中野地域、松戸市、静岡市で同様の調査をされました。

この種の調査で全国にまたがり比較調査した例はないようで、貴重な報告書をご寄贈いただきました。報告書は

序論：問題意識と研究の背景

I 部：都市近郊農村地域における余暇の個人化・孤立

—君津市貞元地域を事例として

II 部：地域間の比較研究

—都市近郊農村地域「君津市周南地域」—

—地方都市中心市街地「君津市中野地域」—

—大都市市街地「松戸市三矢小台地域」—

—中山間区域「静岡市梅ヶ島地域」—

で構成されています。

今後、事業化される「地域コミュニティづくり」「地域防災の行動指針の作成」等に活用が期待されます。

報告書は、貞元コミセンで保管していますのでご覧ください。

地域計画

●六手・貞元線全線開通

小糸地区の泉を起点とし、全長 6,100m の内、残り 1.6km が平成 23 年 12 月 22 日開通しました。ウォーキングしたくなるようなポケットパークも 12 箇所設置され、季節の花が皆様をお迎えしています。

ポケットパーク、味楽園さだもと店、「江川花の道」周辺の農道、遠くは郡ダム、三舟山が形成する回遊導線をお楽しみください。

●JA きみつ味楽園さだもと店

給油所「ジャスポート貞元」を併設した同店は、3 月 8 日開店しました。

また、JA 婦人部（農事組合法人「味彩だより」）が軽食コーナーを開店しました。

地域の活性化、雇用拡大がなされ繁栄することを願い、支援していききたいと思います。

●本郷バイパス

市道君津駅前線終点の下湯江から本郷に至る県道のバイパス工事は、用地測量が完了し予算次第ですが、24 年度から用地買収、工事着手が計画されています。

下湯江地区内の交通事情が悪くなっていることから早期完成が望まれます。

24年度活動状況の中間報告

貞元地域は、市道駅前線、六手・貞元線の幹線道路、「三舟山・郡ダムを中心とした観光振興計画」、「J Aきみつ直売所の開店」等の環境変化に対応するため、過去4年間広く行政や大学、専門家と協働して、具体的な方策を立案「もったいない活かそう地域資源運動」「江川を中心とした散策路の整備」等を展開してきました。

今年度は、今までの実績の拡充に加え「地域コミュニティづくり」「緑のカーテンづくりによる地元産品の創出」等の事業展開を図ります。

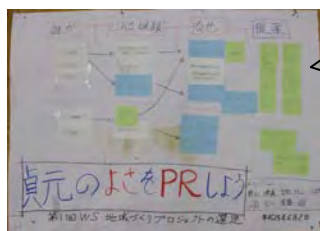
地域コミュニティづくりー生活環境部会ー

◎地域づくりに関するワークショップ

地域コミュニティづくりに、どのようなことが考えられか、6月2日、7月16日にワークショップを実施しました。

1回目は、プロジェクトの選定です。

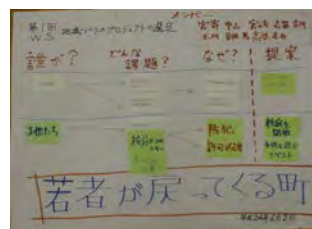
- 若年層・女性・男性 課題⇔なぜ
 - ・貞元から出ていき、戻らない⇔魅力的な職場がありません、都会に就職。
 - ・地域に居場所「交流し、くつろぐ場所」がありません。⇔会食など交流の機会がありません。
 - ・結婚しない⇔経済的不安、女性の経済力向上
- 高齢層・農家 課題⇔なぜ
 - ・後継者不安⇔ 都会に就職して戻らない。
 - ・災害時不安⇔元気がない。一人住まいが多い。



提案1 (まとめ)
貞元のよさを
PRしよう

- 若年層 課題⇔なぜ
 - ・貞元から出ていき、戻らない(就職進学等)⇔魅力的な職場がありません。
 - 都会的な施設が少ない。
- 子どもたち 課題⇔なぜ

- ・遊ぶ場所がない、校庭が使えない? 思い出が必要⇔防犯上許可が必要。



提案2 (まとめ)
若者が戻って
くる町

- 農家 課題⇔なぜ
 - ・後継者がいない。面積が少ない。嫁不足⇔収益が少ない。
- 勤労者 貞元から出ていく
- 高齢者層 課題⇔なぜ
 - ・災害の時に不安⇔災害に対するコミュニティがない(リーダーがいない)
 - ・組織がない、災害に対する意識が低い。



提案3 (まとめ)
貞元防災祭

2回目は、1回目に選定された3点を総合して「子どもに貞元の良さを伝えたい」をテーマに、1. 地域の良さとは何か、何を子どもに伝えるか、2. 子どもにどう伝えたら心に残る、自発的に関わるか、3. 具体的にどのようなイベントをするのか、ワークショップで検討しました。



体験

自然⇔おやこハイキング、ホテル見学、農業体験及び見学

歴史⇔歴史再現(甲冑づくり、スタンプラリー) 子どもまちづくり会議

地域資源の活用(農作物、人材、お祭り等)

(2)

地域づくりのイベント

10月20日「貞元の自然に気づく探検」



スペシャリストのお話



子どもたちのワークショップ

10月27日「れんげの里のふれあい」で
「仮家族対抗防災クイズ大会」



「防災講話」を実施しました。



講師
千葉県防犯士会
浅野幸輝氏
東日本大震災に学ぶ
(自助・共助・公助)

緑のカーテンづくり —産業部会—

貞元地域で栄養価の高い、食べられる緑のカーテン「おかわかめ」「貞元芋（宇宙芋）」を栽培する農家があることから、「もったいない活かそう地域資源運動」の一環として、公共施設（中央図書館、貞元小学校、上湯江保育園、三舟の里の案内所）をPR拠点として、また、チラシを作成、植栽希望者を募集しました。

中央図書館では、関心が高い人が多く市民活動支援センターに置いたチラシは、延べ約500名の方が持っていられました。



中央図書館



貞元小学校



三舟の里の案内所



上湯江保育園

貞元ブランドの創出—産業部会—

◎長命草モチの試食販売

5月 産業部会から自立し、「貞元ふるさと産品育成協議会」を正式に発足しました。

小糸川さくら祭り あじさい祭り、花火大会、10月27日れんげの里のふれあい、中央公民館文化祭で試食販売を実施しました。

現在、千葉県の補助金（6次産業化）を申請協議中です。許可されたあかつきには、本格的に事業を展開する計画ですので、販売にご支援をよろしくお願いいたします。

江川花の道 —観光・交流部会—

ヒガン花は、9月初旬に最終的な草刈りをして彼岸には花が咲き、比較的管理しやすいことが実証されたので、植栽場所について地元と協議しながら拡大することとしました。

小香から郡ダム間は、水仙の拡大とともに、ヒガン花も植えたいと考えています。



8・19 郡ダム



水仙植え



10・19 江川のヒガン花の手入れと懇親会



君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

ていげん
貞元まちづくり

No 10

発行 平成 25 年 3 月 31 日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-1

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

貞元の自然に気づく探検・貞元各地区点検
パネル展示とアンケートの集約結果

昨年、10月20日に、千葉大学院近江屋一朗研究員の指導のもと、貞元小学校3～6年生、保護者、当委員会を対象に実施した「貞元の自然に気づく探検に」についてのパネル「貞元コレクション」を研究員が作成してくれました。

このパネルを、いままでに貞元各地区を点検したパネルとあわせて、昨年12月1日～12月20日の期間、貞元小学校校舎間の連絡通路に展示し、児童からこれらのパネルを見て、感じ(思った)ことへのアンケート調査を実施しました。

その結果について、今後のまちづくりに活用していきたいと考えています。

アンケートのまとめ

- 貞元地域全体について、どんなことを感じましたか(思いましたか)
 - 自然(緑、田んぼ、畑等)がきれいですばらしいこと。自分たちの知らない場所が多くあった。
- 自分の住んでいる地域について、どんなことを感じましたか(思いましたか)
 - やはり自然について、多くの児童が感じているように、田舎の特長にもふれられています。
- 貞元コレクションについて
 - 参加した人
 - ただ、見るだけでなく、におい、味、音など、いろいろな点から地域を見たことで、多くの発見、体験ができたようです。
 - 参加できなかった人
 - 参加してみたかった人が多いことは、このような体験は必要なことと考えました。
- 学んだこと(歴史、社会、地理等など)と貞元地域について
 - 貞元コレクションの体験、パネルを見て、いろいろなことを知り、自然を守る大切さ、歴史を学びたいなど新しい発見ができたようです。
- これからどんな貞元地域にしたいと思いますか
 - 自然を大事にすることとともに、ゴミ問題に関心が高いのは、やはり地域を大切にしたい気持ちのあらわれと思います。

ご指導いただいた方からコメントをいただきましたのでご紹介します。

○齋藤雪彦先生(貞元地域まちづくりアドバイザー)

- 貞元の子ども達は、自然に囲まれながら生活しているように思うのですが、具体的な自然となると、都会の子どもと同じように普段あまり接触していないことが改めて分かりました。そこで、ワークショップをやった良かったと感じました。
- 自然と接した驚きや喜びが素直に表現されていて主催者側としてうれしく思いました。
- 「また参加したい」、「参加しなかったが、今度は参加したい」など、ワークショップが楽しかったことが感じ取れ、やっていた良かったと思いました。
- 貞元コレクションを見ての感想ですが、大人とはまた違う、物事(自然や歴史やいろいろ)を豊かに感じる心が分かり、これからのまちづくりにも参考になると感じました。



○近江屋一朗研究員(貞元コレクション指導)

- 思っていた以上に、子どもたちが貞元の自然や歴史に興味を持ってくれたことが分かり、うれしく思いました。
特に、歴史的なことにに関して、貞元地区が子どもたちの生まれるずっと前から続いている場所だということを認識できたことは、地域への愛着をはぐくむ上でも、大切なことなのではないかと思いました。
- 「店が少ない」「イベントが少ない」「田舎だ」という意見があったことにも気を配るべきか、と思いました。
- これらの意見はすなわち、「レクリエーション・楽しみ」への要望だと思いました。
それは、都市のように店、カラオケ、ゲームセンターなどを作ったりしなくても、農村地域である、貞元らしい別の方法で達成できるのではないかと考えました。
子どもたちの主要な意見である、「自然を守りたい」「歴史を大切にしたい」ということを主軸にしながら、「楽しい・遊びがある」地域作りをしていくことが、子どもたちのためになるのではないかと思いました。

これまでの経緯と今後の課題

1. これまでの経緯

- ①むらあるきワークショップ（約3年間）
地域づくりのやる気力アップと地域資源の発掘
 - ②地域ビジョンワークショップー地域のビジョン策定
 - ・貞元ブランドをつくる
 - ・地域コミュニティを育む
 - ・自然・緑を活かし、都市との交流を進める
 - ③地域プロジェクト策定ワークショップと実施
 - ・貞元ブランドに向けた勉強会（のし餅、キャベツキムチなど）
 - ・子どもの地域探検（2012年10/20実施）
 - ・花の道を造る（江川花の道2011年9月にお披露目）
- その他各部会・組織による活動（もったいない活かそう地域資源、文やっこ農園など）
→活動の立ち上げ期から展開期へと進化。

2. 今後の課題

課題A：点から線・面へ

（まちづくり推進委員会と千葉大との協働）

当委員会は現在、「江川花の道」と「小香花の道」の美化を推進しています。ほかにも各団体がそれぞれに貞元地域で環境美化やイベントを開催して活動しています。

例えば、郡ダム周辺整備と江川上流の美化は、「江川四季の会」が、江川下流の美化では「江川清流会」が行なっています。また、三舟の里案内所の整備は、「三舟の里コミュニティ推進委員会」が、お花見ウォークは「実行委員会」が行なっている、という状態です。

これらの取組みは、JA きみつ直売所を含めて個々には進んではきましたが、それらには相互に関連性がなく、定常的に来訪者が利用するような取り組みには至っていない。点をつなげて線・面として、実体化する必要がある

⇒提案

- ①地域で歩いてもらいたい道を検討する
- ②地域の取り組み、歩いてもらいたい道を示した分かりやすい「貞元マップ」をつくり、印刷し、君津駅や直売所に置いてもらう。
千葉大でこれまでのまちあるきワークショップの成果を取りまとめ、貞元マップに活かすことも考える。
- ③江川花の道、直売所、郡ダム周辺、里の案内所などに、手づくり（竹や間伐材にて作成）のサ

インボード・案内板を設置し、道しるべとする。

- ④学生、都市住民に実際あるいてもらうモニターツアーを実施、感想や改善点を出してもらう。

（交流イベントの実施）。

- ⑤上記を含めた観光振興計画の作成

提案の実作業

- ① ②③の検討ワークショップ（実際歩いてコースタイムを測り、看板の場所を検討する）や③の看板づくり作業をみんなでやるなどが考えられる。②の貞元マップはみなさんの提案を受け、千葉大で原稿を作成、印刷はまちづくりがする。
- ④は千葉大が実務作業

課題B：これまでのむらあるきワークショップのまとめ（千葉大学で担当）

各地区・各班でバラバラである「むらあるきワークショップ」の成果を、まず地区ごとにまとめ、次に全地区のまとめを行う。これに加え貞元のこれからの方向性について、これまでの5年間の成果を報告書などにまとめる、貞元憲章を作る。⇒要は大きな方向性を確認・共有するモノが必要

課題C：引き続き地域コミュニティを育む

（まちづくり推進委員会と千葉大で協働）

「貞元ブランドを創る」、「花の道を整備する」等は、各部会で自立的に行える目途が立ちつつあるが、「地域コミュニティを育む」は一過性のモノに終わりがちであり、成果が目に見えにくいこともあり難しい課題である。

従って、引き続き、大学生などの参加も促しながら、高齢者の生きがいづくり、地域での居場所づくり、子ども達の遊び場づくりなど、課題を考えるワークショップと、実際の交流を促進するイベントを実施したり、あるいは居場所となる「お茶飲みスペース・小公園」を自分達の手で造ってみる。

おわりに

これまでの取り組みを目に見える形でまとめていく段階

①課題Aなど、これまでの取り組みを活かすための＋αの作業

②むらあるきワークショップや地域ビジョン、大学のアンケート調査など

これまでにやってきたことを再度、形にしてまとめる⇒貞元憲章、パンフレット作成

（アドバイザーの齋藤先生がまとめた一部を変更させていただきました）

貞元地域まちづくり推進委員会から はじめて自立事業化



貞元ふるさと産品育成協議会 会長／三幣保夫
(旧貞元地域まちづくり推進委員会産業部会) 後援：貞元地域まちづくり推進委員会

千葉県6次化チャレンジ支援事業 地元産品で年中ご賞味いただける創作餅を

協議会は13名で構成、君津市地場産品育成事業及び千葉県6次化産業チャレンジ事業の補助金をいただき貞元地区で生産しているもち米や、貴重な地域資源である栄養価の高い緑葉野菜(長命草、おかわかめ、ツルムラサキ等)を使用して付加価値を高めた餅を製品化、君津市ふるさと産品育成会奨励品の認証マークをいただくことを目標に、JAきみつ味楽園やイベント、人と人とのつながり等を通じてPR販売、高齢者の生きがい、地域の活性化と農商工振興の一助となれるようスタートしました。

自動杵つき機は、最新型の特許製品で、その餅を食べた人からは臼でついた餅を思い出すとともに、それ以上に美味しいと評価を得ています。創作もちは若い世代に受け入れられるスイーツとして、又保存できる餅、梅や小糸在来を用いた季節限定の餅、夏に冷やした餅、きみびよんを表示した土産等を商品開発する計画です。



杵つき餅のように、事業がしっかりと、ながーく伸びるよう会員相互の連帯とお客様を大事にしながら進めていく所存です。応援よろしくお願いします。

商品
一例



※写真と実際が
異なる場合があります



ご注文は作業場・FAXで承ります

※漏れ防止のため原則FAXとします。

- 創作餅(長命草・小糸在来・梅・みかん・生姜入り等)
- 祝い餅 ○よもぎ餅 ○赤飯等おこわ類
- 新粉餅 ○賃餅

お問合せ TEL 080-5525-3381
FAX 0439-52-3379 担当／三幣



商品開発の目玉

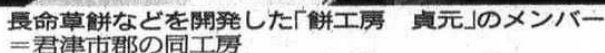


長命草餅

長命草は、おもに沖縄県八重山諸島に自生するセリ科の植物。

海岸の岩場など、厳しい自然条件の中で自生する常緑多年草。葉がボタンに似ていることから、和名をボタンボウフウという。沖縄では「1株食べると1日長生きする」として別名「チョーミグサ」とも呼ばれている。近年、健康食品として人気のある植物で房総半島にも生息している。貞元で長命草を栽培している農家があることから、地元産品に育成しようと商品開発するものです。



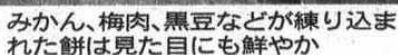


君津市貞元地区の有志 直売所・味楽園(みらい)でつくる「餅工房 貞元(ていげん)」が、第1弾として琉球野菜の長命草を練り込んだ餅など3つつある大豆「小糸在来商品を開発し、同地区の

と3商品開発

地元直売所で販売開始

「6次産業」化実現へ



料生産から餅への加工 会は昨年5月に発足し、商品流通まですべてに携わる「6次産業」化の実現を目指す。現在13人が所属。新たな製品として地元産餅米を使った創作餅を作ろうと、発足前の2011年夏ごろから試作を繰り返す。工房を運営する「貞元ふるさと産品育成協議

してきた。作業場は同協会の三幣保夫会長(63)の一角に構え、餅つき機など製造機械は県の補助金を一部活用して購入した。

会員が目を付けたのは、や、せんべいなどにも挑健康食品として近年人気戦する。

の長命草(和名・ボタンボウフウ)。セリ科の植で行うため、長命草の下処理や配合を一から試し

たり、保存が利き、販売しやすいパッケージを考えたりと発売にこぎ着けるには苦勞が絶えなかつた。

今後の課題は販路拡大。さだもと店以外の直売所や市内の小売店など流通に力を入れることが可能なため、第1弾で、6次産業として軌道の目玉商品とした。三幣に乘せたい考えだ。

会長は「栄養価の高いものを自信を持って生産していきたい」と語る。

長命草餅とともに販売されたのは、みかんと梅肉でそれぞれ色付けした餅と長命草餅を黄・ピンクと意気込む。

25年度活動状況の中間報告

今年度は、これまでの取組みをまとめあげる、目に見える形にしていく段階になりましたので、「江川花の道」「緑のカーテンづくり」「貞元ふろさと産品育成協議会（餅工房貞元）」等、今までの実績の拡充に加え、「貞元花の道お散歩マップ」を重点に事業展開を図っています。

江川花の道－観光・交流部会－

昨年、郡ダム駐車場の山側に水仙の球根を植えました。空き地がありもう少し植えたほうが良いとのことで植栽範囲を広げました。

作業は、6月6日郡ダム周辺振興会議のメンバーと合同で実施（写真左下）しました。



「江川花の道」のヒガン花は、9月7日に最終の草刈り（写真右上）をして開花を待ちました。

9月25日、3年目とはとても思えないほど予想以上に咲いた、満開に近いヒガン花を見ることができました。



貞元橋から上流本道橋に向って右側



下流に向って右側（中道橋そば）

右側にさらに植えることができれば、一段と見事なスポットになるので地元と協議をしながら拡充したいと考えています。

緑のカーテンづくり

今年も君津市協働推進課から図書館のそばに「緑のカーテン」設置の要望があり「おかわかめ」「貞元芋（宇宙芋）」を植栽した。また、貞元小学校は校長先生のいる場所を増設しました。

残念だったのは、宇宙イモは風に弱そうで台風の影響を受けいずれの場所もあまり育つことができず、イモもならなかった。

カーテンとして利用する場合は、成育した苗で風があまりあたらない場所で栽培する必要があるようです。



貞元小学校のおかわかめ

地域防災の行動指針の作成

昨年から、自治会に働きかけ進めてきたが、関心度合いに差が大きく地域防災組織づくりをするには、さらに時間を要することから、今年度は、個人の災害予防、災害対応に役立つ常時携行できるミニハンドブックを作成することとしました。

ガイドブックの概要

1. 準備編

- 1) いざという時の対応を決めておこう
- 2) 防災チェックリスト
- 3) 地震に備えての日常の配慮
- 4) 水害に備えての日常の配慮
- 5) 安否確認方法
- 6) 避難場所・緊急連絡先

2. 災害対応編

- 1) 災害発生時の初期対応
- 2) 地震が起きた時の基本行動
- 3) 地震発生！外出先では
- 4) 水害が起きた時の基本行動
- 5) 火災発生！こんな時どうする？
- 6) 帰宅困難な状況になったとき

君津市に限らず常時携行できるガイドブックはないようですので、君津市危機管理課と協議をして、できれば全市民に配布できるガイドブックを目標に作成したいと考えています。

なお、「れんげの里のふれあい」が台風で中止になったため、防災講話を実施することができませんでした。

千葉県 コラボ大賞

千葉県では、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等とNPO（市民活動団体）とが連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組むことで、福祉や環境、子育て、まちづくり等さまざまな分野で連携して成果をあげている団体を表彰し、連携の重要性や効果を広く県民に周知、促進することを目的としています。

君津市では、貞元まちづくり推進委員会1件を推薦しました。

応募件数は、県全体16件で残念ながら表彰事例（3件以内）には選ばれませんでした。

表彰事例は、①富津市志駒・山中地区「廃校を活用した教育ファームづくり」 ②関わる全ての人が笑顔になる仕組み ③発酵をテーマとした“小さな公”をつなぐまちづくりでした。

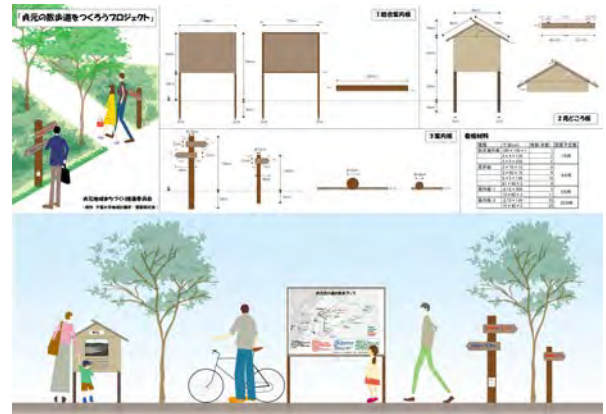
いずれもNPO法人が中心となって活動されています。

貞元花の道お散歩マップ

今年度のメインテーマで、ワークショップ2回千葉大学による独自調査、役員による調査、そして大学と役員による合同調査等実施しました。



学生と現地調査 貞元の水蓮が咲くため池



案内板、見どころ板 イメージ

ご意見・歩きたくなるアイデア募集

散歩コースができたら利用者が多くなるのが望ましいので、コースに関する意見及歩きたくなるアイデアを募集します。

キーワード（例）

- ・健康宣言都市（健康増進） ・楽しむ
- ・コミュニケーション（ふれあい広場）
- ・直売所と散策者の相乗効果

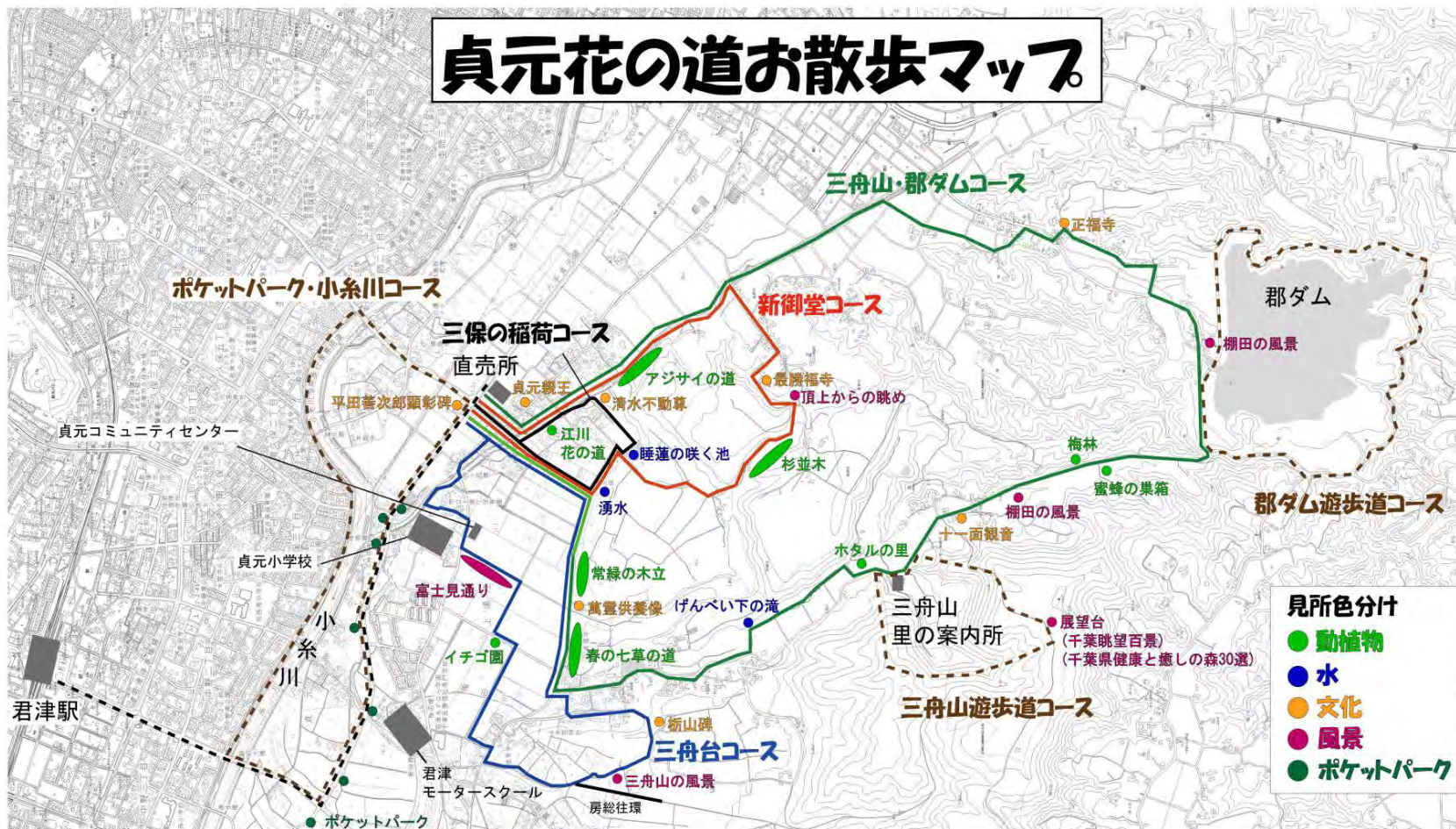
事例（案）

1. 万歩計で歩行数記録、目標達成者に直売所のポイント券贈呈（2名以上で参加確認の署名）
2. 歩く前後の効果確認の測定器配置
3. 直売所にふれあいコーナー設置のお願い

応募（様式任意）は、事務局 齊藤まで

Tel 090-352-7147 Fax 52-4086

貞元花の道お散歩マップ



①三保の稲荷コース
 のどかな水田風景や
 江川花の道を楽しむこ
 とができます。
 4コースの中で一番短
 くお手軽なコースです。

②新御堂コース
 里山の豊かな木々の中を
 通り、頂上からは綺麗な景色
 が望め、江川の動植物や江
 川花の道も楽しむことが出
 来ます。
 程よい長さで軽い運動に最
 適なコースです。

③三舟台コース
 水田風景・伝統的な家屋敷・
 畑風景などの里山の多様な風
 景を楽しむことができます。
 若干長めなコースではありますが
 が見所が多く楽しめるコースで
 す。

④三舟山・郡ダムコース
 貞元地域をぐるっと1周回るコース。
 郡ダム・郡ダムからの風景・三舟山な
 ど貞元地域の魅力が詰まっています。
 かなりの距離はありますが、風景が
 多様に変化するので、飽きることのな
 いコースです。

⑤その他
 郡ダム遊歩道コース
 ポケットパーク・小糸川コース
 三舟山遊歩道コース

貞元地域まちづくり推進委員会（制作 千葉大学地域計画学・齋藤研究室）

杵つき 餅工房 貞元 (ていげん)

—地元産品で創作餅・6次化産業を目指して—

去る10月18日、ビジネスのチャンスをつかみ発展を目指す「ビジネス交流会」が君津商工会議所工業部会主催によりホテル千成にて開催されました。

貞元ふるさと産品育成協議会(旧貞元地域まちづくり推進委員会)三幣会長により、3事例の一つとしてスライド(制作齊藤貞夫)用いて発表しました。

その概要を紹介します。

1. 君津市貞元地域の紹介
2. 貞元ふるさと産品設立までの経過
3. 開発商品の目玉 長命草の説明
4. 平成25年1月 餅工房 貞元 完成



- 千葉県6次化チャレンジ支援事業
 - ・杵つき餅つき機
 - ・ボイラー(蒸し器)
 - ・定量分割機
 - ・洗米機
 - ・セイロ同付属品
- 君津市地場産品育成事業補助金
 - ・真空包装材機
 - ・流し台セット

5. 創作餅 —うるち米だんご



○長命草(写真上): 栄養価のある餅、年間商品として創作、昔ながらの作り方で製造

○小糸在来(写真左下): 小糸在来を使用しただんご

○貞元だんご(写真右下): 梅、さくら、夏みかん、かぼちゃ、ごま、さつまいも、ゆず、みかん、いちご等を使用して季節感のあるだんごを創作します。



○江戸前海苔パウダー: 木更津工専高橋名誉教授・清見台カフェと協議会による共同創作



○貞元(棒餅): 形の面白さ、ご飯替わり、保存食として、つき立ての餅を冷凍保存、自然解凍すると、つき立ての味が楽しめます

土産品として売出し予定

6. マスコミ

- JAきみつ みずき
- 千葉日報
- 日本農業新聞
- 新千葉新聞
- フジテレビ 千葉の贈り物等で紹介される。

7. 今後の創作餅の開発

- 売れる商品の拡大
- 年中商品提供
- 君津市ふるさと産品の知名度アップができる創作餅を開発します。

8. 商品ラベル(構想)



9. 販売

- JAきみつ味楽園2店舗、ゆりの里を核店舗
- 対面販売を重点にリピーターの増加
- 清見台カフェと共同で君津市外に発信
- 君津市ふるさと産品・土産品の拡大をします。

10. 連携団体

- ・千葉県農業事務所
- ・君津市経済部
- ・君津商工会議所
- ・JAきみつ味楽園
- ・清見台カフェ
- ・郡ダム周辺振興会議
- ・君津市農業活性化協議会

等の皆様の支援・協力をいただきながら更なる発展を考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

ていげん
貞元まちづくり

No 12

発行 平成26年 3月31日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-1

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

25年度 活動報告

今年度は、6年間のまとめの段階と位置づけ、新規事業として「散策路マップの作成、案内看板の設置」を計画。継続事業として「地域防災の行動指針の作成」「緑のカーテンづくり」「江川花の道ほか散策路の整備」等を実施してまいりました。 *年度前半は、会報No11 参照

散策路マップの作成・看板の設置

散策コース、見どころの選定等のワークショップを2回、千葉大学大学院（以下大学院という）役員による独自調査を踏まえ「貞元花の道散歩マップ」の原案（会報11号で紹介）に基づき、案内看板、見どころ板を作製しました。

案内看板を手づくりしようと思気込みは良かったが、三幣さん持参のルーターという器具を使用したことがないため思うようにならず初日で断念しかかりました。そこへ、工業高校で機械の先生をされた小林一臣さんが助け舟。

文字も書きルーターで見事に彫り、30数枚の案内看板をなんと2日掛かりで一気に仕上げてしまいました。



三幣さん（写真左）が持つルーター

その後、3回にわたり案内看板21個の組立てと見どころ板6個を作製。3月2日、大学院と協働で設置したが、生憎雨天のため三保の稲荷コース4基のみに止め、3月19日残りを設置完了しました。



最初に設置した案内看板を囲んで



学生が穴掘り、建込みの体験

総合案内板は、味楽園さだもと店の西側駐車場入口にある同店の看板裏面を利用して暫定的に取付けました。将来は、同店の事業計画との整合が図られた時点で、案内板が目立つ屋外売り場付近に設置する計画です。



総合案内板

地域防災の行動指針の作成

災害対応はまず「自分の身は自分で守る」ことが大事と考え、地域防災の行動指針は君津市で出されている防災ハンドブックを利用いただき、

当委員会としては、まず、個人が災害に遭われたときに役立つ常時携帯できるミニハンドブックを防災士でもある山中政人さんが作成しました。

ハンドブックの一部を紹介します。

外出先で地震にあったときの対処方法5か条

- 1 揺れてる最中は抱、近くのもので頭を保護
- 2 揺れが収まったら、周囲の状況を確認
- 3 自分、あるいは一緒にいる人がけがをしていたら、大声で助けを求める
- 4 余震に気をつけながら、屋外へ脱出
- 5 家族や友人と連絡をとり、無事を伝える。電話回線が混んでいる時は、災害用伝言ダイヤル「171」などを利用

オフィスで仕事中は
コピー機が故障に！
震った瞬間の下にも
ぐるべし

エレベーターはすぐ
おりる
すべての行先ボタン
を押す。最初に着
止した階で降りて、
非常階段で下へ降り
るべし

コンビニ・スー
パー・百貨店では、
棚からはなれる
陳列棚の転倒、商品
の落下、ガラスの破
損から身を守るべし

地盤が固い場所では
揺れてもあわてな
ショーウィンドウか
らはなれ、壁に
隙間まで歩き、脱出
すべし。じきに非常
電報が作動する。

飲食店では、火災に
まきこまれるな
火を使用しているの
で火災の可能性が高
い。揺れが収まった
ら足元の落下物に注
意して屋外へ脱出す
るべし

劇場・ホールでは、
照明や天井パネルの
落下に注意
構造的に天井がは
がれやすく、頭上か
らの落下物に注意す
るべし

地下鉄は、勝手に脱
出すると感電の恐れ
あり
線路上の高圧電線に
触れないよう、乗務
員の指示に従うべし

年度報告会

3月2日貞元コミセンに於いて行ないました。

当委員会は、各部会、貞元餅の状況報告。

大学院は、散策路マップの作成、案内看板の設置を中心にスライドを用いて報告しました。

その他、まちづくりの事例として、アドバイザーの齊藤先生が中心となって進めた大船渡市細浦地区の復興まちづくりについて、現地調査、ワークショップ、まちづくりの提案の概要について、以下のとおり報告されました。

「海を感じるまち・細浦」復興構想

コンセプト

「海を五感で体験できるまち」

- ・ 深い水槽にわかめやホタテ、牡蠣がつるしてある⇒触れる
- ・ 浅い水槽に貝や小魚など海の生物がはなしてある⇒触れる
- ・ 護岸の一面が階段状となっていて、海に入ることができる⇒足海（足湯でなく）
- ・ 漁師体験（漁師さんに漁に連れて行ってもらう、見学や作業体験）⇒来訪者増加
⇒海産物などの販売促進

- ① 漁業・商業・観光のベストミックスのまち
- ② その他観光（遊覧船、箱根山ハイキング）
碁石海岸、小細浦観光の玄関口
⇒特産物開発

「浜の駅」構想

求められる機能

- ① 商業施設（飲食・物流）
 - 生鮮食料品⇔生鮮食料品は移転店任せ
 - 物販施設（海産物特産品、土産物、農産物、農産物加工品）
 - 飲食施設（ドライバーが立ち寄れる店）
 - 運営会社直営店⇔商店街経営者による商店街再建）
- ② 観光案内所（地域観光の案内所、遊覧船、漁業体験の受付）
- ③ 駐車場（何台分）
- ④ 多目的広場・公園（ベンチ、四阿、遊具、お祭り広場）
- ⑤ トイレ
- ⑥ 防災施設（防災倉庫、ヘリポート）

26年度計画

平成26年度は、これまでの総仕上げとして、過去6年間をPDCA（計画、実施、点検、改善）に基づいて評価した結果、以下のとおり事業を進めます。

1. 新規事業

「7年間の歩み」の冊子を大学院と協働して作成、関係する公共団体、関心のある地域、団体等に配布、協働による地域活性化や特色のあるまちづくりの参考資料として提供します。

2. 継続事業

- 1) 「散策路マップの検証・充実」は、ソフト面の充実を図るため検証を行います。委員会、大学院によるモニターツアーと交流会の実施。よりよいマップづくりを行い、健康都市君津に寄与する歩きたくなるような散策路を目指します。
- 2) 「江川花の道ほか散策路の拡充・保全」は、江川右岸にヒガン花を拡充することにより、さらに散策路のビューポイントにすることを図ります。

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

ていげん

貞元まちづくり

№ 13

発行 平成 27 年 3 月 31 日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江 1287-1

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

26年度 活動報告

里山シンポジウム In 君津

5月18日千葉県「里山の日」に、第11回里山シンポジウムが君津で開催され、当委員会は「三舟の里コミュニティ活動推進委員会」「NPO 稲村乃里（郡ダム周辺整備）」と共同でパネル展示をしました。



貞元地域まちづくり推進委員会



稲村乃里



三舟の里コミュニティ

総 会

7月12日総会及び懇親会を実施しました。

江川花の道

9月1日 江川花の道のヒガン花、郡ダム・水仙の管理と草刈りを実施しました。

9月13日 中富・釜神から江川花の道へ、ヒガン花を移植しました。

9月21日 満開の咲いたヒガン花の観賞と懇親会を実施しました。

懇親会は、女性の参加が多く、ヒガン花の話題と共に、花より団子でなく会話に花が咲きました。



12月21日 郡ダムのキバナコスモスの除去と水仙回りの草刈りを実施しました。



卒論に関するインタビュー

千葉大学生の長澤真さんが、貞元地域まちづくり推進委員会の活動を卒業論文のテーマ「貞元まちづくりの展開過程と住民への効果」とすることで、その一環として当委員会役員にインタビューの依頼があり、役員が対応しました。

これは、今年度事業の「7年間のまとめ」も兼ねています。



イギリス研究者の視察

11月14日 千葉大学齋藤先生がイギリス留学中(4～9月)にお知り合いになられたイギリスのニューカッスル大学よりカルメン上席研究員が貞元地区を視察に訪れ、齋藤先生からプロジェクトを使用して英語で当委員会の活動状況を説明後、当委員会で作成したお散歩ルートを散策しました。

カルメン先生は、貞元地域の風景と委員会のもてなしに満足されたようでした。



三舟の里案内所にて

れんげの里のふれあい

10月25日 貞元小学校で開催され、当委員会は、パネル展示をしました。



また、当委員会が企画提案した味楽園さだもと店に併設のガソリンスタンドで発見された推定2100年前の埋蔵木(ケヤキ)を展示し、あわせて埋蔵木の重さクイズを実施しました。



お散歩マップモニターツアー

12月21日 当委員会と千葉大学生合同でお散歩マップのモニターツアーを実施及びツアー結果に対するワークショップを実施しました。

その後、交流懇談会を実施。高齢者の多い当委員会委員と若い学生とギャップはありますが、共通の事業に取り組んだことの話で賑やかな雰囲気の中で交流がされました。



江川花の道コース



新御堂コース



三舟台コース



三舟山・郡ダムコース（三舟の里まで）



三舟山・郡ダムコース（郡ダムまで）



ワークショップ



ワークショップ（発表）

波及した活動

1. 6次産業化

すでに何回か紹介していますが、当委員会三幣保夫産業部長が中心となり、平成25年1月に「ふるさと産品育成協議会」を立上げ「餅工房貞元」と命名、地元産品を活用して餅の加工品を「味楽園さだもと店」ほかJAきみつ直売所2店舗を中心に販売をしています。

2. 貞元埋蔵木等活用委員会

平成23年10月、JAきみつガソリンスタンドで発見された「約2100年前のケヤキの埋蔵木」の保存を当委員会が企画提案し、埋蔵木は貞元小学校に、埋蔵木実物大表示板とケヤキの輪切りを「味楽園さだもと店」に展示して、君津市内小学校の体験学習に活用することができました。



3. お花見ウォーク

「君津お花見ウォーク実行委員会」が実施している君津駅をスタートとしたコースは、参加者の交通安全確保、予算等の関係で当委員会が作成した「貞元花の道 散歩マップ」をベースに変更したいとの要望があり、双方で現地調査を実施し「味楽園さだもと店」をスタートとするコースを協働で作成しました。



7年間のまとめ

千葉大学齋藤雪彦准教授をアドバイザーにお迎えして「文化のまちづくり市税1%支援事業」を活用して、7年間の活動ができましたことは、偏に齋藤准教授のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

これまでの活動を振り返ることで、持続的な地域づくりの礎となればとの思いで、齋藤准教授が「貞元まちづくり物語」としてまとめていただきました。

本記録が「貞元地域誌」「ふれあいマップ貞元」と共に、皆様の多くの方々の目に触れることを願っております。

本記録に関する問合せは、貞元コミュニティセンターにお願いします。

貞元まちづくり物語

—君津市貞元地域まちづくりの記録—



目次

はしがき —本書の目的とまちづくりのきっかけについて—

- 1 章 地域と大学の協働
- 2 章 地域独自の取り組み
- 3 章 大学生の参加・提案
- 4 章 まちづくり小史
- 5 章 大学による地域調査
- 6 章 まちづくりの成果と課題

—うまうまいったこと、うまうまかなかったこと、学べること、今後に向けて—

記録編

1. 新たな貞元地区文化の創造（概要版）
2. 貞元まちづくり会報（平成20～26年度）

今後の活動について

市税1%支援事業は、今後は、江川花の道の管理、懇親会等のコミュニティ活動を重点に進めたいと考えています。

結びに、7年間に及ぶご支援ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。

20年度「新たな貞元地区文化の創造」
活動報告書

平成21年3月31日

実施年月日	内 容（ゴシック体は千葉大学との協働）	参加人数（構成員）	実施場所
08.05.15	準備役員会 ・規約(案)について ・役員について ・部門について ・総会準備について	3 (3)	貞元コミセン
08.05.23	君津市長訪問 ・千葉大学大学院 齋藤准教授 (貞元地域アドバイザー委嘱) (まちづくり役員)	6 (5)	君津市役所
08.06.06	準備役員会 ・規約(案)について ・役員について ・部門について ・総会準備について	8 (8)	貞元コミセン
08.06.21	1. 貞元地域まちづくり推進委員会設立総会 2. 講演会 「地域づくりについて」 講演者 千葉大学大学院園芸学研究所 准教授 齋藤 雪彦 先生	72 (60)	貞元コミセン
08.07.20	貞元地域まちづくりについてPR ふれあい広場貞元	35 (5)	貞元コミセン
08.08.23	まちあるき及びワークショップについて 「環境点検とワークショップ手法の実演指導」 (上湯江地区実施) ワークショップ作業及び地図作成	38 (28)	貞元コミセン 及び 上湯江地区
08.09.25	役員会 ・専門部会開催について ・10月8日 アドバイザー・学生による インタビュー調査について	10 (10)	貞元コミセン
08.10.05	ワークショップ展示PR れんげの里のふれあい・貞元小学校祭	350 (15)	貞元小学校
08.10.08	インタビュー調査 長老、組織団体長、産業について	10 (3)	貞元地域
08.10.12	文化のまちづくり市税1%事業 中間報告会出席	3 (3)	情報センター
08.10.18	産業部会 ・進め方について ・地域資源について	17 (17)	貞元コミセン
08.10.22	地域調査 貞元・中富・小香・郡地区	9 (2)	貞元地域内
08.10.25	生活・環境部会 ・基本方針 ・進め方について ・企画調整部の設置と役割	10 (10)	貞元コミセン
08.11.12	子どもの遊び・遊び場調査アンケート下打合	4 (1)	貞元小学校
08.11.21	産業部会 ・産業に関する提案と課題 ・事例について	21 (21)	貞元コミセン
08.11.28	アドバイザーと役員による地域調査 アドバイザーと役員との意見交換会	3 (2) 12 (1)	貞元コミセン
08.11.30	観光・交流部会 ・観光資源 ・千葉の里山・森プロジェクト ・郡ダム・三舟山の現状	8 (8)	貞元コミセン
08.12.25～ 09.01.15	貞元地区の暮らしに関するアンケート調査の実施 (貞元地区全世帯)	— —	アンケート

実 施 年月日	内 容 （ゴシック体は千葉大学との協働）	参加（構成 人数 員）	実施場所
09.01.18	まちあるき及びワークショップについて ・「環境点検とワークショップ」 郡地区実施 ・ワークショップ作業及び地図作成 ・アドバイザーとの意見交換	29 (2 2)	貞元コミセン 郡地区
09.01.26	役員会 ・部会活動の今後について ・土地利用調査について ・年度末報告会について ・委員に対する「まちづくりアンケート」について	9 (9)	貞元分館
09.02.03	年度報告会 ・貞元地域内に回覧で開催案内	— —	広 報
09.02.05	まちづくりアンケート項目作成	3 (3)	貞元コミセン
09.02.18	郡ダム周辺整備打合せ（県総合企画課）	3 (1)	君津市役所5F
09.02.19～ 09.02.20	委員に対する「まちづくりアンケート」に関する まとめ	4 (4)	貞元コミセン
09.02.21	年度報告会 ・千葉大学生の提案発表 ・地域アドバイザー 齋藤雪彦先生のコメント ・まちづくり推進委員会部会報告 ・まちづくりに関するアンケート調査のまとめ報告 ・役員とアドバイザーとの意見交換	43 (2 8)	貞元コミセン
09.2.21～ 展示中	成果品パネル展示（18枚）PR	— —	貞元コミセン 大会議室
09.02.25	郡ダム周辺整備打合せ （県総合企画課・市・観光協会）	6 (2)	君津市役所5F
09.02.25	生活・環境部会 ・まちづくりの基本的な考え方と進め方の説明 ・事例紹介 「三舟の里保全会」「困りごと24 助け合い活動」「EMで作る有機質堆肥」	13 (13)	貞元コミセン
09.03.01	広報きみつ(3月号)に活動内容を紹介される	— —	広報紙
09.03.04	貞元地域まちづくりPR及びWSパネル説明 みふね学級（中央公民館事業）	35 (5)	貞元コミセン
09.03.03	貞元地域まちづくりPR及びWSパネル説明 女性学級（貞元分館事業）	13 (1)	貞元コミセン
09.03.16	役員会 ・土地調査について ・事務局の強化について ・広報紙について	10 (1 0)	貞元分館
09.03.22	会計整理	2 (2)	貞元コミセン
09.03.24	君津地区公民館及び同運営審議会委員に 「新たな貞元地区文化の創造」（1%支援事業）PR	22 (1)	周南公民館
09.03.31	まちづくり広報紙発行（No.2 1300部）	— —	広報紙
09.03.31	20年度「新たな貞元地区文化の創造」 事業内容（実績）	— —	調 査

千葉大学と協働 （8回）

796 313

21年度 「新たな貞元地区文化の創造」
活動報告書

平成22年3月31日

実施年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加人数 (構成員)	実施場所
09.04.26	貞元地域まちづくり推進委員会に参画のお願い ・千葉大学大学院 ・君津農林振興センター	— —	依頼文書
09.04.26	21年度貞元地区自治会連絡協議会役員に説明	7 (4)	貞元コミセン
09.06.02 09.06.03 09.06.09	アドバイザーと市内調査 ・6/2 久留里・亀山方面 ・6/3 小糸川右岸・三島・豊英方面 ・6/9 鹿野山・周南・市内方面	10 (10)	市 内
09.06.08	役員会議 ・総会準備について	12 (20)	貞元コミセン
09.06.13	貞元地域まちづくり推進委員会総会	52 (52)	貞元コミセン
09.06.13	生活環境部会	15 (15)	貞元コミセン
09.06.25	郡ダム周辺地域振興推進会議	1 (1)	貞元コミセン
09.07.04	まちづくり先進事例地の視察について ・特定非営利法人 里山を守る会 (茨城県関城町) ・笠間市クラインガルテン (茨城県笠間市)	23 (22)	茨城県
09.07.22	役員会 ・視察結果について ・今年度の活動について	11 (11)	貞元コミセン
09.08.03	ふれあい祭り ・いやさか踊り参加	15 (9)	君津駅前
09.08.04	郡ダム周辺地域振興推進会議	1 (1)	貞元コミセン
09.08.23	アンケート調査報告会 ・子供の遊び・遊び場アンケート結果 全体会議 ・活動状況報告、提案事項発表	26 (25)	貞元コミセン
09.08.23	各部会会議 ・各部会の事業計画の具体化について	22 (22)	貞元コミセン
09.08.23	もったいない活かそう地域資源 ・9/15 9/29 みかん狩り (小香)	25 (8)	貞元地域
09.09.17	郡ダム周辺地域振興推進会議	1 (1)	貞元コミセン
09.09.19	まちあるき及びワークショップについて ・新御堂・小香地区	20 (16)	貞元コミセン 新御堂・小香
09.09.19	生活環境部会	14 (14)	貞元コミセン
09.10.15	回覧 暮らしに関するアンケート調査結果等の 報告会について	— —	貞元地域

実施年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加人数 (構成員)	実施場所
09.10.18	役員会議 ・全体会議・専門部会・役員会の討議資料について	12 (12)	貞元コミセン
09.10.22	*アドバイザーによるインタビュー調査 (定年者4名)	7 (2)	貞元地域
09.10.22	ワークショップ展示PR れんげの里のふれあい	350 (15)	貞元小学校
09.11.01	*アドバイザーによるインタビュー調査 (定年者4名)	7 (2)	貞元地域
09.11.01	アンケート調査報告会 ・暮らしに関するアンケート 役員会	30 (28)	貞元コミセン
09.11.01	生活環境部会	15 (15)	貞元コミセン
11/10～ 12/7	グリーン・ブルーツーリズム担い手養成塾(5回) 出席者 鈴木文男	5 (5)	主催千葉県
09.11.19	広報誌発行(N o 3 1300部)	— —	配布 貞元地域
09.11.23	全体会議・専門部会	26 (26)	貞元コミセン
09.11.28	まちあるき及びワークショップについて ・下湯江地区	20 (18)	貞元コミセン 下湯江
10.01.24	まちあるき及びワークショップについて ・杉谷地区 ・八幡地区	22 (19)	貞元コミセン 杉谷・八幡
10.01.24	各部会 役員会	17 (16)	貞元コミセン
10.02.07	もったいない活かそう地域資源運動 ・地域資源調査依頼	— —	依頼先 推進委員
10.02.07	*アドバイザーによるインタビュー調査 (勤労者3名)	3 (1)	貞元地域
10.02.18	貞元地域土地利用に伴う意見交換会について	25 (18)	総合企画課
10.02.21	*アドバイザーによるインタビュー調査 (勤労者3名)	3 (1)	貞元地域
10.02.27	年度報告会 ・貞元地域の土地利用分布について(調査報告) ・まちづくり委員会各部会報告	25 (23)	貞元コミセン
10.02.27	役員・千葉大学院意見交換会	14 (12)	貞元コミセン
10.03.19	郡ダム周辺地域振興推進会議	1 (1)	貞元コミセン
10.03.19	広報誌発行(N o 4 1300部) ・もったいない活かそう地域資源運動調査結果ほか	— —	配布 貞元地域
10.03.31	年度報告書配布	— —	推進委員 1%委員ほか

千葉大学院と協働 9回 (ゴシック体) 827 (435)
千葉大学院の活動 4回 (* 印)

実施 年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
22.05.12	貞元地域まちづくり推進委員会に参画のお願い ・千葉大学大学院 ・君津農林振興センター	—	—	依頼文書
22.05.23	まちあるき及びワークショップについて ・中富 ・貞元（釜神）地区	16	13	貞元コミセン 中富・釜神
22.06.05	まちあるき及びワークショップについて ・貞元地区 ・・・・全地区終了	18	15	貞元コミセン 貞元
22.06.05	貞元地域まちづくり推進委員会総会	52	52	貞元コミセン
22.06.10～	* 勤労者男性（いない場合退職者）の余暇に関する アンケート調査	—	—	配布 貞元地域
22.07.04	もったいない活かそう地域資源運動 —余剰キャベツの取り放題— ・委員 ・消費者の会 ・まちづくりの会 —おかわかめの見学、収穫—	130	(8)	貞元上野台
22.07.04	ふるさと往来クラブ キャベツを東京で販売	多数	(1)	上湯江・東京
22.07.25	* アドバイザーによるインタビュー調査 (若年者2名)	4	(1)	郡・貞元
22.08.10	役員会議 ・もったいない活かそう地域資源運動について	10	10	貞元コミセン
22.08.11	副市長・アドバイザー・役員との意見交換	8	3	市7F会議室
22.08.11	月刊コロブスの取材 ・アドバイザー、事務局長対応	5	1	貞元コミセン
22.08.18	・もったいない活かそう地域資源運動について (世帯配布)	—	—	配布 貞元地域
22.10.13	郡ダム周辺地域振興推進会議	1	(1)	貞元コミセン
22.10.21	広報誌発行 (No5 1450部)	—	—	配布 貞元地域 消費者の会
22.10.23	ふるさと往来クラブ 小糸在来を東京で販売	多数	(1)	上湯江
22.10.28	ふるさと往来クラブ 小糸在来を東京で販売	多数	(1)	上湯江
22.10.30	れんげの里のふれあい ・皇室献上米（貞元産） ・農産物の販売	多数	(7)	貞元小学校 中央公民館
22.11.02	1%事業活動状況ポスター作成及び報告	1	(1)	事務局

実施年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加人数	(構成員)	実施場所
22.11.03	* 貸し農園 ―文やっこ農園― ・貸主、千葉大学院生、郡の杜居住親子他による 農業体験（稲の穫り入れ、畑作業）交流会の実施	28	(3)	貞元コミセン
22.11.07	地域ビジョン策定ワークショップ ・地域ビジョン大学案発表 ・委員・大学協働によるビジョン策定WS	22	18	貞元コミセン
22.11.17	役員会議 ・事例発表会について	10	10	貞元コミセン
22.11.20	事例発表会―市視聴覚センター―	一般	(3)	視聴覚センター
22.11.29	もったいない活かそう地域資源運動 ―余剰キャベツの取り放題― ・委員 ・消費者の会 ・まちづくりの会	110	(3)	貞元上野台
22.12.11	地域ビジョン策定ワークショップ ・委員・大学協働によるビジョン策定WS	28	(24)	貞元コミセン
22.12.19	役員会議 ・地域ビジョンの今後の進め方について	10	10	貞元コミセン
22.12.25	もったいない活かそう地域資源運動 ―余剰キャベツの取り放題― ・委員 ・消費者の会 ・まちづくりの会	95	(3)	貞元上野台
22.12.29	もったいない活かそう地域資源運動 ―余剰キャベツの取り放題― ・委員 ・消費者の会 ・まちづくりの会	55	(3)	貞元上野台
23.01.24	役員会議 ・地域ビジョンの今後の進め方について ・23年度1%支援事業申請について	11	(11)	貞元分館
23.02.13	年度報告会 ・* 余暇アンケート調査報告 ・* フィンランドと貞元小の子供の遊びと生活報告 ・* 花いっぱい運動の事例紹介 ・地域ビジョンのまとめ 終了後齊藤先生と役員会議	35	(30)	貞元コミセン
23.02.26	23年度 1%支援事業審査会	2	(2)	地域情報センター
23.03.03	仮称「花いっぱい運動」へのご協力をお願いについて	—	—	貞元地域 世帯配布
23.03.17	会報発行（No 6）			
23.03.19	貞元環境保全会・まちづくり役員合同会議及び現場調査 ・花いっぱい運動について	5	(4)	貞元コミセン 江川
23.03.27	もったいない活かそう地域資源運動 ―余剰・端物キャベツ取り― ・委員 ・消費者の会 ・富津市岩瀬（生産地）	35	5	富津市岩瀬

千葉大学院と協働 5 回 (ゴシック体) 644 254
千葉大学院の活動 5 回 (* 印)
もったいない活かそう地域資源運動 9 回

23年度「新たな貞元地区文化の創造」 活動報告書

平成24年2月26日現在

実施 年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
23.05.10	貞元地域まちづくり推進委員会に参画のお願い ・千葉大学大学院	—	—	依頼文書
23.05.05	役員会議 ・総会について ・花いっぱい運動について	10	10	貞元コミセン
23.05.15	ワークショップ ・花いっぱい運動について	20	16	貞元コミセン
23.05.15	貞元地域まちづくり推進委員会総会	38	38	依頼文書
23.05.25	貞元コミセンにインターネット導入の検討	3	2	貞元コミセン
23.06.01	役員会議 ・「江川花の道」の植栽について ・貞元ブランドを創ることについて ・貞元地域まちづくりに関する調査について	10	10	貞元コミセン
23.06.06	*インタビュー（千葉大学院による） ・君津市内の開発について	4	1	君津市向郷
23.06.09	・「江川花の道」の植栽の事前準備 ○球根掘り ○江川植栽個所の草刈り	5	5	貞元地域
23.06.12	・ヒガン花、水仙の球根植え	23	14	江川
23.06.20	・もったいない活かそう地域資源運動 ・端物キャベツ取り	32	7	貞元上野台
23.06.28 ～07.10	・貞元地域まちづくり推進委員会の見直しに 関するアンケート調査実施	—	—	依頼文書
23.07.10	もったいない活かそう地域資源運動 ・端物キャベツ取り	18	5	貞元上野台
23.07.30	・「小香から郡ダムまでの間」に水仙の 球根植え	8	8	小香
23.08.10	役員会議 ・推進委員会の見直し調査結果と今後について ・ヒガン花の観賞会について ・六手・貞元線ポケットパークについて	9	9	貞元コミセン
23.09.03	ヒガン花・水仙植栽区域草刈り	9	9	江川
23.09.23	ヒガン花移植 ・観賞会の花が少ないため	5	5	釜神・貞元
23.09.24	・ヒガン花の観賞会並びに反省会について	18	8	江川 貞元コミセン
23.09.29	役員会議 ・推進委員会の見直し調査結果と今後について	8	8	貞元コミセン
23.09.30	・貞元地域まちづくり推進委員会の見直しについて (報告)	—	—	全委員配布
23.10.18	・第1回新産業部会（委員見直し後） 貞元ブランド創出の立上げの検討	12	12	貞元コミセン
23.10.29	*六手・貞元線ポケットパークデザイン発表会	25	13	貞元コミセン

実 施 年 月 日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
23.10.29	・れんげの里のふれあい、中央公民館文化祭に参加 もったいない活かそう地域資源運動 地元製品の販売、がんばろう！福島製品の販売応援	多数	10	チラシ配布 貞元小学校 中央公民館
23.11.16	・第2回産業部会会議 ○貞元ブランド化できるものの検討	10	10	貞元コミセン
23.11.22	役員会議 ○会報について ○部会活動について ○講話について (対ボランティア協議会)	9	9	貞元コミセン
23.11.24	・産業部会会議 ○貞元ブランドを創るについて ○仮称貞元モチ(4種の薬草使用)を作り試食	11	11	貞元コミセン
23.11.24	・ボランティア協議会に対する講話 「新たな貞元地区文化の創造」	35	2	君津市保険 福祉センター
23.12.08	・会報発行(N o 7) ○地域ビジョンの実現に向けて ○事業運営の見直し ○地元・福島製品販売	—	—	貞元地域 世帯外
23.12.08	産業部会 ○貞元モチ改良試作・試食会 ○キリタンポ試作	10	10	貞元コミセン
24.12.09 12/21・22	産業部会(貞元モチに関する関係機関協議) ・市経済課 ・君津商工会議所 ・酒造会社ほか	10	2	左記のとおり
23.12.20	産業部会 ・貞元モチ改良試作(計量、軟らいモチの保存)	10	10	貞元コミセン
23.12.20	もったいない活かそう地域資源運動 ・端物キャベツ取り	17	6	貞元上野台
24.01.23	役員会議 ・年度報告会について ・23年度1%支援事業申請について	10	10	貞元分館
24.02.08	生活・環境部会 ・23～24年度の活動について	8	8	貞元コミセン
24.02.26	年度報告会 ・講演 広島県安芸高田市など地域づくり ・今年度のまとめ、来年度のコミュニティづくり ・アンケート調査(周南、中野、静岡)報告 ・各部会報告 ・大学と委員会との懇談会	35	25	貞元コミセン
24.02.27	千葉県産業支援技術研究所 ・商品開発、販売等について、指導受ける	4	4	千葉市
24.03.03	23年度 1%支援事業審査会	7	7	地域情報センター
24.03.06	産業部会 ・産業支援技術研究所訪問と今後の活動について	7	7	貞元コミセン
24.03.09	決算、年度報告書について打合せ	3	3	貞元コミセン
24.03.17	市民協働のまちづくりセミナー	4	4	地域情報センター
24.03.31	会報発行(N o 8) ・講演 安芸高田市など地域づくり ・年度後半の報告 ・24年度活動計画	—	—	貞元地域 世帯外

千葉大学院と協働 4回 (ゴシック体)

447 318

千葉大学院の活動 2回 (* 印)

もったいない活かそう地域資源運動 4回

24年度「新たな貞元地区文化の創造」 活動報告書

平成25年3月31日現在

実施年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加人数	(構成員)	実施場所
24.04.07	長命草モチ試食販売 (産業部会) ・小糸川さくら祭り	5	5	小糸川
24.04.15	もったいない活かそう地域資源運動 ・端物キャベツ取り	32	7	貞元上野台
24.05.11	「長命草モチ」ふるさと産品育成協議会に移行	—	—	
24.05.21	緑のカーテン設置のための詳細調査 ・中央図書館 貞元小学校 上湯江保育園 三舟の里案内所	3	3	貞元コミセン
24.05.26	第1回役員会議 ・総会について ・今年度の活動について	10	10	貞元コミセン
24.06.02	第1回ワークショップ ・地域づくりに関するプロジェクトの選定	20	16	貞元コミセン
24.06.02	貞元地域まちづくり推進委員会総会	38	38	貞元コミセン
24.06.20	行政財産使用許可申請 (緑のカーテン)	—	—	
24.06.20	緑のカーテン設置 ・貞元小学校 上湯江保育園 三舟の里案内所	3	3	
24.07.16	第2回ワークショップ ・地域づくりに関するプロジェクトの選定	20	16	貞元コミセン
24.07.16	地域防災の行動指針の作成について 貞元地区自治会長 委員会	13	5	貞元コミセン
24.08.19	「江川花の道」に水仙の植栽について ・植栽場所を郡ダムに変更実施	16	16	郡ダム
24.08.26	「江川花の道」にヒガン花の植栽について	18	18	江川
24.10.04	地域コミュニティづくり ・貞元地区の自然に気づく探検「貞元コレクション」 について 事前調査 千葉大学院生 委員会	4	3	
24.10.05	「江川花の道」にヒガン花の植栽 (移植) について	17	17	
24.10.20	地域コミュニティづくり ・貞元地区の自然に気づく探検「貞元コレクション」 千葉大学院生 小学生 保護者 委員合同実施	40	8	貞元小学校 現地
24.10.27	「れんげの里のふれあい」に参加 ・防災講話 (周西地区自治会長宛 参加案内) 東日本大震災に学ぶ 防災士会 浅野理事 ・仮家族対抗クイズ大会 (小学生 保護者 委員に よる仮家族チームを編成、防災クイズを実施) ・10/20実施の貞元コレクション展示	78	22	防災講話 約50名 クイズ大会 28名
24.10.31	緑のカーテン撤去 ・中央図書館 貞元小学校 上湯江保育園 三舟の里案内所	2	2	

実施 年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
24.11.24	第2回役員会 ・地域防災指針の作成について ・会報について ・25年度の活動について(1%申請関連)	9	9	貞元コミセン
24.11.25	郡ダムの水仙の手入れ ・第5回 郡ダム秋の里山フェアと合同実施	10	10	郡ダム
	地域防災の必要性について ・防災士会 浅野理事による講話と実演 (自助の必要性・何をすべきか)	16	10	貞元コミセン
24.12.01 ～12.25	貞元小学校に「各地区点検WS、貞元コレクション」 展示 あわせてアンケートのお願いをする	—	—	
25.01.25	貞元小学校に「各地区点検WS、貞元コレクション」 に関するアンケート結果報告	—	—	
25.01.25	第3回役員会 ・文化のまちづくり1%支援事業の申請について ・25年度の活動について	9	9	貞元コミセン
25.02.10	年度報告会 ・アドバイザーから24年度を振り返り(スライド) 及び25年度への提案 ・各部会報告	19	17	貞元コミセン
25.03.02	25年度 1%支援事業審査会	2	2	生涯学習センター
25.03.09	市民協働のまちづくりセミナー	4	4	地域情報センター
25.03.26	第4回役員会議 ・決算 年度報告書 会報について	6	6	貞元コミセン
25.03.28	会報発行(Nº10) ・貞元コレクション等アンケート結果 ・年度報告 ・25年度活動計画 ・新委員募集 ・貞元ふるさと産品育成協議会	—	—	貞元地域 世帯ほか
		394	257	

千葉大学院と協働 4回 (ゴシック体)

もったいない活かそう地域資源運動 1回

防災士講話 2回

25年度「新たな貞元地区文化の創造」 活動報告書

平成26年3月31日現在

実施 年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
25. 05. 17	君津市貞元地域アドバイザーの委嘱 ・千葉大学大学院	—	—	依頼文書
25. 05. 29	緑のカーテンづくり	3	3	貞元小学校 上湯江保育園
25. 06. 03	緑のカーテンづくり	3	3	中央図書館
25. 06. 08	第1回 ワークショップ 散策ルート調査とワークショップ	34	19	貞元地域 コミセン 大学院14名
25. 07. 07	もったいない活かそう地域資源運動 ・キャベツ取り	(12)	12	貞元上野台
25. 07. 27	郡ダム 水仙の球根植え	12	12	貞元コミセン
25. 07. 27	第2回 ワークショップ ・散策マップ ・看板デザイン・設置検討	24	18	貞元地域 コミセン 大学院14名
25. 09. 07	江川花の道 派川江川のヒガン花移植 郡ダム 水仙の球根植え、草刈り	8	8	郡ダム 派川江川
25. 09. 25	江川花の道 ヒガン花観賞会	(13)	13	派川江川
25. 10. 31	役員会議 ・案内板設計図の検討 ・材料手配	(7)	7	貞元コミセン
25. 12. 01	会報発行 ・活動中間報告 ・千葉県コラボ大賞 ・貞元花の道 散歩マップ ・杵つき餅工房 貞元	—	—	
25. 12. 08	案内看板作製	13	6	三舟の里 大学院6名
26. 01. 23	案内看板作製	9	9	三舟の里
26. 01. 23	役員会議	(7)	7	
26. 03. 02	案内看板の設置	18	12	貞元地域 大学院6名
26. 03. 02	年度報告会	20	14	貞元コミセン 大学院6名
26. 03. 19	案内看板の設置	8	8	貞元地域
26. 03. 24	役員会議	(7)	7	貞元コミセン
26. 03. 28	・まちづくり会報 ・携帯用防災ハンドブック ・散策マップ 印刷	3	3	市役所
26. 03. 31	会報発行 (No12) ・散策案内看板の作製と設置 ・地域防災の 活動指針 ・年度報告会 ・26年度計画			
		(46)		():茶代対象外
	参加人数	201	161	再掲

千葉大学院の協働活動(ゴシック体) 4回
もったいない活かそう地域資源運動 1回

26年度「新たな貞元地区文化の創造」 活動報告書

平成27年3月31日現在

実施 年月日	内 容 (ゴシック体は千葉大学院との協働)	参加 人数	(構成 員)	実施場所
26. 05. 1	里山シンポジウム I n 君津	5	5	生涯学習 センター
26. 07. 12	26年度総会	21	21	貞元コミセン
26. 09. 01	江川花の道・郡ダムヒガン花・水仙の管理 ・草刈り	3	3	郡ダム 江川
26. 09. 13	江川花の道へヒガン花を移植	9	9	江川 上湯江・釜神
26. 09. 17	江川花の道へヒガン花を移植	5	5	江川 上湯江・釜神
26. 09. 21	江川花の道ヒガン花の観賞と懇親会	15	15	江川 貞元コミセン
26. 11. 01	7年間のまとめに関するインタビュー	6	5	貞元コミセン
26. 11. 06	7年間のまとめに関するインタビュー	6	4	貞元コミセン
26. 11. 14	イギリス研究者の視察	11	9	貞元コミセン 散歩ルート
26. 12. 05	郡ダムのキバナコスモスの撤去、水仙回り草刈り	7	7	郡ダム
26. 12. 21	散策路モニターツアー及びワークショップ 千葉大学と交流懇親会	37	12	貞元地域 コミセン
27. 01. 10	7年間のまとめに関するアンケート回収	8	8	—
27. 03. 21	年度報告会 散策路モニターツアー結果 卒論「貞元地域まちづくりの展開過程と住民への効果 7年間の活動に関するアンケート、インタビュー結果 懇親会	28	22	貞元コミセン
27. 03. 1	会報発行 (N O 1 3)			
	26年度 参加人数	161	125	
	7年間の参加人数	3470	1863	

千葉大学院の協働活動 (ゴシック体) 6回

貞元地域まちづくり推進委員会活動者名簿

役 員

氏 名	地 区	役職名	備 考
宮寄博之	貞 元	委員長	
栗山富士男	市場団地	副委員長	生活・環境部会長
三幣保夫	郡	副委員長	産業部会長
小林一臣	上湯江	会 計	生活・環境部会
齊藤貞夫	中 富	事務局長	産業部会
玉川信也	小 香	副部会長	観光・交流部会
鶴岡大樹	八 幡	副部会長	産業部会
山中政人	貞 元	副部会長	生活・環境部会
渡辺勝美	貞 元	監 査	産 業
吉田 勝	下湯江	顧 問	生活・環境
山下秀弥	上湯江	顧 問	産 業
原 実義	下湯江	顧 問	観光・交流

委員及び部会(出席回数以上)

氏 名	地 区	役職名	備 考
中山 誠	郡	生活・環境	
中山和夫	郡	生活・環境	
鈴木文男	郡(杉谷)	観光・交流	
田村栄治	八 幡	生活・環境	
宮寄行男	貞 元	観光・交流	
三沢三則	貞 元	産 業	
渡邊利光	貞 元	観光・交流	
半澤芳子	貞 元	生活・環境	民生委員
山田久美子	貞 元	生活・環境	交通安全
三澤とし江	貞 元	観光・交流	
横倉秀樹	貞 元	産 業	
鈴木克己	貞 元	産 業	
渡邊利夫	上湯江	生活・環境	
平野隆市	上湯江	生活・環境	
平野幸代	下湯江	産 業	
山田淳子	下湯江	生活・環境	
齊藤誠一郎	中 富	生活・環境	防犯協会
小西正己	中 富	産 業	
榎本治子	中 富	生活・環境	民生委員
齊藤洋子	中 富	観光・交流	
木村勇次	郡の杜	観光・交流	
岩本真左子	市場団地	生活・環境	
中路敏則	市場団地	観光・交流	
小池公子	市場団地	観光・交流	
山口和広	市場団地	観光・交流	
宗広要吉	市場団地	観光・交流	
貞元小学校	上湯江	生活・環境	
丸山 弘	君津台	産 業	JICAボランティアの会
宮崎 功	坂 田	生活・環境	

アドバイザー

千葉大学大学院園芸学研究科 准教授 齋藤雪彦

協力者

千葉大学地域計画学・齋藤研究室
学生・院生および卒業生ならびに
環境造園実習Ⅴ、プロジェクト実習、
地域再生計画学、地域生活空間論を
受講した学生・院生および卒業生

発行 平成27年3月31日